

北海道議会時報

平成30年第3回定例会

北海道議会事務局

も く じ

議会日誌	1
平成30年度北海道補正予算の概要	2
第3回定例会	
概要	5
本会議	7
提出案件	21
会議案	23
意見案	24
委員会の動き	
議会運営委員会	32
常任委員会	36
総務委員会	
総合政策委員会	
環境生活委員会	
保健福祉委員会	
経済委員会	
農政委員会	
水産林務委員会	
建設委員会	
文教委員会	
特別委員会	45
産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
新幹線・総合交通体系対策特別委員会	
人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会	
少子・高齢社会対策特別委員会	
食と観光対策特別委員会	
北海道地方路線問題調査特別委員会	
予算特別委員会	51
資 料	
第3回定例会において議決を経た条例の公布調	73
北海道議会議席表	74
7月・8月・9月の出来事	75

本書においては、便宜上、会派の名称を次のとおり表記した。

自民党・道民会議	-----	自民
民主・道民連合	-----	民主
北海道結志会	-----	結志
公明党	-----	公明
日本共産党	-----	共産

議 会 日 誌

▶ 8 月

- 7 日(火) 各常任委員会
- 8 日(水) 各特別委員会
- 27日(月) 北海道地方路線問題調査特別委員会

▶ 9 月

- 4 日(火) 議会運営委員会
各常任委員会
- 5 日(水) 各特別委員会（北海道地方路線問題調査特別委員会を除く）
- 10日(月) 議会運営委員会
各常任委員会
各特別委員会
- 11日(火) 議会運営委員会
[第 3 回定例会開会]
本会議（議席の一部変更、会期決定〈30日間〉、平成30年北海道胆振東部地震の災害状況に関する報告並びに提案説明、意見案 1 件可決）
- 20日(木) 議会運営委員会
本会議（代表質問〈2人〉）
- 21日(金) 議会運営委員会
本会議（代表質問〈3人〉）
- 26日(水) 議会運営委員会
本会議（一般質問〈7人〉）
- 27日(木) 議会運営委員会
本会議（一般質問〈6人〉）
- 28日(金) 議会運営委員会
本会議（一般質問〈4人〉、補正予算案の追加提案説明・質疑・原案可決、予算及び決算特別委員会設置）
予算特別委員会（正・副委員長の互選、2分科会設置）
予算特別委員会第1・第2分科会（正・副委員長の互選）
決算特別委員会（正・副委員長の互選、2分科会設置）
決算特別委員会第1・第2分科会（正・副委員長の互選）

▶ 10 月

- 2 日(火) 予算特別委員会第1・第2分科会
（各部所管審査）
- 3 日(水) 予算特別委員会第1・第2分科会
（各部所管審査）
- 4 日(木) 予算特別委員会第1・第2分科会
（各部所管審査）
- 5 日(金) 予算特別委員会（各分科委員長報告、総括質疑、意見調整、議案等可決）
- 9 日(火) 各常任委員会
各特別委員会
決算特別委員会（決算概要聴取等）
決算特別委員会第1・第2分科会
（審査日程決定）
- 10日(水) 議会運営委員会
本会議（各委員長報告、議案等可決、人事案件の追加提案説明・同意議決、石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙、会議案1件可決、意見案4件可決、議員派遣の決定、報告第1号ないし第4号の閉会中継続審査の決定、関係委員会の閉会申請願継続審査及び事務継続調査の決定）

[第 3 回定例会閉会]

平成30年度北海道補正予算の概要

第3回定例会において、次のとおり補正予算について審議し、可決しました。

○平成30年度北海道一般会計補正予算（第2号）

（単位 千円）

歳 入	歳 出		
分担金及び負担金	2,324	総合政策費	4,980
国庫支出金	9,016,245	環境生活費	41,708
財産収入	6,290	保健福祉費	18,960
諸収入	190,495	農政費	4,343,338
道債	10,575,000	水産林務費	593,000
繰越金	1,632,948	建設費	4,987,405
		災害復旧費	11,059,100
		諸支出金	374,811
計	21,423,302	計	21,423,302

○平成30年度北海道特別会計補正予算

（単位 千円）

会 計 名	金 額
苫小牧東部地域開発出資特別会計	136,000
石狩湾新港地域開発出資特別会計	31,857
計	167,857

平成30年第3回定例会で可決した補正予算は、総額約215億9100万円。

一般会計に係る歳出予算の主なものは、本年7月の豪雨を初めとする災害により被災した施設の早期復旧を図るため、土木施設、耕地などの災害復旧事業費等、総額115億4000万円、道民のスポーツの振興を図るため、ワールドカップスピードスケート競技会・帯広大会開催費補助金1500万円、産地の競争力強化を図るため、農業者団体が行う施設整備等に対して支援することとし、産地パワーアップ事業費29億2700万円、本道経済の現状等に鑑み、道の単独施策を講じることとし、道路、河川などの特別対策事業費42億円、公共関連単独事業費9億円。

これらに見合う一般会計の歳入予算の主なものは、国庫支出金90億1600万円、道債105億7500万円、繰越金16億3200万円。

○平成30年度北海道一般会計補正予算（第3号）

（単位 千円）

歳 入		歳 出	
分担金及び負担金	25,213	総務費	4,850
国庫支出金	33,261,974	総合政策費	215,000
寄附金	100,000	環境生活費	69,573
繰入金	1,623,363	保健福祉費	3,729,222
諸収入	294,100	経済費	998,476
道債	11,072,200	農政費	433,180
繰越金	2,098,068	水産林務費	1,301,009
		建設費	856,577
		警察費	17,596
		教育費	328,024
		災害復旧費	40,521,411
計	48,474,918	計	48,474,918

○平成30年度北海道特別会計補正予算

（単位 千円）

会 計 名	金 額
公共下水道事業特別会計	11,000
計	11,000

平成30年第3回定例会で追加提案され可決した補正予算は、総額約484億8500万円。

一般会計に係る歳出予算の主なものは、胆振東部地震の災害対策に関する経費について、災害救助法に基づく市町村の応急対策経費や、避難されている方々の住宅確保を図るための仮設住宅の整備のほか、被災によりお亡くなりになられた方々の御遺族にお贈りする災害弔慰金として、総額34億円、災害により被災した施設の早期復旧を図るため、土木施設、耕地などの災害復旧事業費等に総額419億5500万円を計上するとともに、災害時における電力の確保を図るため、自家発電設備の整備に対して支援することとし、災害時給油体制緊急整備事業費補助金5億円、災害時酪農施設電源確保緊急対策事業費補助金2億5000万円、地震の発生により大きな影響を受けた食と観光産業の早急な需要回復を図るため、食と観光需要喚起緊急対策事業費3億5000万円、社会福祉施設の災害復旧に要する経費に対して支援することとし、2億1600万円、台風21号に係る災害対策経費について、土木施設、耕地の災害復旧事業費や庁舎等設備整備費など、総額8億3700万円。

これらに見合う一般会計の歳入予算の主なものは、国庫支出金332億6100万円、道債110億7200万円、繰越金20億9800万円。

○平成30年度北海道一般会計補正予算（第4号）

（単位 千円）

歳 入		歳 出	
国庫支出金	700,000	総務費	68,251
道債	315,000	水産林務費	1,050,000
繰越金	103,251		
計	1,118,251	計	1,118,251

平成30年第3回定例会で追加提案され可決した補正予算は、総額約11億1800万円。

歳出予算の主なものは、北方四島における日ロ共同経済活動の推進を図るため、根室市が行う種苗生産施設の整備に対して支援することとし、水産業振興構造改善事業費10億5000万円、10月に行われる釧路地域北海道議会議員補欠選挙の執行に要する経費として、北海道議会議員補欠選挙費6800万円。

これらに見合う一般会計の歳入予算の主なものは、国庫支出金7億円、道債3億1500万円。

第 3 回 定 例 会

▶総額711億400万円余の平成30年度補正予算を可決◀

概 要

- ① 平成30年度補正予算案等を審議する**第3回定例会**は、**9月11日に招集**され、議席の一部変更等を行い、**会期を10月10日までの30日間**と決定。

次に、**総額215億円余の平成30年度補正予算案**及びこれに関連する**議案等36件**が上程され、知事から平成30年北海道胆振東部地震の災害状況に関する報告並びに提出議案に関する説明。

次に、**意見案第1号「平成30年北海道胆振東部地震に関する意見書」**が提案され、説明及び委員会付託を省略し、異議なく**原案可決**。

その後、議案等調査のため、9月12日から9月14日及び9月18日から9月19日までの本会議を休会することを決定して散会。

- ② 休会明けの9月20日から**代表質問**に入り、9月21日に終結。議案等調査のため、9月25日の本会議を休会することに決定して散会。

- ③ 休会明けの9月26日から**一般質問**に入り、9月28日、一般質問の後、**総額496億400万円余の平成30年度補正予算案3件**が追加提案され、知事から提出議案に関する説明の後、議案第23号及び第24号を先議することについて決定し、質疑を行った後、一般質問を終結。議案第23号及び第24号の委員会付託を省略し、採決の結果、いずれも異議なく**原案可決**。

次に、直ちに**予算及び決算特別委員会を設置**し、議案第6号を北方領土対策特別委員会に、議案第11号を新幹線・総合交通体系対策特別委員会に、議案第17号を少子・高齢社会対策特別委員会にそれぞれ付託することを決定し、残余の議案を各委員会に付託。

その後、各委員会付託議案等審査のため、10月1日から10月5日まで及び10月9日の本会議を休会することを決定して散会。

- ④ **予算特別委員会**は、9月28日に正・副委員長の互選を行い、2分科会を設置。

10月2日から各分科会において各部所管の審査に入り、10月4日にこれを終了。10月5日に各分科委員長報告の後、総括質疑を行い、同日、付託議案に対する質疑を終結。採決の結果、いずれも原案可決と決定。

なお、審査の経緯に鑑み、北海道胆振東部地震による復旧、復興及びさらなる成長発展に向けた取り組みについて、災害に強い地域づくりやインフラ整備が促進されるよう、激甚災害制度の改正を国に求めることについて、電力の安定供給に向けた万全の供給体制の実現が図られるよう、国や北海道電力に強く働きかけることについて、外国人材の受け入れ拡大に向けた環境の整備など、必要な取り組みを早急に進めることについて、J R北海道の事業範囲の見直しに関し、道、市町村、経済界等が一体となって取り組むことについて意見を付すことに決定。

- ⑤ 会期最終日の10月10日は、各付託議案に対する委員長報告の後、討論を行い、採決の結果、いずれも委員長報告のとおり**原案可決**。

次に、「**北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件**」等の**人事案件5件**が追加提案され、知事から提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略し、採決の結果、いずれも異議なく**同意議決**。

次に、**石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙**を行い、指名推選の方法をもって、**議長指名により選出**。

次に、会議案第1号「北海道議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例案」が提案され、説明の後、委員会付託を省略し、採決の結果、異議なく原案可決。

次に、意見案第2号「平成30年北海道胆振東部地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める意見書」等4件について提案され、説明及び委員会付託を省略し、採決の結果、いずれも異議なく原案可決。

次に、議員派遣の件について決定。

次に、報告第1号ないし第4号について、閉会中継続審査に付することに異議なく決定。

最後に、閉会申請願継続審査及び事務継続調査の件について異議なく決定の後、閉会。

⑥ 提出案件の議決状況は次のとおりである。

提案者	提出件数	議 決 状 況					報告のみ
		原案可決	同意議決	承認議決	棄却すべき旨答申	継続審査	
知 事	44	25	5			4	10
議員・委員会	6	6					
計	50	31	5			4	10

本 会 議

○9月11日（火） 午前10時5分開会、大谷亨議長、平成30年第3回定例会の開会を宣し、

日程第1 議席の一部変更の件を議題とし、別紙配付議席表のとおりとすることを決定。

日程第2 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告、平成30年北海道胆振東部地震による犠牲者に対する黙禱、議員の辞職許可報告及び議員派遣について報告。

日程第3 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から10月10日までの30日間と決定。

日程第4 議案第1号ないし第22号及び報告第1号ないし第4号を議題とし、知事から平成30年北海道胆振東部地震の災害状況に関する報告並びに提出議案に関する説明。

日程第5 意見案第1号を議題とし、説明及び委員会付託を省略し、異議なく原案可決。

議案等調査のため、9月12日から9月14日及び9月18日から9月19日までの本会議を休会することに決定し、午前10時23分散会。

○9月20日（木） 午前10時11分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第22号及び報告第1号ないし第4号を議題とし、代表質問に入り、



三好 雅議員（自民） から、

1 道政上の諸課題について

- ・災害からの復旧、復興及び災害に強い北海道づくりに向けた考え
- ・災害発生時における正確な情報伝達に係る対応

- ・全電源喪失に係る認識と今後の対応に係る考え
- ・観光関連産業に係る状況の受けとめと今後の対応
- ・ガソリンスタンドの機能維持に向けた対応
- ・災害時の利用を念頭に置いた自転車活用推進計画の策定に係る考え
- ・地震災害に係る影響把握の考え及び現時点での被害状況
- ・西日本豪雨災害及び7月豪雨を踏まえた自然災害から住民を守るための対策に係る認識と対応

- ・ハード面のインフラ整備を通じた防災対策に係る見解
- ・地方創生の取り組みに関し、同じ状況にある地方団体が結集して国へ対策を働きかけることに係る見解
- ・若年者が首都圏に流出し続ける現状を変えていくための考え
- ・付加価値の高い道産食品の輸出拡大の構築に係る認識と戦略
- ・道内経済の活性化につながる脱炭素社会の実現に向けた積極的な取り組み
- ・交流空間構想の策定及び実現に向けた今後の取り組みに係る考え
- ・新規高卒者の職場定着に係る取り組み
- ・道内における若年人材の確保に係る見解
- ・外国人材の受け入れと共生に向けた認識と対応
- ・J R北海道の路線見直しに係る問題の解決に向けた考え
- ・政策情報の発信に係る統一的な基準の整備についての見解
- ・人事院の報告等を踏まえた職員の働き方改革に係る考え
- ・北特法改正を踏まえた北方基金の原資を活用した事業の考え方及び毎年度の基金取り崩し額
- ・ロシア大統領の日ロ平和条約の締結提案に対する認識及び今後の対応
- ・北海道インフラ長寿命化計画における公共施設等の維持管理に係る考え
- ・縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた今後の取り組み
- ・児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策に係る取り組み
- ・地域特性を踏まえた児童相談体制の整備に係る検討と対応
- ・主要農作物の種子生産に係る条例についての見解
- ・新たな森林管理システムの導入に向けた取り組み
- 2 教育問題について
- ・今回の全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた本道における小中学校の学力向上への取り組み
- ・教員不足状況の認識及び教員の確保に向けた

取り組み

3 公安問題について

- ・国内外のテロの脅威に対する対処の考え

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から発言。

議事進行の都合により午後零時5分休憩。午後1時11分再開し、



北口 雄幸議員（民主）から、

1 胆振東部地震について

- ・被害状況の把握及び全体被害額の見込み
- ・迅速な復旧に向けた今後の対応及び避難所生活を余儀なく

されている児童の心身のケアに係る対応

- ・北海道全域に及ぶ大規模停電が生じたことについての認識及び対処に係る所見
- ・節電の取り組みに係る所見
- ・大規模停電によるガソリンスタンドの営業停止の状況及び今後のガソリン、軽油の供給体制等の確保に係る所見
- ・本道を訪れている外国人観光客への対応
- ・道内観光への被害を最小限に抑えるための事前の備えに係る所見
- ・台風21号による被害状況の把握と復旧に向けた対応

2 知事の政治姿勢について

- ・さまざまな課題が山積する本道の状況及び高橋道政15年間の運営に係る評価
- ・知事の行き先確保に対する受けとめ及び残りの任期における道政課題に対する対応
- ・人口減少問題に対する認識と対応に係る所見
- ・規模拡大路線の結果による農家戸数の減少及び地域へ与える影響と人口減少の関係に係る認識と所見

3 行財政運営について

- ・15年間の知事の財政運営を踏まえた平成29年度決算及び実質公債費比率に係る所見
- ・国の基本計画内容の変更に係る確認及び今回の意見案における意図

4 交通政策について

- ・J R北海道に対する地域を含めた支援策に係る協議についての所見
- ・J R北海道がバス転換等を提案している線区に係る所見
- ・道内7空港の運営の一括民間委託に係る所見

5 医療・福祉政策について

- ・医療機関相互の連携の強化に係る所見
- ・児童虐待をなくすための課題への取り組みと目標及び道内の児童相談体制に係る所見
- ・国の各省庁における障がい者法定雇用率の水増しについての受けとめと認識
- ・障がい者雇用に係る体制整備及び第三者などによる確認体制の構築についての所見

6 1次産業振興について

- ・国際貿易交渉における本道の要望に係る所見
- ・北海道食の安全・安心基本計画の第4次計画策定における農業振興についての認識
- ・種子条例の制定に係る基本的認識及び財源確保に向けた所見
- ・6月から8月にかけての長雨、低温の影響の把握及び支援等に係る所見
- ・北海道食の輸出拡大戦略の見直し及び効果に係る所見
- ・漁業権の民間企業への開放に係る認識と今後の取り組みに係る所見
- ・新たな森林管理システムに係る積極的な支援体制の構築についての認識と取り組み

7 経済・雇用対策について

- ・人材確保に向けた連携事業に係る取り組み及び人手不足への対応
- ・雇用条件の改善に取り組む企業の増加に係る道の取り組みに係る所見
- ・就活ルールの見直しの議論に関する本道への影響についての考えと対応

8 I Rについて

- ・I Rの道内設置に係る見解及び反対立場の有識者が構成員に入らなかった理由などに関する所見

9 北方領土について

- ・東方経済フォーラムにおけるロシア大統領の発言に係る所見
- ・北方四島での共同経済活動に係る所見と対応

10 災害対策について

- ・道内の河川ハザードマップの整備状況、住民への周知及び避難指示のあり方に係る所見
- ・道内の土砂災害警戒区域の指定に係る進捗状況及び指定を受けた警戒区域の防災対策
- ・西日本豪雨を教訓とした危機管理についての所見
- ・洪水が予想される場合における利水ダムの活

用に係る見解

- ・災害時における個人情報保護の取り扱いに係る道の対応及び今後の見直しについての所見
- ・災害時に発生する大量の廃棄物の処理に係る道の役割及び具体的な対応に係る所見
- ・被災した河川、道路等の復旧への取り組み及び被害が重なって発生したことに係る所見
- ・これまで重点的に実施されてきた主要河川に加え、人命等の被害に直結するような中小河川の対策強化に係る所見

11 アイヌ政策について

- ・民族共生象徴空間の認知度向上に向けた取り組みに係る所見

12 百年記念施設周辺の再生構想について

- ・百年記念塔の解体に係るさまざまな意見に対する受けとめと今後の対応に係る所見

13 縄文遺跡群の世界遺産登録について

- ・北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた所見

14 外来種問題について

- ・ヒアリに対する情報の周知と対策に係る所見
- ・北海道ブルーリスト2010の見直しに係る検討状況及びヒアリの追加に係る所見

15 教育課題について

- ・アクション・プランの実効性の検証に係る所見及び勤務時間中の研修時間の確保に係る認識
- ・年間変形労働時間制の導入の意向及び調整額の規定が残ることに対する所見
- ・部活動指導員の活用に係る所見
- ・部活動のあり方に係る所見
- ・欠員が生じている学校に対する支援の現状と負担軽減に係る所見及び今後の教職員不足への対応

等について質問があり、知事、窪田副知事、阿部副知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後3時8分休憩。午後3時31分再開し、同議員から再質問があつて、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問。知事から答弁準備に時間を要する旨の発言があつて、午後4時30分休憩。午後4時34分再開し、知事から答弁。議事進行の都合により午後4時40分散会。

○9月21日(金) 午前10時1分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第22号及び報告第1号ないし第4号を議題とし、**代表質問**を継続。



佐藤 伸弥議員(結志)から、

1 知事の基本姿勢について

- ・ブラックアウトによる今回の事態の受けとめと今後の電力確保に向けた取り組み
- ・災害弱者避難支援の取り組み

に係る所見

- ・観光への風評被害対策に係る取り組み
- ・災害廃棄物処理計画における道と市町村のこれまでの相互協力体制の構築及び市町村の計画策定の促進に向けた取り組み
- ・道政運営における社会資本整備と道財政健全化のバランス
- ・人口減少に対する創生総合戦略のこれまでの取り組みに係る評価及び今後の取り組み
- ・人口減少問題に対する認識と今後の取り組み
- ・市町村の連携に係るこれまでの取り組みと対処
- ・本道の将来を見据えた交通ネットワークの形成に向けた取り組みに係る見解
- ・バス事業の活性化に係る取り組み
- ・地方における輸送網の確保に向けた取り組み
- ・J R北海道に係る地域の負担についての見解
- ・旅客のみならず、貨物も含めた利用促進など全道的な見地からの今後の議論のあり方

2 道政の諸課題について

- ・バリアフリー観光の推進の取り組み
- ・I Rの誘致に関するギャンブル依存症対策の検討と誘致の判断時期
- ・新たな税源確保策に係る見解
- ・外資誘致に係る今後の拡大戦略
- ・北海道環境産業振興戦略におけるこれまでの取り組みの成果と課題の認識及び今後の取り組み
- ・在宅医療体制の整備に係る所見
- ・産婦人科医の勤務環境の緩和、負担軽減への取り組み及び道内の周産期医療体制の整備に向けた今後の課題と取り組み
- ・国の新たな虐待防止対策を踏まえた児童相談体制の充実強化に係る所見
- ・里親の受け入れ減少の要因と対処及び特別養子縁組に係る公的支援体制についての見解
- ・北海道障がい者条例、地域づくりガイドラインの活用状況及び改正ガイドラインの浸透に係る取り組み

- ・地球温暖化対策の目標達成に係る所見
- ・地域気候変動適応計画の策定に係る見解
- ・民族共生象徴空間の認知度の低さに係る認識及び年間来場者100万人を目指した取り組み
- ・アイヌの人たちの社会的・経済的地位の向上に向けた取り組みの成果及びアイヌ民族に関する新法制定に係る所見
- ・重要妨害虫の緊急防除に係る今後の見通し
- ・クロマグロの資源管理と漁業経営の維持に係る認識及び今後の取り組みについての所見

3 教育行政について

- ・特別支援学校におけるスポーツ活動の実態と今後の対処
- ・「考え、議論する道徳」の実現に向けた今後の取り組み

4 公安問題について

- ・道内における暴力団の現状と今後の対策

等について質問があり、知事、辻副知事、窪田副知事、阿部副知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があって、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問があって、知事から答弁。議事進行の都合により午後零時9分休憩。午後1時13分再開し、



安藤 邦夫議員（公明） から、

1 知事の政治姿勢について

- ・今回の甚大な災害に対する受けとめと今後の取り組み
- ・開発局との連携の強化に係る所見

- ・ライフラインの復旧に向けた見通し
- ・冬に向けた電力需給の見通し、ブラックアウトの発生に係る検証及びリスク回避に係る所見
- ・滝の上発電所の現状と清水沢発電所及び北電のLNG発電所の稼働に係る所見
- ・災害時における救急医療機関の対応、2次救急医療機関への非常用発電機の設置及び火災、地震の対応マニュアルに係る所見
- ・住宅被害の支援に対する取り組み
- ・地震の風評被害による中小企業の現状把握と支援
- ・地震による農林水産業の被害の実態と支援及び停電時における電力確保についての所見
- ・被災地における小・中・高校への影響と対応
- ・JR北海道の路線見直し問題に係る所見
- ・将来の全国の鉄道網のあり方、総合的な交通

体系及び法改正を含めた維持に向けた具体的な支援に係る所見

- ・掘削土の処分対策に係る所見

- ・新たに整備される新幹線の札幌駅に係る所見

2 民族共生象徴空間について

- ・民族共生象徴空間のオープンに向けた今後の取り組みに係る所見
- ・修学旅行などの積極的な誘致に係る所見

3 札幌医科大学による地域医療への貢献について

- ・総合診療医をめぐる現状認識、今後の地域医療及び札幌医科大学に対する取り組み

4 経済活性化について

- ・ものづくり企業の誘致に係る取り組み
- ・本道のものづくり産業の振興に向けたAI、IoTなどの先端技術の導入に係る所見

5 保健福祉問題について

- ・児童虐待の根絶に係るこれまでの協議検討の状況と今後の取り組み
- ・障がい者雇用の定着に係る取り組み
- ・農福連携の取り組みに係る所見

6 世界水準の観光地の形成について

- ・本道の観光振興に係る国の方針の受けとめ及び今後の取り組み
- ・観光客の地域偏在及び季節間格差の改善に係る課題と今後の取り組み
- ・ヘルスツーリズムの本格的な導入及び活用に係る所見

7 北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録について

- ・北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録後における誘客拡大に係る所見

8 農業問題について

- ・種子の生産及び種子生産に関する条例の制定に向けた対象作物の検討に係る所見
- ・種苗法に基づき品種登録を行った優良な品種の流出防止に係る対応

9 道立広域公園について

- ・道立広域公園の老朽化対策及び維持管理に係る取り組み
- ・道立広域公園の整備計画に係る取り組み

10 教育問題について

- ・SNSを活用したいじめや不登校等、子どもの悩みに対する相談体制の導入に係る所見
- ・高校中途退学の未然防止及び退学後のフォロー

ーアップに向けた取り組み

11 公安問題について

- ・通学路の安全確保対策に係る今後の取り組み

等について質問があり、知事、辻副知事、窪田副知事、阿部副知事、公営企業管理者、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後2時27分休憩。午後2時51分再開し、



宮川 潤議員（共産） から、

1 災害対策について

- ・被災者支援のあり方に係る認識
- ・第1次産業及び中小企業等に対する支援に係る見解
- ・液化化現象等、全道の土地利用のあり方の検討及び現在の利用状況の分析、対応に係る見解
- ・公共施設、コンビニでの充電体制の整備に係る見解
- ・在宅で酸素濃縮器や吸たん器を使っている場合の対処方法の検討
- ・道内の建築物の水道直結化に係る取り組み
- ・SNS上における流言飛語の対応及び今後の正確な情報の提供に係る見解
- ・前例にとらわれない抜本的な支援に係る所見
- ・泊原発の外部電源の一時喪失事故に対する受けとめと対応
- ・北電のリスク管理の責任に対する見解
- ・再生可能エネルギーを軸にした地産地消、地域分散型のエネルギー構造に係る見解
- ・利益を優先する北電の体質に係る所見
- ・北電の責任に係る見解

2 知事の政治姿勢について

- ・ロシア大統領の提案及び首相の外交的失態に係る見解
- ・全国知事会議における日米地位協定の見直しの提言に係る認識と今後の道行政
- ・安倍首相の改憲に係る言動に対する受けとめ

3 道民生活について

- ・これまでの連続的な生活保護費の削減に対する受けとめ
- ・電力会社と福祉部局との連携強化に係る所見
- ・生活保護世帯及び児童養護施設の子どもの大学等進学率に係る受けとめと改善の取り組み
- ・大学等に進学するための世帯分離に係る見解
- ・生活保護基準を下回る大学生等の生活保護申請に係る見解

- ・寡婦（夫）控除のみなし適用に係る実施状況及び非婚の一人親世帯の支援強化についての見解

- ・北海道文書管理規定に反し、議事録等が作成されなかった原因と係る認識及び改善に向けた所見

- ・有害凶書の指定に関する基準の見直しに係る所見

4 地方交通について

- ・JR北海道の支援に係る地元負担及び今後2年間の国の取り組み等に対する見解
- ・日高本線及び根室本線の早期復旧に係る所見
- ・北海道新幹線の事業見通し等に係るJR北海道の今後の収支見通し及び道の対応
- ・新函館北斗、札幌間のトンネルに係る汚染土の処理及び北海道新幹線の延伸計画の見直しに係る検討と認識

5 経済・産業対策について

- ・カジノの道内誘致に係る道民世論の反映についての所見
- ・カジノの道内誘致の再検討に係る見解

6 第1次産業対策について

- ・食料自給率第1位からの転落に係る所見と今後の対応策
- ・種子に関する条例における種子法との違い

等について質問があり、知事、辻副知事、窪田副知事及び阿部副知事から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から再々質問。知事から答弁準備に時間を要する旨の発言があつて、午後4時23分休憩。午後4時28分再開し、知事から答弁。議事進行の都合により午後4時31分散会。

○9月26日（水） 午前10時1分開議、諸般の報告の後、

日程第1 常任委員の委員会所属変更の件を議題とし、経済委員東国幹君（自民）を水産林務委員に所属変更することについて異議なく決定、

日程第2 議案第1号ないし第22号及び報告第1号ないし第4号を議題とし、**一般質問**に入り、

太田 憲之議員（自民） から、

1 災害被害の把握と今後の対応について

- ・観光産業に係る風評被害の影響の把握と対策
- ・道内の観光需要の喚起に係る



取り組み

- ・道内容に対する誘客策及び国内外への情報発信に係る取り組み
 - ・山腹崩壊による林業関係の被害状況及び国の補助治山事業などにより整備した施設等の対応
 - ・復旧、復興に向けた当面の課題と見解
 - ・地震による漁港施設の被害状況と今後の対応
 - ・地震による水道施設の被害、復旧状況及び道のこれまでの対応
 - ・厚真町の浄水場の復旧に係る支援と取り組み
- 2 被災地域からの要望への対応について
 - ・被災自治体の要請への対応
 - 3 食の輸出拡大戦略等について
 - ・新たな食の輸出拡大戦略における目標の達成状況と今後の見込み
 - ・経済的な波及効果に係る所見

等について質問があり、知事、経済部観光振興監、経済部食産業振興監、環境生活部長及び水産林務部長から答弁。同議員から発言。



中川 浩利議員（民主） から、

- 1 北海道胆振東部地震及び台風21号被害について
 - ・泊原発を念頭に置いた現在の不完全な供給システムに係る所感

- ・観光客への対応の遅れに係る見解
 - ・外国人観光客への対応とこれまでの備え及び今後の検証に係る考え
 - ・外国人旅行者専用の避難所の準備に係る所見
 - ・外国人旅行者のサポートとなる多言語スタッフの確保に係る現状と取り組み
 - ・観光危機管理計画の検討状況及び策定に係る見解
 - ・さまざまな緊急事態を想定した道内中小企業のBCP策定に係る取り組み
 - ・台風災害の対処に係る所見
 - ・台風被害の把握、復旧及び今後の対応に係る見解
 - ・防災担当職員の資質の担保に係る施策
 - ・防災行政無線の戸別受信機等の普及に係る見解
- 2 今年度作の農作物に対する対策について
 - ・農作物の不作等に対する対策
 - ・稲作経営支援に係る所感
 - 3 学校建物の耐震化について

- ・地震による倒壊の危険性が高い建物の耐震化に係る見解

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、経済部観光振興監、農政部長及び教育長から答弁。同議員から再質問があって、知事から答弁。議事進行の都合により午前11時23分休憩。午後1時1分再開し、



加藤 貴弘議員（自民） から、

- 1 災害対応について
 - ・災害連携協定に関し、新しい視点での協定の検討
 - ・初動時における支援物資の受け入れ体制及び札幌市との連

携のあり方に係る所見

- ・北海道災害ボランティアセンターの支援に係る所見
- ・現地のボランティア活動の状況及び今後の課題、取り組み
- ・今般の災害における初動の災害医療体制及び今後の取り組み
- ・医療機関に対する非常用電源の確保に係る見解
- ・災害発生時における在宅患者への支援の内容及び非常用電源の確保に係る今後の取り組み
- ・蓄電池の利用促進によるエネルギー確保策に係る見解
- ・自家発電機を備えたガソリンスタンドの整備に係る見解
- ・自然災害時における外国人観光客の支援体制の強化に係る考え
- ・震源地周辺地域の災害廃棄物処理の状況と今後の対応
- ・被災地におけるリユース業界や事業者との連携の検討

- 2 地震による教育への影響について

- ・地震による道内公立学校の臨時休校の状況及び厚真町など3町の学校における今後の対応
- ・被災した児童生徒の心のケアに対するこれまでの対応と今後の取り組み

- 3 北方四島における共同経済活動について

- ・日ロ首脳会談の共同経済活動に係る結果の受け止め及び地元から要請があった種苗生産施設の早期着工に向けた支援に係る見解

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、環境生活部長、保健福祉部長、経済部長及び教育長から答弁。



川澄 宗之介議員（民主）から、

- 1 災害対策について
 - ・エネルギー供給の強靱化の取り組み及び発電所の稼働の見直しに係る見解
 - ・北海道省エネルギー・新エネルギー

ルギー促進行動計画の見直しに係る認識

- ・石狩湾新港のLNG火力発電所1号機の稼働要請及び2号機、3号機の稼働計画の見直しに係る見解
 - ・冬期間における電力確保に係る見解
 - ・住民拠点SS整備による給油待ちの緩和に係る見解
 - ・都市部における住民拠点SSの設置及び今後の設置の計画に係る見解
- 2 民泊について
 - ・民泊事業者の開業に係る地域への対応の取り組み
 - ・北海道の地域観光の活性化に係る取り組み
 - 3 小樽海上技術学校について
 - ・小樽商業高校の跡地の利用に係る見解
 - 4 高校配置について
 - ・公立高校の閉校による教育の機会均等の崩壊に係る所見
 - ・道内各地域に残すべき高校の数に係る見解
 - ・高校配置計画に係る見解
 - 5 放課後等デイサービスについて
 - ・放課後等デイサービスにおける事故件数と種別及び事故が起きた際の行政指導
 - ・職員確保に係る認識と支援
 - ・情報提供及び研修機会の確保等に係る見解
 - ・子どもへの支援内容の共有に係る認識
 - 6 急傾斜地の対策工事について
 - ・急傾斜地崩壊危険区域の対策基準の見直しに係る見解
 - 7 学校における災害対策について
 - ・臨時休業に係る職員の出勤の判断及び全家庭への連絡の方法
 - ・連絡体制の課題に係る見解
 - ・引き渡し訓練の検討に係る見解

等について質問があり、知事、保健福祉部長、経済部長、経済部観光振興監、建設部長及び教育長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。



清水 拓也議員（自民）から、

- 1 障がいのある方の避難と情報保障について
 - ・被災地の障がい者に対する相談支援
 - ・避難所における情報保障、安

否確認、困り事の相談等の対応及び障がい者等の防災訓練への参加に係る所見

- ・災害時における聴覚障がい者への情報提供及び情報提供施設の設置に係る所見
 - ・障がい者の特性に応じた情報保障の取り組み
- 2 盲導犬やペットなどとの避難について
 - ・避難所におけるペットの受け入れ状況及びけが等のあるペットの対応
 - ・盲導犬などの身体障がい者補助犬の対応状況
 - 3 米政策について
 - ・新たな米政策にかかわる道内の取り組みの認識及び稲作農業の充実発展、経営の安定に向けた取り組み
 - 4 被災地の治安対策について
 - ・被災地における窃盗などの取り締まりに係る所見

等について質問があり、知事、環境生活部長、保健福祉部長及び警察本部長から答弁。同議員から発言。議事進行の都合により午後3時1分休憩。午後3時31分再開し、



中山 智康議員（結志）から、

- 1 人口減少時代における持続可能な社会の構築について
 - ・道と市町村の役割の認識と改善に係る所見
 - ・市町村への事務・権限移譲方

針に係る認識

- ・事務、権限の移譲に係る今後の取り組み
 - ・職員の年齢構成の改善に係る所見
 - ・新たな支庁制度改革の検討に係る見解
- 2 食の輸出拡大戦略について
 - ・輸出促進に向けた環境整備に係るこれまでの成果及び道産食品の輸出額目標の達成に係る見込み
 - ・道産食品の輸出額拡大に向けた施策に係る所見
 - ・食の輸出拡大戦略における目標達成後の経済効果見込み
 - ・現行戦略の推進管理に係る所見
 - 3 人口減少下における人手不足対策について

- ・働き方改革推進方策における人手不足対策の成果と認識
- ・人手不足の解消に向けた今後の取り組み
- ・今後の高校配置に係る見解

4 受動喫煙対策について

- ・受動喫煙ゼロに向けた取り組みに係る所見

等について質問があり、知事、総務部職員監、総合政策部長、経済部長、経済部食産業振興監及び教育長から答弁。



荒当 聖吾議員（公明） から、

1 本格的な国際化への対応について

- ・国際貢献に係る今後の取り組み及び民間の国際交流団体との交流に係る所見

- ・SDGsの推進に係る取り組み
- ・国際化への新たな取り組みに係る所見
- ・中南米などの開発途上国との交流に係る所見

2 北海道胆振東部地震による観光への影響について

- ・観光への影響に係る認識と対応及び外国人観光客に対する今後の取り組み

3 地域医療の確保について

- ・効率的な医療提供体制の構築に係る所見

4 エネルギー問題について

- ・雪氷冷熱利用の推進に係る所見
- ・バイオマスエネルギー普及の促進に係る所見

5 中小・小規模企業対策について

- ・中小・小規模企業を取り巻く現状の認識と今後の振興に係る取り組み

6 食の輸出拡大戦略について

- ・食の輸出拡大戦略の策定に係る取り組み

7 農業問題について

- ・本道の農業、農村の振興に向けた対応
- ・スマート農業の取り組みの推進に係る所見

8 水産政策の改革について

- ・本道の漁業協同組合の役割に係る認識及び今後予定される改革に係る取り組み

9 教育問題について

- ・労働力不足への対応及び地域を主体的に支えていく人材育成に係る取り組み
- ・工業高校における実践的な就業体験の推進に係る取り組み

10 タンデム自転車の一般公道での走行について

- ・一般公道での走行に係る所見

等について質問があり、知事、総合政策部長、環境生活部長、

農政部長、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により午後4時50分散会。

○9月27日（木） 午前10時1分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第22号及び報告第1号ないし第4号を議題とし、**一般質問**を継続。

内田 尊之議員（自民） から、

1 エネルギー源の確保等について

- ・分散型電源として対応が可能な再生可能エネルギーの導入に係る見解



- ・洋上風力発電の促進に係る見解
- ・携帯情報端末の充電を希望する住民に対する庁内ルールの整備に係る見解

- ・個別分散型の非常用電源の確保に係る見解

- ・LPガス発電機等の活用に係る見解

2 中小企業の振興について

- ・中小・小規模企業における生産性改革に係る支援の考え

3 地域センター病院の連携強化について

- ・地域センター病院と周辺医療機関の連携強化に係る見解

4 日本海漁業の振興について

- ・日本海漁業振興基本方針におけるこれまでの取り組みに係る課題と成果及び新たな基本方針における考え

- ・ナマコの密漁防止に向けた道の対応と今後の取り組み

5 学校における働き方改革について

- ・市町村立学校における働き方改革を進めるための計画づくりの作成状況、道教委の取り組み及びスクール・サポート・スタッフ事業の今後の展開

6 学力向上について

- ・小学校における知識を活用する力の育成に向けた今後の取り組み

等について質問があり、知事、病院事業管理者、総務部長兼北方領土対策本部長、総務部危機管理監、経済部長、水産林務部長、教育長及び警察本部長から答弁。



佐々木 恵美子議員（民主）から、

- 1 特別弔慰金について
 - ・特別弔慰金の請求期限の周知に係る具体的内容と認識
 - ・市町村への協力依頼に係る所見

- ・特別弔慰金に関する遺族会との連携に係る取り組み
- ・案内文書の送付方法及び救済策に係る見解
- ・案内文書の確実な周知に向けた今後の対応

等について質問があり、知事及び保健福祉部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。議長から会議規則第57条ただし書の規定による発言許可の後、同議員から発言。議事進行の都合により午前11時30分休憩。午後1時1分再開し、



真下 紀子議員（共産）から、

- 1 災害対策等について
 - ・知事の本部長としての役割に係る所見
 - ・道の支援に係る見解
 - ・むかわ町におけることしの収穫及び来年の作付に向けた支援

- ・厚真町の復旧に係る現時点の見通し及び漁港の改修に係る取り組み
- ・土砂災害警戒区域の検証及び複合災害対策
- ・避難所の現状と避難環境のあり方に係る所見
- ・簡易ベッドの準備に係る迅速な対応についての所見

2 全道停電（ブラックアウト）と電力供給等について

- ・全道における火力発電所の耐震に係る見解
- ・地域防災計画における発電施設の対応
- ・発電の一極集中に係るリスク認識及び電源の多様性、地域分散に係る見解
- ・北電による停電情報の提供に係る危機管理意識についての所見及び道の対応
- ・災害時におけるBCPの策定状況、効果及び必要性に係る認識
- ・被害状況の把握及び損失補償に係る見解
- ・非常用発電機の設置に係る補助実績及び対象拡大に係る取り組み
- ・電力供給の安定に係る対応
- ・自然再生エネルギー及び省エネの推進等に係る取り組み

3 原発政策について

- ・泊原発における外部電源の喪失に係る認識
- ・北電による外部電源喪失の連絡と経過報告及び周辺住民等に対する措置に係る見解
- ・外部電源喪失に係る北電の対応と検証及び再発防止策
- ・原子力災害時における住民避難に係る見解
- ・放射能被曝に係るバス運転手の不安等に係る見解及び住民避難に係る所見

4 国直轄ダムの基本計画変更と公共事業施策について

- ・国直轄ダム2事業における当初計画以降の推移
- ・計画変更及び巨額の財政負担に係る責任
- ・公共土木施設の維持管理費に係る見解

5 障がい者雇用の促進等について

- ・国の行政機関における障がい者雇用の水増しに係る認識
- ・道内の障がい者雇用の状況、促進策及び身体、知的、精神の3障がいへの対応
- ・精神障がい者、知的障がい者の雇用に係る検討状況及び雇用状況と取り組みの強化に係る所見

6 学校の耐震化の促進について

- ・学校耐震化に係る取り組み

7 大学入試改革等について

- ・ジャパンeポートフォリオに対する認識
- ・ジャパンeポートフォリオに係る情報提供及び説明
- ・高大接続改革に係る今後の取り組み

8 職員の不祥事等について

- ・知事部局、道警における処分等の件数、過去5年間の主な事案の推移及び公表拡大による支障
- ・公表拡大の効果に係る見解
- ・道警による全面公開の反対に係る見解

等について質問があり、知事、総務部職員監、総務部危機管理監、経済部長、農政部長、水産林務部長、建設部長、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問があつて、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再々質問があつて、知事から答弁。



野原 薫議員（自民） から、

- 1 農業被害などについて
 - ・台風と地震による農業被害の状況と今後の対応
 - ・農地、農業用施設等の被害状況及び復旧に係る取り組み
- ・停電による酪農の被害状況及び今後の対応
- ・農協の共同利用施設の被害状況及び施設の修繕、再整備に係る取り組み
- ・本道のバックアップ体制の充実強化に係る見解
- ・災害時における食料供給に係る所見
- ・ホッカイドウ競馬の被害状況及び復旧の取り組み
- 2 がん診療連携拠点病院について
 - ・がん診療連携拠点病院等の指定更新に向けた対応

等について質問があり、知事、総務部危機管理監及び農政部長から答弁。議事進行の都合により午後2時55分休憩。午後3時21分再開し、



菅原 和忠議員（民主） から、

- 1 災害対策について
 - ・ブラックアウトに係る北電の情報提供及び情報管理に係る対応
 - ・今後のブラックアウトの可能性に係る所見

性に係る所見

- ・北電に対する再発防止に向けた指導及び対策に係る所見
- ・避難所の改善に係る所見

2 百年記念塔について

- ・百年記念塔の解体の結論に至った理由
- ・記念塔解体後の跡地に係る所見

3 I Rについて

- ・I Rの誘致に係る道民の反応に対する所見
- ・道民の意見聴取に係る所見
- ・治安問題等、リスクが大きいI Rの誘致に係る所見

4 J R北海道の路線見直しについて

- ・平成33年度以降のJ R北海道に対する支援に係る所見
- ・単独維持困難な線区の協議における道の役割に係る所見

等について質問があり、知事、総務部危機管理監、総合政策部交通企画監、環境生活部長、経済部長及び経済部観光振興監か

ら答弁。同議員から再質問があって、知事から答弁。



松浦 宗信議員（自民） から、

- 1 沿岸漁業の振興について
 - ・沿岸漁業に係る認識と今後の振興に係る取り組み
 - ・ブラックアウトによる物流の混乱、冷凍・冷蔵庫の冷却機

能の停止に係る認識と今後の取り組み

2 厚岸道立自然公園の国定公園指定に向けた取り組みについて

- ・厚岸道立自然公園の国定公園の指定に向けた積極的な取り組み及び訪日外国人観光客の増加、地域振興に係る見解

3 道の文書管理等について

- ・道の文書管理規程における管理のあり方に係る見解
- ・最新の情報処理技術の活用による文書管理の見直しに係る見解

4 人材育成について

- ・職員研修の充実に係る見解
- ・活力ある道庁組織のための人材育成体制強化に係る取り組み

5 北方領土隣接地域の振興について

- ・北方基金と国の補助制度に係る事業の選定及び財源
- ・平和条約締結に関するプーチン大統領の発言及び国が積極的に進める共同経済活動に係る所見

等について質問があり、知事、総務部長兼北方領土対策本部長、総務部職員監及び水産林務部長から答弁。議事進行の都合により午後4時37分散会。

○9月28日（金） 午前10時14分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第22号及び報告第1号ないし第4号を議題とし、**一般質問**を継続。



千葉 英也議員（自民） から、

- 1 自治体消防について
 - ・広域・複合的な災害が発生した際における道の対応に係る所見

2 停電対策について

- ・道と電力会社、振興局と市町村、情報発信機関との連携に関する仕組みづくり及び停電時における電力の復旧状況を確認できるシステムの構築に係る所見

- ・大規模停電時における民間企業等への自家用発電機の設置に向けた支援に係る所見
- 3 事業継続計画等について
- ・中小企業における事業継続計画の策定促進に係る取り組みと今後の対応
 - ・災害事故休暇の取得状況及び出勤できなかったことによる業務への支障
 - ・非常事態における業務執行体制の強化に向けた事業継続計画の見直しに係る見解
 - ・ICTを活用した効率的、効果的な環境整備に係る所見

等について質問があり、知事、総務部職員監、総務部危機管理監及び経済部長から答弁。



山崎 泉議員（結志） から、

- 1 災害時における対応と今後の対策について
- ・台風21号による農業被害と今後の対応
 - ・地震と停電による酪農家の被害状況及び災害時における今後の経営安定に係る取り組み

・風評被害対策に係る取り組み

- ・介助や介護が必要な高齢者等に係るこれまでの支援の内容
- ・災害発生時における道警の初動対応
- ・民間団体等との連携に係る所見

2 SDGsについて

- ・「北海道SDGs推進ビジョン」の策定プロセスに係る考えと取り組み
- ・SDGsの認知度向上に向けた取り組み
- ・「北海道SDGs推進ビジョン」の推進に係る所見

3 東京オリンピック・パラリンピック、札幌オリンピック・パラリンピックについて

- ・札幌冬季オリンピック・パラリンピックの2030年招致に向けた取り組みに係る所見
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた全道の地域振興に係る取り組みについての所見

4 スポーツにおけるパワハラについて

- ・パワハラへの対応

5 献血の推進について

- ・若年層の献血の推進に係るこれまでの取り組み
- ・昨年度から新たに実施している献血に関する

授業実践研究事業及び平成27年度から昨年度まで各管内で実施した献血制度等に係る教職員等研修会における取り組みの内容と成果

- ・若年層の献血の推進に向けた取り組み

等について質問があり、知事、総合政策部長、環境生活部長、保健福祉部長、経済部観光振興監、農政部長、教育長及び警察本部長から答弁。



田中 英樹議員（公明） から、

1 災害による酪農被害への対策について

- ・停電による酪農家への影響とこれまでの対応
- ・自家発電機や配電盤の整備な

ど電力供給体制の支援に係る取り組み

- ・今年度の粗飼料確保に向けた取り組み

2 建設問題について

- ・道内に多数存在する高規格幹線道路のミッシングリンクの早期解消に向けた取り組み
- ・高規格幹線道路の供用区間の機能強化に係る所見
- ・国直轄ダムの基本計画の変更に伴う道の負担増に係る所見

3 労働問題について

- ・建設業における働き方改革に係る今後の取り組み
- ・女性の復職、再就職の促進に向けた具体的な取り組み

4 道庁OBを活用した災害ボランティアの確保について

- ・災害時における赤れんが・地域応援シニアバンク制度の活用に係る所見

5 再生可能エネルギーの導入について

- ・エネルギーの地産地消及び地域資源の活用に係るこれまでの取り組みと今後の見通し
- ・モデル事業への支援に係る今後の展開

6 湿原の保全と利用について

- ・湿原の保全と利用に係る所見

7 冬季競技のナショナルトレーニングセンターの誘致について

- ・北海道の地域特性を生かした冬季競技のナショナルトレーニングセンターの誘致及び冬季スポーツのさらなる振興に係る所見

8 教育問題について

- ・北海道の実情に応じたがん教育の取り組みに係る所見

- ・受動喫煙の防止に向けた今後の取り組み
- ・コミュニティスクールの導入促進と取り組みの充実に係る所見
- ・日本遺産の認定に係る取り組み

等について質問があり、知事、総合政策部長、環境生活部長、経済部長、農政部長、建設部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により午後零時6分休憩。午後1時11分再開し、



梅尾 要一議員（自民） から、

- 1 港湾施設の空洞化対策について
 - ・苫小牧港における港湾施設の点検及び診断に係る空洞化調査の実施状況

- ・他港における港湾施設の適切な維持管理に向けた取り組み
 - ・広域的な港湾の事業継続計画に係る取り組み状況
 - ・大規模災害発生時における港湾機能の回復等に係る取り組み
- 2 自然災害への対応について
 - ・コンパクトシティの推進に係る取り組み
 - 3 道有建築物等のストックマネジメントについて
 - ・各道立施設等における点検方法及び長期的な修繕計画の作成方法
 - ・建設部における道有建築物等に係る予算、修繕業務等の集約に係る効果
 - ・道有建築物等の適切なストックマネジメントに向けた取り組み
 - 4 新たな住宅セーフティネット制度について
 - ・住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅の登録状況に係る認識と登録の促進に向けた取り組み
 - ・市町村等との連携による住宅確保要配慮者の入居の促進に係る所見

等について質問があり、知事、総合政策部交通企画監及び建設部建築企画監から答弁。

日程第1の議事を中止。

追加日程 議案第23号ないし第25号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明の後、議案第23号及び第24号を先議することについて異議なく決定。議事進行の都合により午後1時47分休憩。午後2時27分再開。

議案第23号及び第24号に関する質疑に入り、



東 国幹議員（自民） から、

- 1 北海道胆振東部地震及び台風21号からの復旧・復興対策について

- ・補正予算における対策及び今後の対応に係る所見

- ・風評被害の払拭に向けた今後のプロモーションの考え
- ・ふっこう割の実施内容及び国の取り組みとの連携に係る所見
- ・住民拠点サービスステーションの整備状況
- ・自家発電設備の整備箇所の選定に係る所見
- ・復旧、復興に向けた取り組みに係る所見

等について質問があり、知事から答弁。



畠山 みのり議員（民主） から、

- 1 復旧・復興対策の考え方について

- ・復旧・復興対策に係る対応の程度及び基本的な考え方

- 2 復興に向けた体制整備について

- ・道庁内体制の充実強化に係る所見
- 3 被災市町における応急仮設住宅の対応について
 - ・応急仮設住宅の整備の内容及び対応に係る所見
 - ・避難生活におけるプライバシーの確保、厳しい冬への対応に係る所見
 - 4 災害復旧と今後の対応について
 - ・老朽化した社会インフラ整備及び機能強化に係る今後の取り組み
 - 5 災害時給油体制緊急整備事業費補助金について
 - ・道単独で自家発電設備を整備する理由、郡部への対応及び札幌市との役割分担に係る所見
 - 6 観光被害への対応について
 - ・割引旅行商品の計上に係る所見、規模、執行時期の考え方及びプロモーションの実施に係る所見
 - 7 農業被害への対応について
 - ・酪農家への支援や工場における災害時電力供給体制の整備に係る所見
 - ・出荷貯蔵施設や乾燥調製施設などの共同利用施設及びビニールハウスの被害に係る対応

等について質問があり、知事から答弁。



赤根 広介議員（結志） から、

- 1 暮らし・生活の再建について
 - ・ 応急仮設住宅に係る詳細な整備スケジュール
 - ・ 避難所運営支援に係る道職員の派遣期間に係る所見

- 2 ライフラインやインフラの早期復旧について
 - ・ ライフライン、インフラの早期復旧の対処
- 3 電力需給ひっ迫等による産業被害からの復興について
 - ・ 北本連系設備の増強に係る所見
 - ・ 自家発電設備の整備対象に係る選定基準及び恒久補助制度に係る所見
 - ・ 電力需給対策に係るこれまでの取り組み
 - ・ 北海道防災計画の改定に係る見解
- 4 食と観光の早急な需要回復について
 - ・ 食と観光の需要回復に係る取り組みの効果の見込み
 - ・ 道内のインバウンドの復活に係る今後の取り組み
- 5 復旧・復興対策体制について
 - ・ 胆振東部地震災害復興支援室の体制強化に係る見解

等について質問があり、知事から答弁。



志賀谷 隆議員（公明） から、

- 1 災害対策について
 - ・ 当面する本道の電力需給の見通しに係る所見
 - ・ 災害予防に係るインフラ整備の取り組み

- ・ 配電盤設備の農家への導入に係る所見
- ・ ブラックアウトの教訓を踏まえた技術対策の見直し及び新たなマニュアルの策定に係る所見
- ・ 国内外への道産食品の販路拡大に向けた情報発信の強化に係る所見
- ・ 風評被害の払拭に向けたプロモーション及び情報発信の取り組みに係る所見
- ・ どさんこプラザバンコク店のオープン予定及び新店舗における情報発信、インバウンドの拡大に向けた取り組み

等について質問があり、知事から答弁。



菊地 葉子議員（共産） から、

- 1 復旧・復興対策の基本的な考え方について
 - ・ 復旧・復興対策の基本的な考え方と今後の対応
- 2 応急仮設住宅等について

- ・ 応急仮設住宅の整備、入居時に必要な家財道具の購入支援の見通し及び仮設住宅の不足に係る対応
- 3 被害住宅への支援について
 - ・ 被災者生活再建支援制度における支援金の条件緩和及び制度拡充に係る所見
- 4 グループ補助金について
 - ・ グループ補助金の適用に係る利用要件の緩和、制度拡充に係る見解及び制度の周知に係る対応
- 5 農業被害等について
 - ・ 乳房炎の対策に係る国への要望及び自家発電設備の支援に係る所見
 - ・ ビニールハウスや共同利用施設などの復旧費用に係る所見及び台風21号によるビニールハウスの被害に係る補償の見通し

等について質問があり、知事から答弁。

日程第1にあわせ、追加日程、議案第23号ないし第25号を一括議題として議事を継続。

質疑並びに質問を終結した後、議案第23号及び第24号の委員会付託を省略し、いずれも異議なく原案可決。

議長から、予算及び決算に関する案件について、本議会に27人の委員をもって構成する予算特別委員会及び27人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、関係案件を両委員会にそれぞれ付託の上審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員（27人）

- | | |
|-----------|-----------|
| 安住 太伸（結志） | 小岩 均（民主） |
| 内田 尊之（自民） | 大越 農子（自民） |
| 久保秋雄太（自民） | 船橋 賢二（自民） |
| 畠山みのり（民主） | 白川 祥二（結志） |
| 赤根 広介（結志） | 中野渡志穂（公明） |
| 佐野 弘美（共産） | 沖田 清志（民主） |
| 笹田 浩（民主） | 梶谷 大志（民主） |
| 笠井 龍司（自民） | 中野 秀敏（自民） |
| 花崎 勝（自民） | 村木 中（自民） |
| 田中 芳憲（自民） | 松浦 宗信（自民） |

大崎 誠子（自民） 長尾 信秀（自民）
橋本 豊行（民主） 吉井 透（公明）
三井あき子（民主） 遠藤 連（自民）
喜多 龍一（自民）

○決算特別委員（27人）

菊地 葉子（共産） 阿知良寛美（公明）
太田 憲之（自民） 加藤 貴弘（自民）
道見 泰憲（自民） 丸岩 浩二（自民）
梅尾 要一（自民） 菅原 和忠（民主）
中川 浩利（民主） 藤川 雅司（民主）
白川 祥二（結志） 赤根 広介（結志）
沖田 清志（民主） 市橋 修治（民主）
梶谷 大志（民主） 三好 雅（自民）
村木 中（自民） 吉田 祐樹（自民）
富原 亮（自民） 八田 盛茂（自民）
大崎 誠子（自民） 千葉 英守（自民）
中山 智康（結志） 森 成之（公明）
三井あき子（民主） 遠藤 連（自民）
竹内 英順（自民）

議案第6号を北方領土対策特別委員会に、議案第11号を新幹線・総合交通体系対策特別委員会に、議案第17号を少子・高齢社会対策特別委員会にそれぞれ付託することについて異議なく決定し、残余の案件については、議案付託一覧表のとおりそれぞれ所管の委員会に付託。

各委員会付託議案等審査のため10月1日から10月5日まで及び10月9日の本会議を休会することに決定し、午後4時5分散会。

○10月10日（水） 午後1時18分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第22号及び第25号を議題とし、予算特別委員長、総務委員長、北方領土対策特別委員長、農政委員長、建設委員長、文教副委員長、新幹線・総合交通体系対策特別副委員長、水産林務委員長、少子・高齢社会対策特別副委員長から、それぞれ各委員会における付託議案審査の経過と結果について報告。

討論に入り、宮川潤議員（共産）から、議案第5号、第9号、第10号、第18号及び第19号に関する反対討論があつて、討論終結。

採決に入り、議案第5号、第9号、第10号、第18号及び第19号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについて起立多数によりいずれも原案可決。

議案第1号ないし第4号、第6号ないし第8号、第11号ないし第17号、第20号ないし第22号及び第25号を問題とし、委員長報告（すべて可決）のとおり決することについていずれも異議なく原案可決。

日程第2 議案第26号ないし第30号を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略。

採決に入り、議案27号を問題とし、起立多数により同意議決。

議案26号及び第28号ないし第30号を問題とし、いずれも異議なく同意議決。

日程第3 石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙を議題とし、選挙の方法及び指名の方法についていずれも異議なく決定し、議長指名により中智康議員（結志）を当選人と異議なく決定。

日程第4 会議案第1号を議題とし、富原亮議員（自民）から会議案第1号に関する説明の後、委員会付託を省略し、採決に入り、異議なく原案可決。

日程第5 意見案第2号ないし第5号を議題とし、説明及び委員会付託を省略。採決に入り、異議なく原案可決。

日程第6 議員派遣の件を議題とし、議員を派遣することについて異議なく決定。

閉会中継続審査の件について、決算特別委員長から、報告第1号ないし第4号について、申し出のとおり、閉会中の継続審査に付することを決定。

閉会中請願継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びに議会運営委員長、産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員長及び少子・高齢社会対策特別委員長から、申し出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することを決定。

今期定例会に付議された案件は、報告第1号ないし第4号を除きすべて議了。

午後2時7分閉会。

提出案件

第3回定例会において知事から提出のあった案件

議案

提出年月日	番号	件名	付託委員会	議決年月日	議決結果
30. 9. 11	1	平成30年度北海道一般会計補正予算（第2号）	予 算	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	2	平成30年度北海道苫小牧東部地域開発出資特別会計補正予算（第1号）	予 算	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	3	平成30年度北海道石狩湾新港地域開発出資特別会計補正予算（第1号）	予 算	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	4	北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	5	特定地域等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	6	北海道北方領土隣接地域振興等基金条例の一部を改正する条例案	北方領土対策	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	7	国営土地改良事業負担金等徴収条例等の一部を改正する条例案	農 政	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	8	北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例案	建 設	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	9	北海道建築基準法施行条例の一部を改正する条例案	建 設	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	10	北海道立学校条例の一部を改正する条例案	文 教	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	11	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	新幹線・総合 交通体系対策	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	12	水利施設等整備事業（畑地帯担い手育成型）等に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	13	道営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	農 政	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	14	水産基盤整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水産林務	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	15	林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水産林務	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	16	流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	17	損害賠償請求事件における和解の件	少子・高齢 社会対策	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	18	特定多目的ダム法に基づく二風谷ダム及び平取ダムの建設に関する基本計画の変更についての意見に関する件	建 設	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	19	特定多目的ダム法に基づく新桂沢ダム及び三笠ぼんべつダムの建設に関する基本計画の変更についての意見に関する件	建 設	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	20	工事請負契約の締結に関する件	建 設	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	21	工事請負契約の締結に関する件	建 設	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 11	22	財産の取得に関する件	農 政	30. 10. 10	原案可決
30. 9. 28	23	平成30年度北海道一般会計補正予算（第3号）	付託省略	30. 9. 28	原案可決
30. 9. 28	24	平成30年度北海道公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	付託省略	30. 9. 28	原案可決
30. 9. 28	25	平成30年度北海道一般会計補正予算（第4号）	予 算	30. 10. 10	原案可決
30. 10. 10	26	北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	30. 10. 10	同意議決
30. 10. 10	27	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	30. 10. 10	同意議決
30. 10. 10	28	北海道人事委員会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	30. 10. 10	同意議決
30. 10. 10	29	北海道採用委員会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	30. 10. 10	同意議決
30. 10. 10	30	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件	付託省略	30. 10. 10	同意議決

報 告

提 出 日 年 月 日	番 号	件 名	付 託 委 員 会	議 決 年 月 日	議 事 結 果
30. 9. 11	1	平成29年度北海道一般会計及び特別会計歳入歳出決算に関する件	決 算	30. 10. 10	継続審査
30. 9. 11	2	平成29年度北海道病院事業会計決算に関する件	決 算	30. 10. 10	継続審査
30. 9. 11	3	平成29年度北海道電気事業会計決算に関する件	決 算	30. 10. 10	継続審査
30. 9. 11	4	平成29年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	決 算	30. 10. 10	継続審査
30. 9. 11	5	平成29年度北海道市町村振興基金の運用に関する件	報告のみ	—	—
30. 9. 11	6	平成29年度北海道美術品取得基金の運用に関する件	報告のみ	—	—
30. 9. 11	7	法人の経営状況に関する件	報告のみ	—	—
30. 9. 11	8	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
30. 9. 11	9	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
30. 9. 11	10	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
30. 9. 11	11	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
30. 9. 11	12	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
30. 9. 11	13	専決処分報告の件	報告のみ	—	—
30. 9. 11	14	専決処分報告の件	報告のみ	—	—

第 3 回定例会において議員及び委員会から提出のあった案件

会 議 案

提 出 日 年 月 日	番 号	件 名	提 出 者	議 決 年 月 日	議 事 結 果
30. 10. 9	1	北海道議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例案	東 国幹議員外10人	30. 10. 10	原案可決

意 見 案

提 出 日 年 月 日	番 号	件 名	提 出 者	議 決 年 月 日	議 事 結 果
30. 9. 11	1	平成30年北海道胆振東部地震に関する意見書	田中 芳憲議員外4人	30. 9. 11	原案可決
30. 10. 9	2	平成30年北海道胆振東部地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める意見書	田中 芳憲議員外4人	30. 10. 10	原案可決
30. 10. 9	3	平成30年北海道胆振東部地震災害関連義援金を差し押さえ禁止とする措置等を求める意見書	田中 芳憲議員外4人	30. 10. 10	原案可決
30. 10. 9	4	寡婦（夫）控除を全てのひとり親家庭に適用することを求める意見書	田中 芳憲議員外4人	30. 10. 10	原案可決
30. 10. 9	5	日米地位協定のあるべき姿への見直しを求める意見書	田中 芳憲議員外4人	30. 10. 10	原案可決

会 議 案

会議案第1号

北海道議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例案

〔30年3定
東 国幹議員外10人提出
平成30年10月10日 原案可決〕

北海道議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例

北海道議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例（平成14年北海道条例第66号）の一部を次のように改正する。

第1条中「101人」を「100人」に改める。

第2条第2項第1号中「夕張市」の次に「、美唄市」を加え、同条中第3項を削り、第4項を第3項とする。

別表美唄市の項を削り、同表空知地域の項中「夕張市」の次に「、美唄市」を加える。

附 則

この条例は、次の一般選挙から施行する。

説 明

本道における人口の減少及び人口減少地域が抱える様々な課題に鑑み、北海道議会議員の総定数及び選挙区について所要の改正を行うこととするため、この条例を制定しようとするものである。

意 見 案

意見案第1号

平成30年北海道胆振東部地震に関する意見書

〔 30年3定
田中 芳憲議員外4人提出
平成30年9月11日 原案可決 〕

去る9月6日に発生した北海道胆振東部地震は、マグニチュード6.7、厚真町で国内6例目となる道内観測史上最大の震度7、安平町とむかわ町で震度6強など、北海道の広い範囲で震度4以上を観測する極めて激しい地震であった。

この大地震により、広範囲で大規模な土砂崩れや地すべり、液状化現象などによる家屋の倒壊、道路の陥没等によって、多くの方々のとうとい命が奪われ、多数の方々が負傷し、今もなお多くの被災者の方々が不安や心労を抱えながら不自由な避難生活を余儀なくされている。

地震発生後、北海道全ての世帯295万戸で停電が発生し、全ての道民が被災者となる事態となり、広い地域で断水・電話の不通、さらには、新千歳空港を発着する国内線・国際線全便の欠航、北海道新幹線、在来線、札幌市営地下鉄、各路線バス等の主要な交通機関全てが運休に追い込まれるなど、ライフラインが断絶する被害となり、道民生活に甚大な影響を及ぼした。

北海道議会としても、一日も早い被災地の復旧復興に向け、全力で取り組むことを期するものである。

北海道では、速やかに災害対策本部を設置し、被災市町村と一体となって、関係機関の協力のもとに被災者の救助や支援に当たるなど、復旧に向けた最大限の各種対策を行ってきているところであるが、災害が激甚かつ大規模であるため、総合的な対策を速やかに講ずる必要がある。

よって、国においては、住民の一刻も早い生活の安定や災害の早期復旧などが進められるよう、次の事項について早急かつ万全の対策を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 北海道胆振東部地震に伴う災害について早期に激甚災害指定を行うこと。
- 2 本道及び道内市町村の応急対応や復旧復興に要する経費を初めとする災害復旧対策に対して十分な財政上の支援措置を講ずること。
- 3 住宅被害を受けた被災者が、もとの生活を取り戻すための必要な各種支援制度について、十分な財政措置を講ずるとともに、迅速かつ柔軟な運用を行うこと。
- 4 停電等に伴う被害が甚大な農林水産業やその関連加工製造業並びに商工業者等、被災中小企業に対する円滑な資金融通なども含め、早期復旧に向けた総合的な支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

衆議院議長

参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣
農林水産大臣
経済産業大臣
国土交通大臣
内閣官房長官
内閣府特命担当大臣（防災）

各通

北海道議会議長 大谷 亨

意見案第2号

平成30年北海道胆振東部地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める意見書

〔 30年3定
田中 芳憲議員外4人提出
平成30年10月10日 原案可決 〕

平成30年9月6日午前3時7分、北海道胆振地方中東部を震源地とする、マグニチュード6.7、厚真町で道内観測史上最大の震度7を初め、安平町とむかわ町で震度6強など、北海道の広い範囲で震度4以上を観測する極めて激しい地震が発生した。

この大地震により、広範囲で大規模な土砂災害や家屋の倒壊、さらには、震源地に近い道内最大規模の火力発電所の緊急停止による道内全域の停電、いわゆるブラックアウトが我が国史上初めて引き起こされ、停電等に伴う主要交通機関の運休、断水、電話の不通などライフラインが断絶する未曾有の危機的事態となり、道民生活や経済社会活動はもとより、農林水産業やその関連加工製造業、商工業の産業などに広範かつ甚大な影響を及ぼした。

こうした事態を踏まえ、国は、平成30年北海道胆振東部地震を激甚災害に指定するとともに、予備費の活用等により一日も早い復旧・復興に向けた総合的な対策に取り組んでいるところであるが、例えば、公共土木施設災害復旧事業等においては、被害の大きさが一定規模以上の地方公共団体（以下、「特定地方公共団体」という。）に限って国庫負担率のかさ上げ等の特別措置が適用されるため、本道への適用についてはその見通しが立たない現状がある。

本道においては、公共土木施設を初めとする災害復旧事業のみならず、児童生徒等を含めた中長期にわたる被災者への支援、全域停電等に伴う産業被害からの復興事業、本道の食や観光産業における深刻な風評被害の払拭、さらなる防災・減災の取り組みの推進など、極めて厳しい財政状況の中にあっても、こうした道民の命・生活・産業を守る緊急対策を早急に講じていくためには、国からの万全な財政措置が必要不可欠である。

よって、国においては、住民の一刻も早い生活の安定や被災地の早急な復旧・復興、産業経済の回復に向けた取り組みなどが進められるよう、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 補正予算の早期成立等により、新たな補助制度の創設や補助率のかさ上げなどの特別な財政措置を速やかに講ずること。
- 2 本道及び道内市町村の応急対応や復旧復興に要する経費について、別枠措置を含めた特別交付税による財政支援や災害復旧事業債の資金確保など、十分な地方財政措置を講ずること。
- 3 激甚災害制度における「被害の大きさが標準税収入の一定割合以上」とする特定地方公共団体の基準については、激甚災害に対応するための財政需要が莫大になることなどに鑑み、基準を撤廃するなどの抜本的な見直しを行うこと。
- 4 宿泊客の大量キャンセル等が発生し大きな影響が生じている本道の食・観光産業の早期回復に向け、国内外観光客の観光需要を喚起する取り組みをさらに実施するなど、観光立国北海道の復興に向けた支援措置を講ずること。

- 5 大規模停電の徹底した原因分析や技術的検証を行うとともに、再び繰り返されることのないよう送電網等の電力基盤の整備拡充による発電施設の分散化や北海道本州間連系設備のさらなる増強を行うなど、エネルギー安定供給体制の強靱化を図ること。
- 6 今回の地震発生メカニズムや断層帯の活動特性を解明するための調査研究を推進し、今後の地震観測体制の一層の整備充実を図ること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

衆議院議長	}	各通
参議院議長		
内閣総理大臣		
財務大臣		
総務大臣		
農林水産大臣		
経済産業大臣		
国土交通大臣		
内閣官房長官		
内閣府特命担当大臣(防災)		

北海道議会議長 大谷 亨

意見案第3号

平成30年北海道胆振東部地震災害関連義援金を差し押さえ禁止とする措置等を求める意見書

30年3定
田中 芳憲議員外4人提出
平成30年10月10日 原案可決

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震は、厚真町で国内6例目となる道内観測史上最大の震度7、安平町とむかわ町で震度6強など、北海道の広い範囲で震度4以上を観測する極めて激しい地震であり、広範囲で大規模な土砂災害や家屋の倒壊、さらには、道内全域が停電となるブラックアウトが我が国史上初めて引き起こされるなど、道民生活や経済社会活動などに甚大な影響を及ぼした。

この地震によって損壊などの被害のあった住家は9,000件を超え、今なお多くの被災者の方々が不安や心労を抱えながら不自由な避難生活を余儀なくされているなど、被災地域全体の日常生活や業務環境に多大な支障が生じている状況を踏まえ、地震被害の影響により住宅ローン等の既往債務の弁済が困難となる道民は速やかな債務整理を行う必要があることから、一日も早くもとの生活を取り戻すことができるよう被災者等の生活や事業の再建を支援しなければならない。

平成27年12月策定の「自然災害による被災者の債務整理に関するガイドライン」は、被災者の住宅ローン等の債務の全部又は一部を減免するなどの円滑な債務整理の手続き等を定めたものであるが、災害弔慰金や被災者生活再建支援金が差し押さえ禁止財産として保全される一方、北海道胆振東部地震による災害の被災者又はその遺族の生活を支援する等のために交付される義援金については、現在、差し押さえ禁止等の立法措置がなく、被災者の生活再建を支援する本ガイドラインの債務整理の趣旨に合致しない事態が生じている。

また、本ガイドラインでは、特定債務等の調整の促進のための特定調停に関する法律に基づく特定調停手続きを利用することとされているが、この度の地震が激甚災害に指定されていることや円滑な債務整理を進める必要があることから、被災者等が負担する特定調停の申立手数料については、その納付を免除する措置を速やかに講ずる必要がある。

よって、国においては、被災者等の生活再建を進めるため、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 被災者等がみずから使用できる資産を保全するため、「平成28年熊本地震災害関連義援金に係る差押禁止等に関する法律」と同様、北海道胆振東部地震による災害の被災者又はその遺族の生活を支援する等のために交付される義援金については差し押さえ等ができないことを規定する法律を早期に制定すること。
 - 2 特定調停の申立手数料の納付を免除するため、平成28年熊本地震災害と同様、特定非常災害の被害者の権利利益の保全等を図るための特別措置に関する法律に基づいて、北海道胆振東部地震を「特定非常災害」に指定し、調停に係る申立手数料の特例に関する措置を定める政令を早期に制定すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣
法務大臣
経済産業大臣
国土交通大臣
内閣官房長官
内閣府特命担当大臣（防災）

} 各通

北海道議会議長 大谷 亨

意見案第4号

寡婦（夫）控除を全てのひとり親家庭に適用することを求める意見書

〔 30年3定
田中 芳憲議員外4人提出
平成30年10月10日 原案可決 〕

寡婦（夫）控除は、配偶者との死別や離婚の後、子どもを養育しているなどの世帯に対し、所得税及び住民税の算定に当たり一定の所得控除を行う税制上の軽減措置であるが、婚姻歴のない未婚のひとり親家庭には適用されていない。

この軽減措置は、経済的にも極めて困難な状況に置かれていた母子家庭の担税力に配慮し、福祉の向上と生活の安定を目的として創設されたものであるから、同じひとり親家庭でありながら婚姻歴の有無によって寡婦（夫）控除の適用に差が生じることは、合理性を欠くと言わざるを得ない。

こうした中、国は、平成28年10月に「公営住宅法施行令」を、平成30年9月に「子ども・子育て支援法施行令」をそれぞれ改正・施行し、未婚のひとり親家庭に係る公営住宅の家賃算定と保育施設等の保育料算定について寡婦（夫）控除が適用されるものとみなすこととしているが、その他の負担金や助成金についてはみなし適用がされておらず根本的な解決のためには早急に税制上の法改正を行う必要がある。

よって、国においては、ひとり親家庭に対する支援充実のため、寡婦（夫）控除を全てのひとり親家庭に適用する法律改正を早期に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣
厚生労働大臣 } 各通

北海道議会議長 大谷 亨

意見案第5号

日米地位協定のあるべき姿への見直しを求める意見書

〔 30年3定
田中 芳憲議員外4人提出
平成30年10月10日 原案可決 〕

我が国には、日米安全保障条約に基づく日米地位協定により、全国30都道府県に130の米軍施設があり、本道にも米軍専用施設である千歳の通信施設のほかに17施設が所在している。また、本道の矢白別演習場においても沖縄の米海兵隊による実弾射撃訓練の本土移転に伴い、平成9年からその実施を受け入れている。

本道に所在するほとんどの米軍施設は、日米地位協定第2条第4項（b）に位置づけられているものであり、米軍人・軍属は駐留していないが、沖縄を初め、米軍人が駐留をしている施設所在地において、米軍人・軍属による犯罪が多発していることに強い憤りを禁じ得ない。本年9月には、沖縄県読谷村において嘉手納基地所属の米軍人による村民宅への住居不法侵入事件が発生したが、飲酒した上半身裸の米軍人が騒ぎながら村民宅へ侵入し、居合わせた高校生と乳児の姉妹を恐怖に陥れた蛮行は、平穏で安心な村民生活を脅かす行為として断じて許すことはできない。

日米地位協定には、日本国法令や租税等の適用除外、米軍人等の犯罪に係る裁判権や損害賠償権、基地立ち入り権など国民生活に深くかかわる事項が定められているが、締結以来一度も改定されておらず、全国知事会は、本年7月にも国民の生命・財産等を守る観点から「米軍基地負担に関する提言」を決議し、国に対し、日米地位協定の見直し等を要請したところである。

よって、国においては、公正・良好な日米両国の関係を維持するとともに、国民の生命・財産と人権を守るため、日米地位協定のあるべき姿への見直しなど、適切な措置を講ずるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

平成 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
外務大臣
防衛大臣 } 各通

北海道議会議長 大谷 亨

委員会の動き

議会運営委員会

○9月4日(火) 開議 午前11時32分
散会 午前11時36分
議会運営委員会室
委員長 八田 盛茂(自民)

- ① 会派異動届並びに会派結成届について
 - ・北海道結志会会長から、浅野貴博議員が8月10日付けで、会派を退会し、所属議員数が11名となった旨、また、浅野貴博議員から、8月10日付けで会派の名称を「無所属」として、会派を結成した旨の届け出があったことを報告。これに伴い、各派の所属議員数は、自民党・道民会議49名、民主・道民連合25名、北海道結志会11名、公明党8人、日本共産党4名、無所属1名となったことを報告。
 - ・会派異動に伴う、北海道結志会の役員について、政策審議会筆頭副会長を安住太伸議員に変更した旨、届け出があり、配付のとおり、各会派役員名簿を整理した旨報告。
- ② 議席について
 - ・浅野貴博議員の会派異動に伴う議席について、配付の議席表のとおり、第3回定例会招集日の本会議において、議席の一部を変更することを決定。
- ③ 議会運営委員会への出席について
 - ・議会運営委員会及び理事会への出席について、議会運営に関する決定事項により、委員外議員として、出席を認めることを決定。
- ④ 委員外議員席について
 - ・ただ今、着席のとおりとする旨決定。
- ⑤ 議員控室について
 - ・無所属議員控室について、3階の事務局会議室をあてることに決定。
- ⑥ 特別委員の辞任許可及び補欠選任について
 - ・浅野貴博議員から、委員辞任の申し出があり、議長において許可し、後任に、委員会条例第6条第1項ただし書きの規定により、北海道結志会から推薦のあった滝口信喜議員を補欠選任した旨報告。
- ⑦ 平成30年第3回定例会について
 - ・総務部長から招集日を9月11日(火)とする

旨発言があり、これを了承。

- ・総務部長から、提出予定の主要案件について説明。
- ・会期について25日間とすることを決定。
- ・日程について、配付の日程案のとおり取り進めることを決定。

〔第3回定例会〕

9月11日	本会議(提案説明)
9月12日～9月13日	休会
9月14日	本会議(代表質問)
9月18日	本会議(代表質問)
9月19日	休会
9月20日～9月21日	本会議(一般質問)
9月25日	本会議(一般質問)
9月26日	本会議(一般質問、予算・決算特別委員会設置)
9月27日～9月28日	休会
10月1日～10月4日	休会
10月5日	本会議

⑧ 議場コンサートについて

- ・配付の実施要領案のとおり、定例会招集日の9月11日(火)に実施することを決定。

○9月10日(月) 開議 午前11時32分
散会 午前11時37分
議会運営委員会室
委員長 八田 盛茂(自民)

① 本会議における黙禱について

- ・9月6日に発生した平成30年北海道胆振東部地震により、尊い命が失われたことから、明日の本会議冒頭において、黙禱を行うことを決定。

② 第3回定例会の会期及び日程について

- ・このたびの、胆振東部地震を考慮し理事会協議の結果、会期は、10月10日(水)までの30日間、日程については、配付の日程案のとおり変更することで決定。

③ 提出議案の事前説明について

- ・総務部長から説明。

④ 代表質問及び一般質問の通告について

- ・代表質問は9月18日(火)、一般質問は9月21日(金)のそれぞれ正午までとする。

- ⑤ 予算特別委員会及び決算特別委員会について
 - ・委員会構成及び正副委員長の配分は、配付の協議事項のとおりとする。
 - ・委員名簿の提出は、9月26日（水）正午までとする。
- ⑥ 議員派遣について
 - ・配付のとおり、議長において、議員派遣の決定、派遣決定の変更及び決定を行った派遣の中止をしたことについて明日の本会議において、議長から報告する。
- ⑦ 休会について
 - ・議案等調査のため、9月12日から14日まで及び18日から19日までは本会議を休会し、9月20日（木）に再開することを決定。
- ⑧ 議場コンサートについて
 - ・このたびの胆振東部地震を考慮し、中止することを決定。
- ⑨ 9月11日の本会議議事順序について
 - ・明日の委員会において協議する。

○9月11日（火） 開議 午前9時16分
散会 午前9時19分
議会運営委員会室
委員長 八田 盛茂（自民）

- ① 議員の辞職許可について
 - ・小松茂議員から、9月10日付けで議員を辞職したい旨の願いがあり、議長は同日許可し、各派の所属議員数は、自民党・道民会議48名、民主・道民連合25名、北海道結志会11名、公明党8名、日本共産党4名、無所属1名となったことを報告。
- ② 議席について
 - ・辞職に伴う議席について、配付の議席表のとおり空席とすることを決定。
- ③ 会派役員の異動について
 - ・民主・道民連合から9月10日付けで届け出があり、配付のとおり各会派役員名簿を整理した旨報告。
- ④ 少子・高齢社会対策特別委員長の辞任について
 - ・副委員長から、議長に対し、9月10日付けで、広田まゆみ委員長から委員長辞任の申し出があり、委員会において許可した旨報告。
- ⑤ 意見案の取り扱いについて

- ・意見案第1号の提出があり、本日の本会議において議決することを決定。

- ⑥ 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ⑦ 本会議開議時刻について
 - ・午前10時開会とする。

○9月20日（木） 開議 午前9時15分
散会 午前9時17分
議会運営委員会室
委員長 八田 盛茂（自民）

- ① 代表質問の通告について
 - ・5名の通告があり、順位については、配付の通告一覧のとおりとなることを報告。
- ② 代表質問の進め方について
 - ・本日は1番三好雅議員、2番北口雄幸議員の2名、9月21日（金）は3番佐藤伸弥議員、4番安藤邦夫議員、5番宮川潤議員の3名を行うことを決定。
- ③ 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 本会議開議時刻について
 - ・午前10時開会とする。

○9月21日（金） 開議 午前9時15分
散会 午前9時17分
議会運営委員会室
委員長 八田 盛茂（自民）

- ① 代表質問について
 - ・本日は3番から5番までの3名を行うことを了承。
- ② 休会について
 - ・議案等調査のため、9月25日（火）は本会議を休会し、一般質問を9月26日（水）から行うことを決定。
- ③ 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 本会議開議時刻について
 - ・午前10時開会とする。

○9月26日（水） 開議 午前9時21分
散会 午前9時23分
議会運営委員会室

委員長 八田 盛茂（自民）

- ① 常任委員の所属変更について
 - ・経済委員 東国幹議員から、水産林務委員に委員会の所属を変更したい旨の申し出があり、本日の本会議において、所属を変更することを決定。
- ② 一般質問について
 - ・22名の通告があり、個人別の順位については、配付の通告一覧のとおりとする。
 - ・通告内容等の変更について了承。
 - ・本日は1番から8番までの7名、9月27日（木）は9番から14番までの6名、9月28日（金）は15番から22番までの8名の予定で取り進めることを決定。
- ③ 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ④ 本会議開議時刻について
 - ・午前10時開会とする。

○9月27日（木） 開議 午前9時15分
散会 午前9時16分
議会運営委員会室
委員長 八田 盛茂（自民）

- ① 本日の本会議について
 - ・通告内容等の変更について了承。
 - ・本日は9番から14番までの6名を行う。
- ② 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
- ③ 本会議開議時刻について
 - ・午前10時開会とする。

○9月28日（金） 開議 午前9時16分
散会 午前9時23分
議会運営委員会室
委員長 八田 盛茂（自民）

- ① 一般質問について
 - ・通告内容等の変更について了承。
 - ・本日は16番から20番までの4名を行う。
- ② 追加提出議案の事前説明について
 - ・総務部長から、追加提出議案について説明。説明のあった議案第23号及び24号の補正予算

について、本日の本会議において、先議することを決定。

- ・本件に関する質疑について、5名の通告があり、質疑の順位については、配付の通告一覧のとおりとする。
- ③ 先議の方法について
 - ・本日の本会議において、一般質問終了後、日程第1の議事を中止し、追加日程として、提出議案に関する説明の後、議案第23号及び24号を先議することを議決した上、本会議を1たん休憩し、再開後、質疑を行い、議案第23号及び24号の委員会付託を省略し、議決することを決定。
 - ④ 予算特別委員会及び決算特別委員会について
 - ・本日、先議案件の議決後、設置する。
 - ・両特別委員会の分科会委員数は、配付の協議事項のとおり決定した旨報告。
 - ・委員の選任については、配付の名簿のとおりとする。
 - ⑤ 議案の各委員会付託について
 - ・配付資料のとおり付託することを決定。
 - ⑥ 休会について
 - ・各委員会付託議案等審査のため、10月1日から5日まで及び10月9日は、本会議を休会することとし、10月10日（水）に再開することを決定。
 - ⑦ 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局長説明のとおりとする。
 - ⑧ 本会議開議時刻について
 - ・午前10時開会とする。
 - ・10月10日の本会議は、午後1時開会とする。

○10月10日（水） 開議 午後零時16分
散会 午後零時22分
議会運営委員会室
委員長 八田 盛茂（自民）

- ① 各委員会付託議案の審議状況について
 - ・各委員会付託議案は、報告第1号ないし第4号を除き、すべて（予算4件、総務2件、北方領土1件、農政4件、建設7件、文教1件、新幹線1件、水産林務2件、少子・高齢1件、以上23件）議了したことを報告。
 - ・決算特別委員会において審査中の報告第1号ないし第4号については、昨日の委員会にお

いて閉会中継続審査とすることに決定した旨報告。

- ② 追加提出議案の事前説明について
 - ・総務部長から説明。
 - ・総務部長から説明のあった議案第26号ないし第30号については、本日の本会議において、提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略し、議決することを決定。
- ③ 石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙について
 - ・石狩湾新港管理組合管理者から議長に対し、欠員中の議会議員について補欠選任願いたい旨、申し出があり、各派会長会議において協の結果、後任議員は北海道結志会から選出する旨、決定。この決定に基づき、北海道結志会から、中山智康議員を推薦する旨、届け出があり、本日の本会議において、選挙を行うことを決定。
 - ・選挙の方法は指名推選によることとし、指名の方法は議長において指名することを決定。
- ④ 会議案の取り扱いについて
 - ・会議案第1号の提出があり、本日の本会議において議決することを決定。
- ⑤ 意見案の取り扱いについて
 - ・意見案第2号ないし第5号の提出があり、本日の本会議において議決することを決定。
- ⑥ 議員派遣について
 - ・配付のとおり、本日の本会議において議決することを決定。
- ⑦ 継続調査の申し出について
 - ・配付の申し出書のとおり、議長に、閉会中継続調査を申し出ることに決定。
- ⑧ 本日の本会議議事順序について
 - ・事務局説明のとおりとする。
- ⑨ 平成30年第4回定例会の招集予定日について
 - ・総務部長から、11月27日（火）を予定している旨発言があり、これを了承。
- ⑩ 議員講演会について
 - ・配付の実施要領案のとおり、11月の一斉委員会開催日の11月6日（火）に実施することに決定。
- ⑪ 本会議開議時刻について
 - ・午後1時開会とする。

常任委員会

総務委員会

○8月7日(火) 開議 午後1時10分
散会 午後1時39分
第10委員会室
委員長 村田 憲俊(自民)

一般議事

1. 平成31年度国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 北海道警察葬出席の件 [決定]
1. 平成30年7月豪雨による被害の状況に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]
1. 北海道国民保護計画の変更に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]
1. 犯罪抑止対策に関する報告聴取の件 [道警察本部生活安全部長報告]

質問

1. 加藤 貴弘委員(自民)
～防災対策について

○9月4日(火) 開議 午後1時10分
散会 午後1時18分
第10委員会室
委員長 村田 憲俊(自民)

一般議事

1. 北海道警察葬出席報告の件 [委員長報告]
1. 北海道石油コンビナート等総合防災訓練の実施結果に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]
1. 北海道防災総合訓練の実施に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]

○9月10日(月) 開議 午後1時15分
散会 午後1時40分
第10委員会室
委員長 村田 憲俊(自民)

一般議事

1. 平成30年第3回定例会提出予定案件の事前説

明聴取の件 [総務部長説明]

1. 平成30年北海道胆振東部地震による被害の状況に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]
1. 平成29年度北海道公立大学法人札幌医科大学の業務実績に関する評価結果に関する報告聴取の件 [法務・法人局長兼大学法人室長報告]

○10月9日(火) 開議 午前10時13分
散会 午前10時27分
第10委員会室
委員長 村田 憲俊(自民)

付託案件の審査

議案第4号

北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第5号

特定地域等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

一般議事

1. 付託議案審査の件
1. 随時調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 平成30年北海道殉職警察職員・警察協力殉難者慰霊式出席の件 [決定]
1. 平成30年台風第21号による被害の状況に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]
1. 平成30年北海道胆振東部地震による被害の状況に関する報告聴取の件 [危機対策局長報告]
1. 平成30年度北海道原子力防災訓練の実施に関する報告聴取の件 [原子力安全対策担当局長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件 [決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

総合政策委員会

○8月7日(火) 開議 午後1時10分
散会 午後1時35分
第2委員会室

一 般 議 事

1. 平成31年度国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 北海道150年ウィークオープニングイベント出席報告の件 [委員長報告]
1. 北海道150年特別功労賞に関する報告聴取の件 [北海道150年事業室長報告]
1. 明るい選挙まんがコンクール実施結果の概要に関する報告聴取の件 [選挙管理委員会事務局長報告]

質 疑

1. 喜多 龍一委員(自民)
～北海道150年特別功労賞について

質 問

1. 大越 農子委員(自民)
～SDG sの推進について

○9月4日(火) 開議 午後1時12分
散会 午後1時30分
第2委員会室
委員長 金岩 武吉 (結志)

一 般 議 事

1. 道内調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 北海道150年特別功労賞に関する報告聴取の件 [北海道150年事業室長報告]
1. 平成31年度北海道開発予算の概算要求概要に関する報告聴取の件 [計画推進担当局長報告]
1. サハリン州との提携20周年に係る知事の訪問及び「北海道とサハリン州との友好・経済交流促進プラン」の改定に関する報告聴取の件 [ロシア担当局長報告]

質 疑

1. 大越 農子委員(自民)
～北海道150年特別功労賞について (意見)

○9月10日(月) 開議 午後1時12分
散会 午後1時49分
第2委員会室

一 般 議 事

1. 「(仮称)北海道SDG s推進ビジョン」の原案に関する報告聴取の件 [計画推進担当局長報告]
1. 道総研の平成29年度業務実績に係る評価結果に関する報告聴取の件 [研究法人室長報告]
1. 「北海道自転車活用推進計画(仮称)」の策定及び自転車損害賠償保険等の加入促進に関する報告聴取の件 [地域創生局長報告]
1. 夕張市、国及び北海道の三者協議に関する報告聴取の件 [地域振興局長報告]

質 疑

1. 大越 農子委員(自民)
～「(仮称)北海道SDG s推進ビジョン」の原案について
1. 喜多 龍一委員(自民)
～「(仮称)北海道SDG s推進ビジョン」の原案について

○10月9日(火) 開議 午前10時13分
散会 午前10時22分
第2委員会室
委員長 金岩 武吉 (結志)

開 議 前

1. 人事異動に伴う幹部職員の紹介
1. 委員会運営方法の件 [了承]

一 般 議 事

1. 平成29年度道内市町村における決算の概要(速報値)及び夕張市の財政再生計画実施状況報告の概要に関する報告聴取の件 [地域振興局長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

環境生活委員会

○8月7日(火) 開議 午後1時9分
散会 午後1時45分
第3委員会室

一 般 議 事

1. 平成31年度国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 北海道における気候変動の影響への適応方針（案）に関する報告聴取の件 [気候変動対策担当局長報告]
1. 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産推薦候補選定に関する報告聴取の件 [文化局長報告]
1. 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録の推進に関する中央要請実施の件 [決定]

質 疑

1. 池本 柳次委員（結志）
～「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産推薦候補選定について

質 問

1. 太田 憲之委員（自民）
～アスベスト対策について
1. 平出 陽子委員（民主）
～性犯罪・性暴力被害者支援の充実について

○9月4日（火） 開議 午後1時9分
散会 午後1時30分
第3委員会室
委員長 志賀谷 隆（公明）

一 般 議 事

1. 道内調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録の推進に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]

質 問

1. 道見 泰憲委員（自民）
～動物愛護対策について

○9月10日（月） 開議 午後1時12分
散会 午後2時5分
第3委員会室
委員長 志賀谷 隆（公明）

一 般 議 事

1. 理事の交代に関する件 [決定]
1. 平成30年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [環境生活部長説明]
1. 平成30年北海道胆振東部地震による被害の状況に関する報告聴取の件 [環境生活部長報告]
1. 「平成30年環境の状況等に関する年次報告」に関する報告聴取の件 [環境局長報告]
1. ほっかいどう歴史・文化・自然「体感」交流空間構想（素案）に関する報告聴取の件 [文化局長報告]

質 疑

1. 太田 憲之委員（自民）
～ほっかいどう歴史・文化・自然「体感」交流空間構想（素案）について
1. 広田 まゆみ委員（民主）
～ほっかいどう歴史・文化・自然「体感」交流空間構想（素案）について

○10月9日（火） 開議 午前10時10分
散会 午前10時16分
第3委員会室
委員長 志賀谷 隆（公明）

一 般 議 事

1. 平成30年台風第21号による被害の状況に関する報告聴取の件 [環境生活部長報告]
1. 平成30年北海道胆振東部地震による被害の状況に関する報告聴取の件 [環境生活部長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

保健福祉委員会

○8月7日（火） 開議 午後1時9分
散会 午後1時36分
第7委員会室
委員長 稲村 久男（民主）

一 般 議 事

1. 平成31年度国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]

1. 平成29年度歯・口腔の健康づくりに係る施策の推進状況に関する報告聴取の件
[健康安全局長報告]

質 問

1. 佐野 弘美委員（共産）
～ライフライン事業者との連携等について
～八雲病院の機能移転について

- 9月4日（火） 開議 午後1時7分
散会 午後1時29分
第7委員会室
委員長 稲村 久男（民主）

一 般 議 事

1. 道内調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 「施設における高齢者・障がい者虐待防止に向けた利用者等実態調査及び施設従事者実態調査」に関する報告聴取の件
[福祉局長報告]

質 問

1. 佐野 弘美委員（共産）
～平成29年度歯・口腔の健康づくりに係る施策の推進状況について

- 9月10日（月） 開議 午後1時11分
散会 午後1時43分
第7委員会室
委員長 稲村 久男（民主）

一 般 議 事

1. 平成30年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [保健福祉部長説明]
1. 北海道ホームレス自立支援等実施計画の見直しに関する報告聴取の件
[福祉局長報告]
1. 北海道障がい者条例地域づくりガイドライン（案）の概要に関する報告聴取の件
[障がい者支援担当局長報告]
1. 「北海道病院事業改革推進プラン」に係る平成29年度事業実績の点検・評価結果に関する報告聴取の件 [道立病院局次長報告]
1. 平成30年北海道胆振東部地震による被害の状況に関する報告聴取の件

[保健福祉部次長、道立病院局次長報告]

質 疑

1. 小畑 保則委員（自民）
～平成30年北海道胆振東部地震による被害の状況について（意見）

- 10月9日（火） 開議 午前10時8分
散会 午前10時10分
第7委員会室
委員長 稲村 久男（民主）

一 般 議 事

1. 閉会中における請願継続審査申し出の件
[決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

経 済 委 員 会

- 8月7日（火） 開議 午後1時6分
散会 午後1時22分
第8委員会室
委員長 橋本 豊行（民主）

一 般 議 事

1. 平成31年度国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 「地域経済の強化に向けた基本方針」に基づく取り組み（平成29年度）に関する報告聴取の件 [経済企画局長報告]
1. 北海道中小企業新応援ファンドの組成に関する報告聴取の件 [産業振興局長報告]
1. 人材確保に向けた連携事業に関する報告聴取の件 [労働政策局長報告]

- 9月4日（火） 開議 午後1時6分
散会 午後1時32分
第8委員会室
委員長 橋本 豊行（民主）

一 般 議 事

1. 道内調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 平成30年度商店街実態調査に関する報告聴取の件 [地域経済局長報告]

1. 平成29年度新北海道科学技術振興戦略の推進状況などに関する報告聴取の件
[科学技術振興室長報告]
1. 北海道雇用創出基本計画に基づく「平成29年度推進計画の取組結果」及び「本道の雇用情勢に関する点検評価（平成29年分）」に関する報告聴取の件 [労働政策局長報告]

○9月10日（月） 開議 午後1時8分
散会 午後1時35分
第8委員会室
委員長 橋本 豊行（民主）

一 般 議 事

1. 平成30年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [経済部長説明]
1. 平成30年北海道胆振東部地震に伴う対応に関する報告聴取の件
[経済部次長報告]
1. 北海道食の輸出拡大戦略の進捗状況に関する報告聴取の件 [食関連産業室長報告]
1. 北海道食の輸出拡大戦略（第Ⅱ期）素案に関する報告聴取の件
[食関連産業室長報告]
1. 特定多目的ダム法に基づく新桂沢ダム及び三笠ぼんべつダムの建設に関する基本計画の変更に関する報告聴取の件
[企業局次長報告]

質 疑

1. 真下 紀子委員（共産）
～特定多目的ダム法に基づく新桂沢ダム及び三笠ぼんべつダムの建設に関する基本計画の変更について

○10月9日（火） 開議 午前10時8分
散会 午前10時24分
第8委員会室
委員長 橋本 豊行（民主）

開 議 前

1. 委員の委員会所属変更の報告

一 般 議 事

1. 議席の一部変更の件 [決定]

1. 北海道どさんこプラザバンコク店の設置に関する報告聴取の件
[食関連産業室長報告]
1. 平成30年度「北海道新技術・新製品開発賞」に関する報告聴取の件
[科学技術振興室長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

質 問

1. 真下 紀子委員（共産）
～被災地への中小企業支援について

農 政 委 員 会

○8月7日（火） 開議 午後1時5分
散会 午後1時25分
第6委員会室
委員長 野原 薫（自民）

一 般 議 事

1. 平成31年度国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 平成30年7月豪雨による被害の状況に関する報告聴取の件 [農政部次長報告]
1. 農作物の生育状況等に関する報告聴取の件
[技術支援担当局長報告]

質 疑

1. 船橋 賢二委員（自民）
～平成30年7月豪雨による被害の状況について

○9月4日（火） 開議 午後1時8分
散会 午後2時15分
第6委員会室
委員長 野原 薫（自民）

一 般 議 事

1. 道内調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 随時調査実施の件 [決定]
1. 平成31年度農業関係国費予算概算要求に関する報告聴取の件 [農政部長報告]
1. 主要農作物の種子生産に関する条例（仮称）骨子案に関する報告聴取の件

[生産振興局長報告]

に関する件 (原案可決)
議案第22号

財産の取得に関する件 (原案可決)

質 疑

1. 田中 芳憲委員 (自民)
～主要農作物の種子生産に関する条例 (仮称)
骨子案について
1. 池端 英昭委員 (民主)
～主要農作物の種子生産に関する条例 (仮称)
骨子案について
1. 白川 祥二委員 (結志)
～主要農作物の種子生産に関する条例 (仮称)
骨子案について
1. 吉井 透委員 (公明)
～主要農作物の種子生産に関する条例 (仮称)
骨子案について

○9月10日(月) 開議 午後1時9分
散会 午後1時27分
第6委員会室
委員長 野原 薫 (自民)

一 般 議 事

1. 平成30年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [農政部長説明]
1. 平成30年北海道胆振東部地震による被害の状況に関する報告聴取の件
[農政部次長報告]
1. 農畜産物等の輸出の現状に関する報告聴取の件 [食の安全推進監報告]

○10月9日(火) 開議 午前10時10分
散会 午前10時34分
第6委員会室
委員長 野原 薫 (自民)

付託案件の審査

議案第7号
国営土地改良事業負担金等徴収条例等の一部を
改正する条例案 (原案可決)

議案第12号
水利施設等整備事業(畑地帯担い手育成型)等
に伴う地方公共団体の負担金に関する件
(原案可決)

議案第13号
道営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金

一 般 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 随時調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 台風第21号及び胆振東部地震による被害の状況等に関する報告聴取の件
[農政部次長報告]
1. 随時調査実施の件 [決定]
1. 「北海道主要農作物等の種子の生産等に関する条例(仮称)」の素案について(パブリックコメント)に関する報告聴取の件
[生産振興局長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

質 疑

1. 高橋 文明委員 (自民)
～台風第21号及び胆振東部地震による被害の状況等について(意見)
1. 加藤 礼一委員 (自民)
～台風第21号及び胆振東部地震による被害の状況等について

水産林務委員会

○8月7日(火) 開議 午後1時12分
散会 午後1時17分
第5委員会室
委員長 富原 亮 (自民)

一 般 議 事

1. 平成31年度国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 「北海道・木育フェスタ2018植樹祭・育樹祭」(第69回北海道植樹祭)参加の件
[決定]
1. 平成30年7月豪雨による被害の状況に関する報告聴取の件 [水産林務部次長報告]

○9月4日(火) 開議 午後1時13分
散会 午後1時18分
第5委員会室

委員長 富原 亮 (自民)

一 般 議 事

1. 随時調査実施の件 [決定]
1. 平成31年度国費予算の概算要求に関する報告聴取の件 [水産林務部長報告]
1. 「(仮称)北海道立林業大学校基本計画(案)」に関する報告聴取の件 [森林計画担当局長報告]

○9月10日(月) 開議 午後1時12分
散会 午後1時25分
第5委員会室
委員長 富原 亮 (自民)

一 般 議 事

1. 平成30年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [水産林務部長説明]
1. 平成30年北海道胆振東部地震による被害の状況に関する報告聴取の件 [水産林務部長報告]
1. 北海道食の輸出拡大戦略に関する報告聴取の件 [水産局長報告]

○10月9日(火) 開議 午前10時15分
散会 午前10時37分
第5委員会室
委員長 富原 亮 (自民)

開 議 前

1. 小松茂委員の議員辞職報告 [委員長報告]
1. 委員の委員会所属変更の報告及び委員紹介 [委員長報告]

付託案件の審査

議案第14号

水産基盤整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

議案第15号

林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

一 般 議 事

1. 議席の一部変更の件 [決定]

1. 付託議案審査の件
1. 随時調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 「第69回全国漁港漁場大会」参加の件 [決定]
1. 「第42回全国育樹祭」出席の件 [決定]
1. 台風21号及び胆振東部地震による被害の状況等に関する報告聴取の件 [水産林務部次長報告]
1. 道産水産物の安全・安心の確保に関する報告聴取の件 [水産局長報告]
1. 栽培漁業のあり方の検討に関する報告聴取の件 [水産基盤整備担当局長報告]
1. 「平成29年度林業労働実態調査」の概要に関する報告聴取の件 [森林計画担当局長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

建設委員会

○8月7日(火) 開議 午後1時7分
散会 午後1時39分
第4委員会室
委員長 吉田 正人 (自民)

一 般 議 事

1. 道路の整備及び下水道施設の改築に係る国費支援の継続に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 平成31年度国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 平成30年7月豪雨による被害の状況に関する報告聴取の件 [建設部長報告]
1. 直轄ダムの建設に関する基本方針の変更に関する報告聴取の件 [土木局長報告]
1. 随時調査実施の件 [決定]
1. 北海道高齢者居住安定確保計画(案)に関する報告聴取の件 [住宅局長報告]

質 疑

1. 荒当 聖吾委員(公明)
～平成30年7月豪雨による被害の状況について

質 問

1. 浅野 貴博委員(結志)

～災害時の代替道路の整備等について

- 9月4日(火) 開議 午後1時6分
散会 午後1時16分
第4委員会室
委員長 吉田 正人(自民)

一般議事

1. 理事辞任の件 [決定]
1. 理事会運営の件 [決定]
1. 道内調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 平成31年度国費予算の概算要求概要に関する報告聴取の件 [建設部長報告]

質問

1. 荒当 聖吾委員(公明)
～美唄富良野線の整備について

- 9月10日(月) 開議 午後1時10分
散会 午後1時29分
第4委員会室
委員長 吉田 正人(自民)

一般議事

1. 平成30年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [建設部長説明]
1. (仮称)建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する北海道計画(素案)に関する報告聴取の件 [建設業担当局長報告]
1. 平成30年北海道胆振東部地震による被害の状況に関する報告聴取の件 [建設部長報告]

- 10月9日(火) 開議 午前10時8分
散会 午前10時33分
第4委員会室
委員長 吉田 正人(自民)

付託案件の審査

- 議案第8号
北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例案 (原案可決)
- 議案第9号
北海道建築基準法施行条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

- 議案第16号
流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

- 議案第18号
特定多目的ダム法に基づく二風谷ダム及び平取ダムの建設に関する基本計画の変更についての意見に関する件 (原案可決)

- 議案第19号
特定多目的ダム法に基づく新桂沢ダム及び三笠ぼんべつダムの建設に関する基本計画の変更についての意見に関する件 (原案可決)

- 議案第20号
工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)

- 議案第21号
工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)

一般議事

1. 付託議案審査の件
1. 随時調査実施報告の件 [報告]
1. 平成30年北海道胆振東部地震による被害の状況等に関する報告聴取の件 [建設部長報告]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件 [決定]

質問

1. 荒当 聖吾委員(公明)
～中小企業者の受注機会の確保について

文教委員会

- 8月7日(火) 開議 午後1時6分
散会 午後1時38分
第9委員会室
委員長 梅尾 要一(自民)

一般議事

1. 平成31年度国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 平成30年度全国学力・学習状況調査に関する報告聴取の件 [学校教育局長報告]

質問

1. 中野渡 志穂委員(公明)
～言語能力の育成や読書活動の推進について

1. 菊地 葉子委員（共産）
～学校現場における熱中症対策について

案)に関する報告聴取の件
[学校教育局長報告]

- 9月4日(火)** 開議 午後1時8分
散会 午後2時30分
第9委員会室
委員長 梅尾 要一（自民）

質 疑

1. 菊地 葉子委員（共産）
～「北海道の部活動の在り方に関する方針」（素案）及び「道立学校に係る部活動の方針」（素案）について

一 般 議 事

1. 道内調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 公立高等学校配置計画（平成31年度～33年度）に関する報告聴取の件
[高校配置担当局長報告]
1. 平成31年度公立特別支援学校配置計画に関する報告聴取の件
[特別支援教育担当局長報告]

- 10月9日(火)** 開議 午前10時8分
散会 午前11時24分
第9委員会室
委員長 梅尾 要一（自民）

付託案件の審査

議案第10号
北海道立学校条例の一部を改正する条例案
(原案可決)

質 疑

1. 清水 拓也委員（自民）
～公立高等学校配置計画（平成31年度～33年度）について

一 般 議 事

1. 付託議案審査の件
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件
[決定]
1. 閉会中における所管事務継続調査申し出の件
[決定]

質 問

1. 佐々木 恵美子委員（民主）
～学校における働き方改革などについて

質 問

1. 佐々木 恵美子委員（民主）
～部活動の在り方に関する方針（素案）等について
1. 川澄 宗之介委員（民主）
～指導要領改訂にあわせた教育課程の編成等について

- 9月10日(月)** 開議 午後1時10分
散会 午後1時48分
第9委員会室
委員長 梅尾 要一（自民）

一 般 議 事

1. 平成30年北海道胆振東部地震による被害の状況等に関する報告聴取の件
[教育部長、学事課長報告]
1. 平成30年第3回定例会提出予定案件の事前説明聴取の件 [教育部長説明]
1. 平成29年度北海道教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書に関する報告聴取の件
[総務政策局長報告]
1. 「(仮称)北海道幼児教育振興基本方針」(案)に関する報告聴取の件
[総務政策局長報告]
1. 「北海道の部活動の在り方に関する方針」(素案)及び「道立学校に係る部活動の方針」(素案)

特別委員会

産炭地域振興・エネルギー問題 調査特別委員会

○8月8日(水) 開議 午前10時7分
散会 午前10時14分
第8委員会室
委員長 藤沢 澄雄(自民)

その他の議事

1. 中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 幌延深地層研究計画平成29年度調査研究成果報告に関する報告聴取の件
[環境・エネルギー室長報告]

○9月5日(水) 開議 午前10時5分
散会 午前10時12分
第8委員会室
委員長 藤沢 澄雄(自民)

その他の議事

1. 北海道新エネルギー導入加速化基金による地域への支援の状況に関する報告聴取の件
[環境・エネルギー室長報告]
1. 高レベル放射性廃棄物に関する「自治体向け説明」に関する報告聴取の件
[環境・エネルギー室長報告]

○9月10日(月) 開議 午後2時41分
散会 午後3時17分
第8委員会室
委員長 藤沢 澄雄(自民)

その他の議事

1. 平成30年北海道胆振東部地震による節電の取り組みに関する報告聴取の件
[環境・エネルギー室長報告]

質疑

1. 笠井 龍司委員(自民)
～平成30年北海道胆振東部地震による節電の取り組みについて
1. 村田 憲俊委員(自民)
～平成30年北海道胆振東部地震による節電の取

り組みについて

○10月9日(火) 開議 午後1時7分
散会 午後1時37分
第8委員会室
委員長 藤沢 澄雄(自民)

その他の議事

1. 平成30年度北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞に関する報告聴取の件
[環境・エネルギー室長報告]
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件
[決定]

質問

1. 笠井 龍司委員(自民)
～エネルギーの状況について

北方領土対策特別委員会

○8月8日(水) 開議 午前10時10分
散会 午前10時42分
第5委員会室
委員長 千葉 英守(自民)

その他の議事

1. 平成31年度国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 平成30年度北方領土返還要求運動強調月間に関する説明聴取の件
[北方領土対策局長説明]
1. 2018北方領土返還要求北海道・東北国民大会出席及び啓発街頭行進参加の件 [決定]
1. 北方四島交流事業等の実施に関する報告聴取の件 [北方領土対策局長報告]
1. 北方四島訪問実施報告の件
[委員長報告]
1. 「北方領土問題の解決の促進に関する特別措置法」の改正に関する報告聴取の件
[北方領土対策本部長報告]

質疑

1. 松浦 宗信委員(自民)
～「北方領土問題の解決の促進に関する特別措置法」の改正について

質 問

1. 松浦 宗信委員（自民）
～共同経済活動について

○9月5日（水） 開議 午前10時14分
散会 午前10時36分
第5委員会室
委員長 千葉 英守（自民）

その他の議事

1. 理事選出の件 [決定]
1. 理事会運営の件 [決定]
1. 2018北方領土返還要求北海道・東北国民大会
及び啓発街頭行進参加報告の件
[委員長報告]
1. 道内調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 北方四島交流事業等の実施に関する報告聴取
の件 [北方領土対策局長報告]
1. 北方四島訪問実施報告の件
[委員長報告]
1. 「北方四島における共同経済活動に関するビジ
ネス・ミッション」に関する報告聴取の件
[北方領土対策局長報告]

質 疑

1. 松浦 宗信委員（自民）
～北方四島交流事業等の実施について

○9月10日（月） 開議 午後2時38分
散会 午後2時48分
第5委員会室
委員長 千葉 英守（自民）

その他の議事

1. 平成30年第3回北海道議会定例会提出予定案
件の事前説明聴取の件
[北方領土対策本部長説明]
1. 「北方墓参中止等に係る政府要請」実施に関す
る報告聴取の件
[北方領土対策局長報告]

○10月9日（火） 開議 午後1時12分
散会 午後1時52分
第5委員会室

付託案件の審査

議案第6号

北海道北方領土隣接地域振興等基金条例の一部
を改正する条例案 (原案可決)

その他の議事

1. 付託議案審査の件
1. 北方領土返還要求運動滋賀県民会議との意見
交換会への出席の件 [決定]
1. 平成30年度北方領土返還要求運動強調月間の
実施結果に関する報告聴取の件
[北方領土対策局長報告]
1. 北方四島交流事業等の実施に関する報告聴取
の件 [北方領土対策局長報告]
1. 「北方四島における共同経済活動に関するビジ
ネス・ミッション」に関する報告聴取の件
[北方領土対策本部長報告]

質 疑

1. 金岩 武吉委員（結志）
～「北方四島における共同経済活動に関するビ
ジネス・ミッション」について
1. 高橋 亨委員（民主）
～「北方四島における共同経済活動に関するビ
ジネス・ミッション」について
1. 喜多 龍一委員（自民）
～「北方四島における共同経済活動に関するビ
ジネス・ミッション」について

新幹線・総合交通体系対策特別委員会

○8月8日（水） 開議 午前10時7分
散会 午前10時12分
第1委員会室
委員長 大崎 誠子（自民）

その他の議事

1. 平成31年度国の施策及び予算並びに青函共用
走行区間に関する中央要請実施報告の件
[委員長報告]
1. 青函共用走行区間の高速走行に関する報告聴
取の件 [新幹線推進室長報告]

人口減少問題・地方分権 改革等調査特別委員会

○9月5日(水) 開議 午前10時10分
散会 午前10時47分
第1委員会室
委員長 大崎 誠子(自民)

その他の議事

1. 道内調査実施報告の件 [委員長報告]
1. 航空路線の動きに関する報告聴取の件
[航空局長報告]
1. 新千歳空港における24時間運用に関する報告
聴取の件
[新千歳空港周辺対策担当局長報告]

質 問

1. 赤根 広介委員(結志)
～北海道交通政策総合指針について

○9月10日(月) 開議 午後2時36分
散会 午後2時40分
第1委員会室
委員長 大崎 誠子(自民)

その他の議事

1. 「北海道新幹線後志トンネル(塩谷)工事安全
祈願」出席の件 [決定]
1. 「北海道新幹線内浦トンネル(幌内)工事安全
祈願」出席の件 [決定]
1. 平成30年第3回定例会提出予定案件の事前説
明聴取の件 [交通企画監説明]

○10月9日(火) 開議 午後1時8分
散会 午後1時11分
第1委員会室
委員長 大崎 誠子(自民)

付託案件の審査

議案第11号

空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関
する件 (原案可決)

その他の議事

1. 付託議案審査の件

○8月8日(水) 開議 午前10時7分
散会 午前10時21分
第2委員会室
委員長 中山 智康(結志)

その他の議事

1. 平成31年度国の施策及び予算に関する中央要
請実施報告の件 [委員長報告]
1. 市町村総合戦略の推進上の課題等に関する報
告聴取の件 [地域創生局長報告]

質 疑

1. 新沼 透委員(結志)
～市町村総合戦略の推進上の課題等について

○9月5日(水) 開議 午前10時10分
散会 午前10時17分
第2委員会室
委員長 中山 智康(結志)

その他の議事

1. 平成31年度地方創生関連国費予算の概算要求
に関する報告聴取の件
[地域創生局長報告]
1. 内閣府サテライトオフィスの設置に関する報
告聴取の件 [地域創生局長報告]

○9月10日(月) 開議 午後2時34分
散会 午後2時42分
第2委員会室
委員長 中山 智康(結志)

その他の議事

1. 若年者等地域人材誘致・交流促進事業に関す
る報告聴取の件 [地域創生局長報告]

○10月9日(火) 開議 午後1時5分
散会 午後1時17分
第2委員会室
委員長 中山 智康(結志)

その他の議事

1. 道から市町村への事務・権限移譲方針改訂に関する報告聴取の件
[地域振興局長報告]

質 問

1. 吉田 正人委員（自民）
～北海道への若者の呼び込みについて

少子・高齢社会対策特別委員会

- 8月8日（水） 開議 午前10時9分
散会 午前10時52分
第7委員会室
委員長 広田 まゆみ（民主）

その他の議事

1. 平成31年度国の施策及び予算に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 北海道介護医療院の施設に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（素案）に関する報告聴取の件 [福祉局長報告]
1. 第三期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」推進状況（平成29年度）に関する報告聴取の件 [子ども未来推進局長報告]
1. 「北海道子どもの貧困対策推進計画」推進状況（平成29年度）に関する報告聴取の件 [子ども未来推進局長報告]

質 疑

1. 宮川 潤委員（共産）
～「北海道子どもの貧困対策推進計画」推進状況（平成29年度）について

質 問

1. 中野渡 志穂委員（公明）
～あらゆる年代の婚活について

- 9月5日（水） 開議 午前10時7分
散会 午前10時28分
第7委員会室
委員長 広田 まゆみ（民主）

その他の議事

1. 「施設における高齢者・障がい者虐待防止に向けた利用者等実態調査及び施設従事者実態調

査」に関する報告聴取の件
[福祉局長報告]

質 疑

1. 宮川 潤委員（共産）
～「施設における高齢者・障がい者虐待防止に向けた利用者等実態調査及び施設従事者実態調査」について

- 10月9日（火） 開議 午後1時8分
散会 午後1時11分
第7委員会室
委員長 平出 陽子（民主）

付託案件の審査

- 議案第17号
損害賠償請求事件における和解の件
(原案可決)

その他の議事

1. 付託議案審査の件
1. 閉会中における請願継続審査申し出の件
[決定]

食と観光対策特別委員会

- 8月8日（水） 開議 午前10時9分
散会 午前10時47分
第10委員会室
委員長 梶谷 大志（民主）

その他の議事

1. 委員会協議会開催の件 [決定]
1. 平成29年度（公社）北海道観光振興機構事業実績に関する報告聴取の件
[観光局長報告]
1. 「複合観光施設（IR）に関する有識者懇談会」に関する報告聴取の件
[誘客担当局長報告]

質 疑

1. 真下 紀子委員（共産）
～「複合観光施設（IR）に関する有識者懇談会」について

○9月5日(水) 開議 午前10時9分
散会 午前10時50分
第10委員会室
委員長 梶谷 大志(民主)

その他の議事

1. 「平成29年度北海道観光入込客数調査」の概要に関する報告聴取の件 [観光局長報告]
1. 「第2回特定複合観光施設(I R)に関する有識者懇談会」に関する報告聴取の件 [誘客担当局長報告]
1. 住宅宿泊事業法への対応に関する報告聴取の件 [誘客担当局長報告]

質疑

1. 安住 太伸委員(結志)
～「第2回特定複合観光施設(I R)に関する有識者懇談会」について
1. 真下 紀子委員(共産)
～「第2回特定複合観光施設(I R)に関する有識者懇談会」について

○9月10日(月) 開議 午後2時34分
散会 午後2時46分
第10委員会室
委員長 梶谷 大志(民主)

その他の議事

1. 平成30年北海道胆振東部地震による対応状況等に関する報告聴取の件 [観光局長報告]
1. 海外悪性伝染病に係る侵入防止対策に関する報告聴取の件 [農政部食の安全推進監報告]

○10月9日(火) 開議 午後1時8分
散会 午後1時50分
第10委員会室
委員長 梶谷 大志(民主)

開議前

1. 小松茂委員の議員辞職報告 [委員長報告]

その他の議事

1. 議席の一部変更の件 [決定]
1. 胆振東部地震からの観光復興に関する中央要請実施報告の件 [委員長報告]
1. 「平成30年北海道胆振東部地震における観光被害等」の概要に関する報告聴取の件 [観光局長報告]
1. 北海道観光復興キャンペーンに関する報告聴取の件 [誘客担当局長報告]
1. 高病原性鳥インフルエンザへの対応に関する報告聴取の件 [食の安全推進局長報告]

質疑

1. 安住 太伸委員(結志)
～北海道観光復興キャンペーンについて
1. 真下 紀子委員(共産)
～北海道観光復興キャンペーンについて

質問

1. 清水 拓也委員(自民)
～民泊について

北海道地方路線問題調査特別委員会

○8月8日(水) 開議 午後1時18分
散会 午後2時42分
第10委員会室
委員長 喜多 龍一(自民)

開議前

1. 委員の辞任及び補充選任の報告及び新委員の紹介

その他の議事

1. 議席の一部変更の件 [決定]
1. J R北海道の経営再生に向けた国土交通大臣への要請実施報告の件 [委員長報告]
1. J R北海道の経営改善に関する国の考え方の公表に関する報告聴取の件 [交通政策局長報告]

質疑

1. 中野 秀敏委員(自民)
～J R北海道の経営改善に関する国の考え方の公表について
1. 菅原 和忠委員(民主)

～ J R 北海道の経営改善に関する国の考え方の
公表について

1. 赤根 広介委員（結志）

～ J R 北海道の経営改善に関する国の考え方の
公表について

1. 吉井 透委員（公明）

～ J R 北海道の経営改善に関する国の考え方の
公表について

1. 真下 紀子委員（共産）

～ J R 北海道の経営改善に関する国の考え方の
公表について

○ 8月27日（月） 開議 午後1時8分
散会 午後3時2分
第10委員会室
委員長 喜多 龍一（自民）

開 議 前

1. 委員の辞任及び補充選任の報告及び新委員の
紹介

その他の議事

1. 議席の一部変更の件 [決定]
1. J R 北海道の事業範囲の見直しに関する関係
者会議（第3回）の開催結果に関する報告聴
取の件 [交通政策局長報告]

質 疑

1. 三好 雅委員（自民）
～ J R 北海道の事業範囲の見直しに関する関係
者会議（第3回）の開催結果について
1. 沖田 清志委員（民主）
～ J R 北海道の事業範囲の見直しに関する関係
者会議（第3回）の開催結果について
1. 赤根 広介委員（結志）
～ J R 北海道の事業範囲の見直しに関する関係
者会議（第3回）の開催結果について
1. 吉井 透委員（公明）
～ J R 北海道の事業範囲の見直しに関する関係
者会議（第3回）の開催結果について
1. 真下 紀子委員（共産）
～ J R 北海道の事業範囲の見直しに関する関係
者会議（第3回）の開催結果について

○ 9月10日（月） 開議 午後3時34分

散会 午後3時54分

第10委員会室

委員長 喜多 龍一（自民）

その他の議事

1. J R 北海道の事業範囲の見直しに係る地域へ
の説明に関する報告聴取の件
[交通政策局長報告]
1. 平成30年北海道胆振東部地震による被害の状
況等に関する報告聴取の件
[交通企画監]

質 疑

1. 中司 哲雄委員（自民）
～ J R 北海道の事業範囲の見直しに係る地域へ
の説明について
1. 真下 紀子委員（共産）
～ J R 北海道の事業範囲の見直しに係る地域へ
の説明について

予算特別委員会

○9月28日(金) 開会 午後4時10分
散会 午後4時18分
第1委員会室
委員長 松浦 宗信(自民)

- ① 委員長に松浦宗信委員(自民)、副委員長に橋本豊行委員(民主)を選出。
- ② 付託議案に対する審査方法について、2分科会を設置し、質疑を行うこととし、第1分科会は委員13人、所管は総務部、総合政策部、環境生活部、保健福祉部、出納局、企業局、道立病院局、人事委員会、公安委員会及び監査委員、第2分科会は委員13人、所管は経済部、農政部、水産林務部、建設部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会の審査における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。
- ③ 各分科会の委員については、配付の分科委員名簿のとおり選出。

○第1分科会(委員13人)

大越 農子(自民)	船橋 賢二(自民)
畠山みのり(民主)	赤根 広介(結志)
中野渡志穂(公明)	佐野 弘美(共産)
沖田 清志(民主)	笠井 龍司(自民)
村木 中(自民)	田中 芳憲(自民)
大崎 誠子(自民)	三井あき子(民主)
遠藤 連(自民)	

○第2分科会(委員13人)

安住 太伸(結志)	小岩 均(民主)
内田 尊之(自民)	久保秋雄太(自民)
白川 祥二(結志)	笹田 浩(民主)
梶谷 大志(民主)	中野 秀敏(自民)
花崎 勝(自民)	長尾 信秀(自民)
橋本 豊行(民主)	吉井 透(公明)
喜多 龍一(自民)	

- ④ 各分科会に分科委員長及び分科副委員長各1人を置くことを決定。
- ⑤ 付託案件の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることを決定。

- ⑥ 質疑・質問の方法等について、通告の形式により行うこと、発言の順位は本会議の一般質問に準じることを決定。
- ⑦ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ⑧ 本委員会の運営に当たり、正・副委員長、各分科会の正・副委員長及び分科会正・副委員長の配分のない会派から1人の理事をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することを決定。
- ⑨ 委員の異動等について、申し出は原則、当日の理事会開催前までに提出することとし、委員の交代は議長の辞任許可及び補充指名を受けること、分科委員の所属変更は、本委員長の承認を受け行うことを決定。

第1分科会

○9月28日(金) 開会 午後4時20分
散会 午後4時28分
第1委員会室
第1分科委員長
大越 農子(自民)

- ① 分科委員長に大越農子委員(自民)、分科副委員長に畠山みのり委員(民主)を選出。
- ② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取り扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、船橋賢二委員(自民)、沖田清志委員(民主)、赤根広介委員(結志)、中野渡志穂委員(公明)、佐野弘美委員(共産)を選出。

○10月2日(火) 開議 午前10時
散会 午後4時35分
第1委員会室
第1分科委員長
大越 農子(自民)

- ① **保健福祉部所管に対する質疑**に入り、**田中 芳憲委員(自民)**から、
1 社会福祉施設等の防災対策について

- ・道所管の社会福祉施設における自家発電機の設置状況と今後の取り組み
 - ・社会福祉施設における非常災害対策計画の策定促進の状況及び今後の取り組み
 - ・社会福祉施設における業務継続計画（BCP）の策定状況及び今後の取り組み
 - ・医療機関における非常用電源整備率の状況及び対応方針と災害対策マニュアルの策定促進へ向けた取り組み状況及び今後の取り組み
 - ・医療機関における業務継続計画（BCP）に求められる項目及び策定促進へ向けた今後の取り組み
 - ・さまざまな災害に備えるための今後の取り組み
- 2 児童虐待への対応について
 - ・道内の児童虐待相談件数の推移
 - ・平成29年度の相談内容別の件数と相談経路別の件数及びその特徴
 - ・児童相談所の体制強化に向けた取り組み状況
 - ・市町村の相談体制強化に向けた道の取り組み
 - ・今後の取り組み
 - 3 難病対策について
 - ・在宅での酸素吸入やALSといった医療機器を使用する患者及び北海道難病センターの大規模停電時の状況
 - ・胆振東部地震などを踏まえた今後の対応

等について

沖田 清志委員（民主） から、

- 1 災害時の医療体制について
 - ・胆振東部地震時によるブラックアウトにおける医療機関の対応状況
 - ・災害拠点病院の指定に当たっての停電対応に係る要件
 - ・2次救急医療機関における非常用電源確保の必要性に対する道の考え及び今後の対応
 - ・在宅酸素等使用者に対する停電等の緊急時における体制
 - ・医療機器の非常用電源の確保に向けた今後の対応
- 2 児童虐待対応について
 - ・地域連携会議において把握した課題
 - ・一時保護を要するケース及び主な要因
 - ・室蘭児童相談所における一時保護件数及び西胆振と東胆振・日高の地域別の割合
 - ・児童養護施設や里親などの委託先における保

- 護件数及び室蘭児童相談所より保護件数が少ない要因
- ・一時保護に係る距離的問題に対する道の考え
- ・室蘭児童相談所の相談体制に係る道の方向性の取りまとめ時期

等について

船橋 賢二委員（自民） から、

- 1 災害医療体制について
 - ・災害発生時における災害拠点病院や災害派遣医療チーム（DMAT）の機能
 - ・災害拠点病院における業務継続計画（BCP）の策定状況及び期限内の整備に向けた道の対応方針と今回の地震や停電による被害及び対応の状況
 - ・今回の地震における災害派遣医療チーム（DMAT）及び災害派遣精神医療チーム（DPAT）の活動状況
 - ・整備充実に向けた今後の取り組み
- 2 災害時の歯科医療等について
 - ・今回の災害におけるリハビリテーションチームの医療救護体制及び活動状況
 - ・避難者の生活不活発病予防に向けた運動指導に対する見解
 - ・災害発生時の歯科保健医療の確保に向けた対応状況
 - ・今回の地震における歯科医療救護体制の状況と東胆振において生じた歯科保健医療の課題
 - ・被災地における歯科医療救護活動の状況
 - ・今般の地震に対する活動状況等を踏まえた今後の取り組み
- 3 災害ボランティア活動について
 - ・被災地における災害ボランティアセンター設置及びボランティア募集等の状況と各町で対応に差が出た理由
 - ・被災者のニーズの把握方法と活動への反映状況
 - ・必要な資機材の確保に向けた取り組み状況と支援の状況
 - ・今後の活用に向けた取り組み

等について

赤根 広介委員（結志） から、

- 1 認知症対策について
 - ・取り組み状況
 - ・本道における認知症高齢者の現状と今後の見通し

- ・認知症施策の推進管理の方法
- ・認知症サポーターの養成状況及び質の向上に向けた取り組み
- ・第7期計画におけるキャラバン・メイトの養成数及びステップアップ講座開催に係る指標
- ・認知症サポート事業所の登録の現状と今後の取り組み
- ・成年後見制度の課題及び後見人の養成や利用促進に向けた取り組み方針
- ・認知症疾患医療センターの設置方針の見直し及び設置に向けた取り組み方針
- ・北海道版オレンジプランの策定などの認知症対策強化に対する所見と今後の取り組み

2 災害弱者への対応について

- ・災害時における中途難失聴者への対応に係る取り組み状況及び拠点となる施設整備に係る関係団体などへのヒアリングの有無
- ・情報保障の指針の内容
- ・スマホ用防災アプリ「そなえ」の機能をガラケーに導入することに対する認識と対応方針
- ・障がい者団体への意思疎通支援条例の周知の状況と今後の取り組み
- ・道内福祉避難所の整備の状況及び福祉避難所の運営方法
- ・北海道版避難所マニュアル策定の取り組み状況
- ・実効性のある福祉避難所の運営に向けた取り組み

3 災害医療について

- ・胆振東部地震により医療現場で発生した問題に係る認識
- ・在宅で医療機器を使用する患者への対応
- ・道内医療機関におけるBCPの策定状況と策定推進に向けた取り組み
- ・今回の調査と前回の調査との違い及び国の調査と道の調査の関係性の考え方
- ・大規模災害時の医療提供体制の整備に向けた今後の取り組み

4 乳児用液体ミルクの取り扱いについて

- ・東京都からの液体ミルク提供の有無並びに被災地への配付及び使用に係る対応の経緯
- ・災害時の液体ミルクの使用に向けた考え

等について

中野渡 志穂委員（公明） から、

- 1 胆振東部地震における対応について

- ・災害発生時の医療機関の対応状況把握に向けた取り組み状況
- ・災害拠点病院において必要とされる物資の備蓄内容と停電に係る診療への影響
- ・各医療機関の現状把握及び検証の必要性に対する見解
- ・災害拠点病院や救急医療機関に準じた食料・燃料等の備蓄に向けた取り組みに係る見解
- ・大規模停電時における社会福祉施設の対応状況と課題に対する認識及び今後の取り組み
- ・北海道難病センターにおける断水などへの対処方策及び実態把握に対する考え
- ・在宅で人工呼吸器等を使用している患者数の把握の状況と災害発生時における患者の方々に対する支援の状況及び今後の取り組み
- ・液体ミルクの取り扱いに係る対応状況
- ・応急仮設住宅の整備スケジュール及び供給不足の有無と対応方針

等について

佐野 弘美委員（共産） から、

- 1 生活保護世帯の災害時対応等について
 - ・胆振東部地震発生後におけるケースワーカーによる支援の状況と家庭訪問の状況及びニーズの把握状況
 - ・義援金の生活保護上の取り扱いを定めた国の方針の内容及び適切な運用に向けた取り組み状況
 - ・自立更生計画の作成に係る配慮と支援の方法
 - ・一時的な避難所生活等に係る生活保護上の自治体間の調整への対応方針
 - ・被災した生活保護世帯への適切な支援に向けた今後の対応
- 2 災害時における人工透析患者への支援について
 - ・道内の透析可能医療機関数とそのうち自家発電を備える施設数及び透析患者数と胆振東部地震時の停電に係る対応状況
 - ・来道中の透析患者に対する医療機関の情報発信に係る認識
 - ・緊急透析に必要な情報の携行促進の必要性に係る認識
 - ・災害時の透析確保に向けた今後の取り組み
- 3 保育所の整備等について
 - ・道内の待機児童の状況と変更後の国の基準及び待機児童とみなされないいわゆる隠れ待機

児童の状況及び認識と解消に向けた取り組み状況

- ・無認可保育施設から認可保育施設への移行件数及び認可保育所の定員増による受け入れ可能数の推移
 - ・認可保育所に入所できない状況に対する認識及び隠れ待機児童数が高く推移している要因と待機児童の解消に向けた取り組み状況
 - ・道内における常勤保育士の状況及び保育士の充足状況と今後必要となる保育士数に係る考え
 - ・子ども未来づくり計画において保育士の目標値を設定していない理由
 - ・保育士の待遇改善に係る認識及び処遇改善策の内容と取り組みの必要性に係る考え
 - ・保育所における時間外労働の賃金未払い問題の是正状況及び道の対応状況
 - ・道内の認可外保育施設の現況調査の結果
 - ・道が立入調査を行った認可外保育施設件数が全国平均より低い理由
 - ・保育所で発生した認可・認可外ごとの全国の死亡事例件数の直近5年間の合計
 - ・全認可外保育施設への立入調査及び是正指導の必要性に対する認識と取り組み方針
 - ・認可保育施設の拡充と保育士の処遇改善に向けた計画の内容及び今後の取り組み
- 4 児童相談所の体制強化等について
- ・相談対応件数が増加傾向にある要因
 - ・児童相談所の負担軽減に向けた取り組み方針
 - ・5年前と比較した道立児童相談所における児童福祉司数
 - ・児童虐待防止対策体制総合強化プランの前倒しによる児童福祉司増員の国への要望に係る考え方
 - ・道における児童相談所職員の専門性向上に向けた研修の状況及び研修機会の保証の必要性に対する認識
 - ・児童相談所の体制強化に対する道の認識及び道の方向性の取りまとめに向けた対応方針
- 5 精神障がい者の生活実態の把握と支援等について
- ・他府県における精神障がいに対する医療給付事業の状況
 - ・道が精神障害者保健福祉手帳1級のみを医療費助成の対象とする根拠

- ・精神障がい者の生活実態調査の実施状況と結果及び課題
- ・調査結果を踏まえた精神障がい者に係る医療費助成制度及び地域移行への今後の対応

等について質疑、意見及び要望があり、保健福祉部長、少子高齢化対策監、保健福祉部次長、地域医療推進局長、健康安全局長、福祉局長、高齢者支援局長、子ども未来推進局長、福祉局障がい者支援担当局長、総務課政策調整担当課長、地域医療課医療参事兼医務業務課医療参事、医務業務課長、地域保健課長、地域保健課がん対策等担当課長、地域保健課医療参事、地域福祉課長、地域福祉課人材確保担当課長、地域福祉課保護担当課長、施設運営指導課長、障がい者保健福祉課長、高齢者保健福祉課長、高齢者保健福祉課地域包括ケア担当課長、子ども子育て支援課長及び子ども子育て支援課自立支援担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、保健福祉部所管に関する質疑を終結。

② 環境生活部所管に対する質疑に入り、 船橋 賢二委員（自民）から、

- 1 歴史・文化・自然「体感」交流空間構想について
 - ・パブリックコメントの実施に当たっての素案の周知方法
 - ・台風21号と胆振東部地震による百年記念塔への影響及び石狩低地東縁断層帯や直下型で地震が起きた場合の百年記念塔の耐震性など安全性への認識
 - ・百年記念塔にかわる新たなモニュメントを設置するとした理由及びコンセプトを定めた背景
 - ・モニュメント広場の整備に向けた今後の取り組み
- 2 自然公園の保護と利用について
 - ・道内の自然公園利用者数の推移及び国立公園のインバウンドの状況
 - ・公園内に設置する説明用看板などへの外国語表示の取り組み状況
 - ・公園を紹介する看板などへアイヌの伝承などを掲示することに対する見解
 - ・阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトとアイヌの伝統文化との連携への取り組み状況
 - ・国立公園を中心とした自然公園の利用促進に向けた今後の取り組み
- 3 水素社会の実現について
 - ・胆振東部地震による鹿追・帯広地域及び白糠・釧路地域での実証事業への影響と両地域の

- 実証事業で電気が供給できなかった原因
- ・本年6月から室蘭地域でスタートした実証事業の概要及び実証事業終了後の水素サプライチェーンの構築に向けた展開に対する認識
- ・全国や道内における燃料電池自動車等の導入の現状と目標値
- ・燃料電池自動車や水素ステーションの導入が進まない状況に対する受けとめ及び導入促進に向けた全国的な動きと取り組み方針
- ・水素社会の実現に向けた今後の取り組み

等について

畠山 みのり委員（民主） から、

- 1 百年記念施設について
 - ・百年記念塔建設の経緯と道民の思い
 - ・ほっかいどう歴史・文化・自然「体感」交流空間構想により百年記念塔を解体するとされた場合の建設に貢献された方々への配慮に係る所見
 - ・百年記念塔の跡地に設置するモニュメントの具体的な姿と設置に要する費用への所見
 - ・百年記念塔を維持する場合の費用負担額算定の前提と金額及び解体の判断に至るまでの手続と判断理由
 - ・百年記念塔に係る意見の整理と構想策定の今後の進め方

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、文化局長、環境局気候変動対策担当局長、環境局生物多様性担当局長、気候変動対策課長、生物多様性保全課自然公園担当課長及び文化振興課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

〇10月3日（水） 開議 午前10時1分
散会 午後4時2分
第1委員会室
第1分科委員長
大越 農子（自民）

① **環境生活部に対する質疑**を続行し、

笠井 龍司委員（自民） から、

- 1 災害廃棄物処理に向けた支援について
 - ・基本的な対応の考え方
 - ・胆振東部地震の震源地に近い自治体における災害廃棄物処理の課題と今後の対応
 - ・国の補助制度の内容及び活用に向けた取り組み状況
 - ・被災自治体への支援に対する見解

- ・今後の取り組み
- 2 エゾシカ対策等について
 - ・エゾシカジビエ利用拡大推進事業の概要説明を兼ねた講習会の開催状況及び成果
 - ・狩猟捕獲個体の部位のみ食肉処理施設に持ち込まれた場合の事業の適否及び搬入に係る手数料単価の見込み額
 - ・狩猟者への事業趣旨の周知徹底に対する考え
 - ・処理施設の受け入れ条件によるエゾシカ肉の流通偏在の懸念に対する認識
 - ・エゾシカ肉の品質の確保に向けた処理施設への指導の徹底に対する認識
 - ・搬入に係る手数料の支払いに係る不正防止策
 - ・狩猟捕獲個体の内臓摘出に係る国の検討状況及び道における内臓摘出の手順確立の必要性に対する認識
 - ・一般社団法人エゾシカ協会によるシカ捕獲認証制度の活用に対する道の考え
 - ・ジビエ振興・推進に向けた今後の取り組み
 - 3 厚岸道立自然公園の国定公園指定に向けた取り組みについて
 - ・検討の経緯及び課題に対する情勢変化の状況
 - ・道内及び道外の国立・国定公園の直近の指定状況
 - ・指定に当たっての手続などの一連の流れ
 - ・周辺地域を含めた一体的な資源としての重要性の発信に向けた自然環境や社会情勢などの資質の現況の的確な把握の必要性に対する見解
 - ・早期の国定公園化に向けた対応方針及び指定の加速に向けた今後の取り組み

等について

三井 あき子委員（民主） から、

- 1 アイヌ政策について
 - ・取り組み方針
 - ・地名や神話伝説などの口承文芸の意義に係る認識
 - ・貴重なアイヌ語や口承伝説の調査・研究・検証などに対する見解
 - ・アイヌ語地名等の防災面などでの活用に向けた取り組み状況
 - ・国・市町村等が連携したアイヌ語地名の防災
 - ・減災への活用に対する考え及び調査・研究
 - ・検証を継続することに対する道の考え
 - ・先住民族の尊重と共生に向けてアイヌの方々

からの知識・知恵を伝承し続けることに対する見解

等について

赤根 広介委員（結志） から、

1 アスベスト対策について

- ・取り組み状況
- ・使用状況のリスト化の取り組み内容及び目的
- ・計画的な取り組みの内容
- ・旭川市の事案に対する受けとめ及び原因に対する所見
- ・市町村における災害時のアスベスト飛散防止対策を盛り込んだ地域防災計画策定の取り組み状況
- ・このたびの地震での被災3町の地域防災計画の現状及び災害廃棄物におけるアスベスト飛散防止対策の取り組み方針
- ・今後の取り組み

2 山岳環境整備について

- ・大雪山の利用者数の出身圏域別の外国人の内訳を含めた推移
- ・登山道の整備状況に対する認識と対応方針及び適切な整備に対する認識
- ・ヒサゴ沼避難小屋の整備状況に対する認識及び避難小屋の整備に係る基準や仕様等の条件の有無
- ・避難小屋の整備に向けた対応方針
- ・避難小屋の機能の充実強化に対する道の考え及び他県における民間の山小屋への支援の状況
- ・携帯トイレの利用のための周囲からの視線を遮るブースの設置やトイレの整備等に向けた対応方針
- ・道の主体的対応及び環境保全とのバランスにのっとった利用の促進に向けた道の考え

3 青少年健全育成条例に基づく有害指定について

- ・条例に基づく審議会における議事録未作成問題に係る認識と対応方針
- ・「エロマンガ表現史」の審議経過に係る認識
- ・当該図書の審議に要した時間及び直近の審議会における平均的な審議時間とそのうち有害図書の指定に係る審議時間
- ・審議の開始・終了時間の指定の有無
- ・青少年健全育成審議会の委員の任命に係る道の考え

- ・常設の有害図書の区分陳列コーナーを持っている書店数及び有害指定による事実上の流通制限によりこうむる18歳以上の方にとっての不利益に対する道の考え

等について

菊地 葉子委員（共産） から、

1 損壊墓石への対応について

- ・墓地・墓園で損壊した墓石等に対する災害等廃棄物処理事業活用の適否
- ・災害対策事業の他県と道における実績及び胆振東部地震における市町村への事業周知の状況
- ・被災者への配慮に対する考え

2 水道施設の強靱化について

- ・浄水場の耐震基準と道内の浄水場の耐震化の状況
- ・胆振東部地震における浄水場の被災による断水の状況及び道としての被災想定の有無
- ・浄水場の設置における自然災害への配慮に対する考え
- ・全水道事業者を対象とした水道施設の立地状況の調査に対する考え
- ・胆振東部地震による停電に伴い断水した浄水場と断水戸数
- ・浄水場における自家発電設備の整備状況と整備促進に向けた取り組み状況
- ・浄水場における小水力発電の整備状況及び各浄水場における水力発電の可能性の検討と水道事業者への計画的整備の働きかけに対する考え
- ・今後の取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、環境生活部長、アイヌ政策監、環境局長、くらし安全局長、アイヌ政策推進局長、環境局生物多様性担当局長、環境政策課水道担当課長、循環型社会推進課長、循環型社会推進課環境保全担当課長、生物多様性保全課自然公園担当課長、生物多様性保全課エゾシカ担当課長、道民生活課青少年担当課長及びアイヌ政策課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、環境生活部所管に関する質疑を終結。

② **総合政策部所管に対する質疑**に入り、

田中 芳憲委員（自民） から、

1 地震災害とJR北海道の路線見直しについて

- ・このたびの地震災害による線路や橋梁などの被害状況と列車の運行及び営業面における影響

- ・道による支援の考え方を含めた日高線の見直し
 - ・官民が一体となったJRの利用の回復・拡大に向けた取り組み
 - ・貨物列車の運行休止による1次製品の輸送への影響
 - ・震災を踏まえた根室線の果たす役割に対する見解
 - ・直接の被害がなかった花咲線や釧網線の運行再開がおくれた要因
 - ・地震災害を踏まえた今後の地域協議の進め方
- 2 国際貿易交渉について
- ・日米物品貿易協定（TAG）の交渉開始の合意に対する受けとめ
 - ・今回の合意を踏まえた今後の対応
- 3 復興支援について
- ・胆振東部地震災害復興支援室の設置に当たっての考え方及び組織体制
 - ・地域に寄り添った実効性の高い支援への対応方針
 - ・災害復興支援室の業務内容及び復興基金業務の担当の有無
 - ・モバイル情報端末などを活用した振興局や国の機関等との連絡調整の効率化に対する考え
 - ・災害復興支援室の設置期間
 - ・被災地の復旧・復興に向けた災害復興支援室の活用方策

等について

沖田 清志委員（民主） から、

- 1 災害対応について
- ・胆振東部地震災害復興支援室と平成28年の大雨災害時に設置した被災地域復興推進本部との違い
 - ・各部署から構成する復興推進本部の必要性に対する所見及び設置時期
- 2 港湾の機能強化について
- ・胆振東部地震に係る苫小牧港を初めとする港湾施設の復旧対策の考え方
 - ・復旧対策に係る苫小牧港管理組合の予算に対する認識及び道としての適切な予算確保に向けた認識
 - ・国への要望における港湾施設の位置づけと要望内容
 - ・苫小牧港を中心とする港湾施設の被害状況の把握と認識

- ・苫小牧港の復旧に向けた対応の検討状況と国への支援の要望に係る見解
 - ・苫小牧港の復旧の見直し
 - ・港湾施設の早期復旧に向けた今後の対応
- 3 空港の機能強化について
- ・空港の電源確保や非常用電源の状況
 - ・地震・ブラックアウト時における空港の運航継続に向けた対応方針
 - ・新千歳空港の冬期間に欠航が多い要因並びに旭川空港との違いと対処方法
 - ・新千歳空港の道南及び道東方面からのアクセス向上に係る国の認識
 - ・新千歳空港鉄道アクセスワーキンググループが開催されなかった理由及び早期再開に対する所見
 - ・新千歳空港鉄道アクセスワーキンググループの組織見直しに対する所見
- 4 JR北海道の路線見直し問題等について
- ・次回関係者会議の開催時期
 - ・次回関係者会議における国からの回答と道からの働きかけ、地域協議会での議論が進んでいないことへの認識、本道全体で利用促進策に取り組むことに対する所見、道内全市町村が関与できる推進体制の構築と利用促進キャンペーンの実施に係る所見、地震発生によるJR北海道の今後の経営見直し、JR北海道との協議に向けた道の姿勢

等について

村木 中委員（自民） から、

- 1 UIターンの促進について
- ・従来の取り組みの評価と今年度への反映状況
 - ・若年者等地域人材誘致・交流促進事業の狙いと事業展開の内容
 - ・移住相談窓口やセミナーなどで蓄積したデータの活用方法及びデータ共有などの部局間の連携の取り組み状況
 - ・道内を訪れる修学旅行生に向けた取り組みの必要性に係る見解
 - ・移住検討者等が地域とかかわりを持てる取り組みの必要性
 - ・今後の取り組み
- 2 SDGsの推進について
- ・SDGsへの参加促進に係る考え方
 - ・仮称・北海道SDGs推進ビジョンの原案における重点的な取り組みの考え方

- ・北海道SDGs未来都市計画とビジョンとの関係性
- ・今後の取り組み

等について

笠井 龍司委員（自民） から、

- 1 自転車活用推進計画について
 - ・自転車の活用推進に向けた取り組み状況
 - ・自転車活用推進計画の骨子案の内容と今後の検討スケジュール
 - ・自転車関連施策の展開に向けた部局間連携による取り組み方針
 - ・本道の活性化に向けた自転車活用推進の取り組み

等について

赤根 広介委員（結志） から、

- 1 復興対策について
 - ・胆振東部地震災害復興支援室の組織体制強化の見通し
 - ・胆振総合振興局に配属された職員の身分
 - ・復旧・復興の進め方
 - ・被災3町との連携・支援の取り組み方針
 - ・復興基金の創設に係る見解
 - ・今後の取り組み
- 2 交通政策について
 - ・本道の鉄道ネットワークの維持を国に強く求めることに対する見解
 - ・JR北海道の事業計画に盛り込む利用促進の考え方及び取り組みへの道の参画と北海道全体による利用促進に向けた取り組みの必要性に対する考え
 - ・震災前の水準にある利用者数や収益確保を考慮した検証の考え方
 - ・観光列車のこれまでの取り組みと課題
 - ・今年度の観光列車モニターツアーの内容及び今後の取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長、交通企画監、政策局長、地域創生局長、交通政策局長、交通政策局次長、政策局計画推進担当局長、胆振東部地震災害復興支援室長、交通政策局交通・物流連携担当局長、計画推進課長、胆振東部地震災害復興支援室参事、地域戦略課移住交流担当課長、交通企画課鉄道交通担当課長、交通企画課鉄道支援担当課長、交通企画課交通・物流担当課長、交通企画課港湾担当課長、航空課航空企画担当課長及び航空課新千歳空港周辺対策担当課長から答弁があって、議事進行の都合により散会。

○10月4日（木） 開議 午前10時
閉会 午後3時22分
第1委員会室
第1分科委員長
大越 農子（自民）

① **総合政策部所管に対する質疑**を続行し、
中野渡 志穂委員（公明） から、

- 1 胆振東部地震の復興支援について
 - ・地震による被害に係る受けとめ
 - ・被災地域の復興に向けた災害による影響などの検証に係る所見
 - ・胆振東部地震災害復興支援室の設置に至った考え方と体制及び所管業務
 - ・地域ニーズの把握に向けた振興局との連携による一体的な取り組みに対する所見
 - ・復興基金の設置に係る考え
 - ・今後の取り組み
- 2 国際化への対応について
 - ・SDGs推進ビジョンにおける目指す姿の考え方
 - ・北海道150年における国際貢献の取り組み状況
 - ・国際協力の推進に向けた関係機関の活動に係る認識
 - ・JICAと連携した国際協力に係る取り組み状況
 - ・北海道立総合研究機構が関与した国際協力の取り組み
 - ・JICAの草の根技術協力事業などを活用した地域における取り組み状況と今後の方針
 - ・道職員とJICA職員の相互交流に係る所見
 - ・JICA海外研究者の帰国後における交流機会の必要性に係る所見
 - ・JICAとの包括連携協定の締結の必要性に係る所見
 - ・今後の進め方

等について

佐野 弘美委員（共産） から、

- 1 空港の災害対策等について
 - ・胆振東部地震における道内空港の被害状況
 - ・防災拠点・応急避難所としての空港の役割に係る見解
 - ・新千歳空港の耐震性の強化等の地震対策に対する見解
 - ・災害時における各空港の想定宿泊者数及び応

急物資等の配置数量

- ・新千歳空港における毛布等の応急物資の備蓄量と取り組み方針
 - ・災害発生時の緊急避難的な空港アクセス整備の検討の必要性に対する見解
 - ・空港利用者に対する積極的な情報提供及び各空港の防災対策や利用者保護のあり方検討の必要性に係る見解
 - ・SPCに課せられる防災上の責務
 - ・民間委託後の苫別空港における道からSPCへの防災に係る意見表明等の仕組みの有無
 - ・空港民間委託後の災害復旧等に係る費用負担
 - ・民間委託後に道の費用負担がふえる可能性の有無及びある場合の担保
 - ・新千歳空港における防災体制の充実に向けた今後の取り組み
- 2 北海道新幹線における課題等について
- ・札幌延伸に伴う発生土及び要対策土の見込み量
 - ・土壌汚染対策法の基準値を超えた重金属含有の発生土の受け入れ地と容量及び重金属の内容
 - ・処分が必要な発生土及び要対策土の量と処分地の決定の状況
 - ・周辺住民の不安に対する認識と対応方針
 - ・札幌トンネルで検出された基準値を超える重金属の種類及び工事による発生土の処分地
 - ・札幌延伸工事の今後の見通し

等について質疑、意見及び要望があり、総合政策部長、交通企画監、空港戦略推進監、国際局長、航空局長、空港運営戦略推進室次長、胆振東部地震災害復興支援室長、交通政策局新幹線推進室長、空港運営戦略推進室参事、計画推進課長、政策局研究法人室参事、国際課長、胆振東部地震災害復興支援室参事、交通政策局新幹線推進室参事及び航空課航空企画担当課長から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、総合政策部所管に関する質疑を終結。

② 総務部所管に対する質疑に入り、

船橋 賢二委員（自民）から、

- 1 災害対策について
- ・胆振東部地震に係る体制及び初動対応
 - ・未明の発災・停電状態における災害情報の把握方法
 - ・山腹崩壊による行方不明者等に対する救出救助活動の状況

- ・ヘリコプターによる救出救助活動の状況及び道防災ヘリの具体的な対応状況
- ・傷病者に対する医療救護活動の状況
- ・被災3町への道・市町村・他県などの職員の派遣状況
- ・災害対応に係る国の機関との連携の状況
- ・避難所への食料等の供給に係る取り組み状況
- ・避難所における生活環境の向上に向けた視点及び取り組み状況
- ・避難所における健康管理等の取り組み状況及び避難できない被災者に対する保健医療などのサービス提供の状況
- ・避難者による自主的な避難所運営組織の設立状況と認識及び対応方針
- ・避難所運営コーディネーター制度の導入に係る所見
- ・罹災証明書発行業務への支援体制と今後の見通し
- ・災害救助法が道内全市町村に適用されたことに係る見解及び適用による道の責務と負担の内容
- ・災害見舞金の取り扱い
- ・災害対応に係る指摘や課題に対する認識
- ・災害対応等に係る検証委員会の設置時期及び構成メンバー並びに運営方法
- ・大規模地震災害を踏まえた防災対策に対する考え方

等について

島山 みのり委員（民主）から、

- 1 災害対応について
- ・胆振東部地震に係る周知における被害状況の概要・区分等の基準の有無
 - ・災害本部における苫小牧東港の国際コンテナターミナルの被害の取り扱い
 - ・情報収集における関係部局間の連携強化の必要性に対する所見
 - ・北海道の強靱化に係る検証委員会の設置時期及び検証方法
 - ・SNSを活用した災害情報や注意喚起の発信の必要性に対する所見
 - ・移動基地局の配置先の決定過程及び携帯電話事業者との連携に向けた今後の対応
- 2 北方領土問題について
- ・共同経済活動のプロジェクトにおける場所の特定及びツアー内容の策定などに係る事実関

係の確認

- ・共同経済活動におけるビジネス・ミッションのメンバー選定の方法及び隣接地域や道内関係者の参加可能な規模
- ・現状認識と今後の対応

等について

笠井 龍司委員（自民） から、

1 道職員の働き方改革について

- ・勤務時間条例における時間外勤務の上限時間数の設定等の必要性に係る見解
- ・管理職を含めた時間外勤務の実態把握の現状に係る認識
- ・災害対応業務を応急的に担当するなど変則的な勤務を行う職員の勤務時間管理の方法
- ・職員管理の効率化に向けた今後の取り組み

等について

三井 あき子委員（民主） から、

1 防災対策について

- ・大規模地震に備えた訓練内容と訓練結果の検証及び防災対策へのフィードバックの状況
- ・災害弱者の名簿作成に係る個人情報の取り扱いの基本的な考え方及び地域の実情把握の状況
- ・災害発生時の避難者への対応及び女性の視点を取り込むことへの認識
- ・北海道防災会議の現状と認識
- ・北海道災害義援金募集委員会に集められた義援金の状況及び配分の考え方
- ・大規模地震の発生に備えた今後の対応

等について

村木 中委員（自民） から、

1 文書管理と業務改善について

- ・過去の調査結果を含めた審議会議事録未作成に係る経緯と構造的要因に対する認識及び今後の対応
- ・議事録などの重要な公文書の未作成の防止に向けた管理職員の役割
- ・再発防止のための業務の徹底した見える化とマニュアル化及びチェックリストの整備に係る見解
- ・働き方改革や生産性向上の視点による業務マニュアルの整備などの業務改革に対する見解
- ・文書管理の適正化に向けた今後の取り組み

等について

赤根 広介委員（結志） から、

1 防災対策について

- ・被害の著しい厚真・安平・むかわの3町におけるボランティアの活動状況
- ・胆振東部地震における陸上・航空・海上各自衛隊の活動状況
- ・民間事業者の活動状況
- ・今回の大規模災害に生かされた昨年の防災訓練の成果に係る見解
- ・道の防災総合訓練に係る取り組み方針
- ・胆振東部地震を踏まえた道民の防災意識向上に向けた今後の取り組み

等について

中野渡 志穂委員（公明） から、

1 災害対策について

- ・胆振東部地震における初動体制の整備の状況及び災害対策指揮室の対応状況
- ・今回の地震における関係機関との連携の状況
- ・現在の避難所の開設状況及び避難者数
- ・避難所における支援の状況と課題
- ・避難所の開設・運営のための訓練実施の有無
- ・災害時の物資等の供給に係る民間事業者との協定の締結状況と協定の活用状況及び有効活用に向けた考え
- ・大規模災害時における消防活動の状況及び救急事案の対応状況
- ・最近の防災訓練の実施状況と冬期訓練実施の検討に係る見解
- ・複合災害への対応状況及び今後の対応
- ・多発化・激甚化する災害に対する今後の取り組み

等について

佐野 弘美委員（共産） から、

1 太陽光パネルの火災対策について

- ・感電リスクに係る総務省通知の内容及び道の対応と市町村への周知方法及び実施状況
- ・小規模自治体の感電対策の状況及び道の支援の状況
- ・設置実態の把握の必要性及び対策の検討に係る考え
- ・周知に向けた取り組み方針

2 地域防災と避難所の環境改善等について

- ・災害種別の防災と避難のあり方及び課題に係る認識
- ・避難所におけるトイレ等の配備に係る地域防災計画上の記載の内容

- ・トイレの環境に係る改善の経緯
 - ・災害対応トイレなどの計画的配備に係る認識
 - ・避難弱者の意見を踏まえた避難所のトイレ環境の検証及び対応方針
 - ・2016年8月から9月の大雨災害の検証結果の今回の地震への活用状況と今後の課題に係る認識
 - ・初動対応に係る危機対策局の評価
 - ・道の災害対応に係る検証委員会におけるブラックアウトの取り扱い
 - ・胆振東部地震に関する災害対応の検証委員会の委員構成と設置及び開始時期
 - ・タイムラインの活用など今後の防災対策
- 3 女性登用の促進について
- ・道職員の採用及び配置に係る性別に基づく異なった取り扱いの有無
 - ・知事部局本庁課長級以上の女性職員の割合の過去5年間の推移
 - ・全国平均及び他都府県に比べて低い登用率に対する認識
 - ・不十分な現状認識に対する見解
 - ・継続的な登用と登用率向上に向けた取り組み方針
 - ・過去5年間の部長級職員数及び高橋知事就任後の部長級総人数とそのうち女性の数
 - ・道職員の育児休業における過去5年間の男女別の取得者数と取得期間の推移
 - ・子どもの出生時における男性職員の休暇取得率と取得日数の推移
 - ・男性職員の育児休業等の取得に向けたさらなる取り組みに対する見解
 - ・今後の取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、総務部長兼北方領土対策本部長、職員監、危機管理監、総務部次長兼行政改革局長、人事局長、法務・法人局長兼大学法人室長、危機対策局長、人事課長、人事課給与サービス担当課長、法制文書課長、危機対策課長、危機対策課防災教育担当課長、危機対策課消防担当課長、危機対策課防災航空室長及び北方領土対策課長から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、総務部所管に関する質疑を終結。

第 2 分 科 会

○9月28日（金） 開会 午後4時20分

散会 午後4時27分
第2委員会室
第2分科委員長
笹田 浩（民主）

- ① 分科委員長に笹田浩委員（民主）、分科副委員長に内田尊之委員（自民）を選出。
- ② 付託議案の審査日程、質疑・質問の方法等、理事会の設置、分科委員の異動等、分科委員外委員の発言の取り扱い、議席、次回委員会の開催予定について決定。
- ③ 理事に、久保秋雄太委員（自民）、小岩均委員（民主）、白川祥二委員（結志）、吉井透委員（公明）を選出。

○10月2日（火） 開議 午前10時
散会 午後4時59分
第2委員会室
第2分科委員長
笹田 浩（民主）

- ① **建設部所管に対する質疑**に入り、
内田 尊之委員（自民）から、
 - 1 災害対応について
 - ・7月の大雨による公共土木施設の被害の概要
 - ・ペーパン川の災害復旧工事に係る再発防止に対する見解
 - ・北海道胆振東部地震による公共土木施設の被害状況及び応急復旧の実施状況と今後の復旧予定
 - ・土砂災害防止のための緊急的な砂防事業に対する見解
 - ・関係機関と連携した取り組み及び市町村支援に対する考え
 - ・地震に強いインフラ整備に係る取り組み状況とその効果に対する認識及び今後の対応
 - ・激甚災害法に基づく本激甚指定に道が適用対象となる見通し
 - ・激甚災害指定に向けた今後の道の対応
 - ・北海道の強靱化に向けた今後の取り組み
 - 2 被災者への住宅等の支援について
 - ・応急危険度判定の目的と今回の地震における実施状況
 - ・応急危険度判定における道と市町村の役割と道の体制

- ・今後の地震災害における判定活動に対する取り組みへの考え
- ・道営住宅の無償提供に係る取り組み状況
- ・みなし仮設住宅に係る対応状況
- ・応急仮設住宅の建設に係る対応状況と完成予定及びその仕様
- ・住民の要望に配慮した仮設住宅の整備に対する見解
- ・住宅の被害を受けた方への支援方法
- ・安心した生活の確保に向けた取り組み

等について

橋本 豊行委員（民主） から、

- 1 胆振東部地震対策について
 - ・道及び市町村管理の土木施設の被害状況と被害額の内訳
 - ・道道の被害の概要
 - ・山腹崩壊に対するこれまでの対応
 - ・道道上幌内早来停車場線で土砂の撤去が完了していない理由
 - ・被災地周辺の緊急輸送道路における地震発生後の対応状況
 - ・厚真川における河道埋塞への対応状況
 - ・道管理ダムにおける異常の有無及び厚幌ダム貯水池周辺の斜面崩落への対応状況
 - ・2次災害の発生を踏まえた今後の対応

等について

久保秋 雄太委員（自民） から、

- 1 建設産業における人手不足対策について
 - ・人手不足の最近の状況
 - ・人材確保に向けた業界団体あるいは企業及び道における取り組み
 - ・外国人材の労働実態と経営者からの意見
 - ・外国人材を想定せずに人手不足に対応することへの認識
 - ・多様な人材の受け入れ体制整備に対する見解

等について

安住 太伸委員（結志） から、

- 1 7月の大雨被害に伴う河川整備について
 - ・ペーパン川全体に占める整備区間の割合及びその区間外の整備に対する地域からの要望に対する認識
 - ・近年の気候変動を踏まえて計算し直した流量等に基づく改良工事の必要性に対する見解
 - ・ペーパン川全体としての改良事業の採択を国に求める必要性に対する見解

- ・今後の早期復旧に向けた取り組み
- 2 防災拠点となる庁舎の耐震化について
 - ・道内市町村の防災拠点のうち耐震化されている庁舎の数
 - ・住宅・建築物安全ストック形成事業の制度概要
 - ・国の補助制度の継続に係る道の対応

等について質疑、意見及び要望があり、建設部長、建築企画監、建設政策局長、土木局長、住宅局長、建設政策局施設保全防災担当局長、建設政策局建設業担当局長、建設政策課長、維持管理防災課維持担当課長、建設管理課建設業担当課長、河川砂防課長、河川砂防課砂防災害担当課長、建築指導課長、建築指導課建築安全担当課長、住宅課長及び住宅課住宅管理担当課長から答弁があって、総括質疑に保留された事項を除き、建設部所管に関する質疑を終結。

② **水産林務部所管に対する質疑**に入り、
花崎 勝委員（自民） から、

- 1 新たな森林管理システムについて
 - ・具体的な仕組み
 - ・森林の形態別の特徴と対象となる森林の状況及び面積
 - ・市町村の体制整備に向けた取り組み
 - ・林業経営者の育成強化へ向けた取り組み
 - ・本道の実情を踏まえた今後の取り組み
- 2 林業大学の基本計画（案）について
 - ・入学者の確保への考え
 - ・カリキュラムの科目構成に対する考え
 - ・校舎等の施設整備の考え
 - ・地域の役割に対する考え
 - ・今後の取り組み
- 3 胆振東部地震による林業被害について
 - ・林業関係の被害状況
 - ・林地及び林道の復旧に向けた取り組み
 - ・道有林における被害状況と復旧対策の方法及び今後の整備の進め方
 - ・林業や木材産業への影響と対応方法
 - ・復旧・復興に向けた今後の取り組み

等について

梶谷 大志委員（民主） から、

- 1 災害による水産関係被害について
 - ・漁港施設の被害状況と漁業への影響
 - ・漁港における自然災害への今後の対応
- 2 災害による森林の被害について
 - ・林地や治山施設及び林道の被害額

- ・追加補正予算による対策
 - ・当面の復旧事業に対する業務支援の状況
 - ・森林の再生に向けた取り組み
 - ・復興に向けた今後の取り組み
- 3 北方四島共同経済活動について
- ・根室市が予定している施設整備事業の概要と補正予算が必要な理由
 - ・施設整備に期待される効果
 - ・共同増養殖プロジェクトに係る今後の取り組み
- 4 林業大学校について
- ・施設整備に対する考え
 - ・地域との連携協力体制構築への考え
 - ・今後の取り組み

等について

塚本 敏一委員（自民） から、

- 1 水産基盤整備の推進について
- ・漁場整備の取り組み状況と効果
 - ・第4期水産業・漁村振興推進計画における漁場整備の進捗状況
 - ・漁港での増養殖の取り組みと施設整備の取り組み
 - ・今後の進め方
- 2 増加する水産資源の有効活用について
- ・本道でのイワシやブリの消費量と消費拡大に向けた取り組み
 - ・加工原料としての活用に係る取り組み
 - ・有識者検討会における検討状況
 - ・消費拡大や有効活用に向けた今後の取り組み

等について

橋本 豊行委員（民主） から、

- 1 胆振東部地震災害について
- ・水産関係被害の調査実態と対応状況
 - ・停電の長期化に対する今後の対応と大型発電機の設置に対する支援に係る見解
 - ・林地被害に係る航空測量結果の活用方法
 - ・道有林における被害の状況と復旧対策
- 2 水産業振興について
- ・ロシア水域でのサケ・マス流し網漁業禁止に伴う対策の現状及び水産加工や流通業界への影響と取り組み状況
 - ・今後の進め方
- 3 森林管理について
- ・新たな森林管理システムにおける意欲と能力のある林業経営者育成の進め方

等について

安住 太伸委員（結志） から、

- 1 CLTの利用促進について
- ・コスト低減に向けた取り組み内容と成果及び課題
 - ・建築物における置きかえニーズに対する見解
 - ・設計者へのPR方法
 - ・道産CLTの優位性
 - ・構造計算参照事例の必要性に対する見解
 - ・価格低減のための生産規模とその把握のための取り組み
 - ・生産施設の今後の見通し
 - ・供給体制の構築へ向けての対応
- 2 森林経営管理制度について
- ・森林所有者の経営意思の確認に係る認識
 - ・市町村が行う調査への支援に係る所見
 - ・立木の伐採に係る認識
 - ・意欲と能力のある林業経営者の判断要件
 - ・林業経営者の採算性に係る認識
- 3 林業大学校の基本計画（案）について
- ・定員の内訳に対する考え
 - ・若者に対する認識と特色ある科目構成に対する認識
 - ・講義・実習方式に対する考え
 - ・地域の役割、今後の取り組み

等について

吉井 透委員（公明） から、

- 1 地震による水産関係被害について
- ・被害の状況
 - ・漁港施設の復旧に向けた対応
 - ・全道的な停電に対する対応
 - ・漁港における防災・減災対策への今後の取り組み
- 2 漁業協同組合の役割等について
- ・漁場の利用調整に対する認識と漁協の役割
 - ・漁協による経営指導の役割
 - ・漁協の取り組み状況と今後の道の取り組み
 - ・漁協の重要性に対する認識と今後の取り組み
- 3 （仮称）北海道立林業大学校について
- ・他府県の運営形態と専修学校とする考え
 - ・カリキュラムの構成内容
 - ・国際化への対応
 - ・産学官との連携協力体制による取り組み
 - ・整備する施設の内容
 - ・地域との連携協力体制構築に対する考え

・今後の取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、水産林務部長、水産林務部次長、水産局長、林務局長、森林環境局長兼全国育樹祭準備室長、水産局水産基盤整備担当局長、林務局森林計画担当局長、総務課長、水産経営課長、水産経営課水産食品担当課長、水産振興課長、水産振興課漁場事業担当課長、漁港漁村課長、漁業管理課長、林業木材課長、林業木材課林業振興担当課長、林業木材課人材育成担当課長、森林計画課長、森林整備課長、森林整備課路網整備担当課長、治山課長及び道有林課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、水産林務部所管に関する質疑を終結。

③ 農政部所管に対する質疑に入り、

長尾 信秀委員（自民） から、

1 食の安全・安心について

- ・平成29年度の食の安全・安心に関して講じた施策等に関する報告書の実績値に対する受けとめと今後の対応への考え
- ・道産食品登録制度と道産食品独自認証制度に対する道の認識と今後の対応
- ・新たな食育推進計画における高齢者等の食育の位置づけと今後の取り組み
- ・食育の推進に向けた取り組み
- ・食の安全・安心に向けた安全・安心基本計画と食育推進計画の計画づくりの進め方と今後の取り組み

2 種子生産に係る条例について

- ・主要農作物の種子生産に関する条例案を示す時期
- ・パブリックコメントの実施方法
- ・条例の内容

等について

梶谷 大志委員（民主） から、

1 災害による農業被害について

- ・電源確保対策が十分広がっていなかったことへの道の認識と全ての酪農家に電力確保体制の確立を徹底することへの所見
- ・共同利用施設の再建見込みと新規で建設できる補助事業を検討することへの所見
- ・ソフト対策に万全の体制を構築することへの認識

2 日米貿易協議について

- ・TPP11及び日EU・EPAの発効に向けた動きの把握状況と認識
- ・日米物品貿易協定の交渉開始が合意されたこ

とに対する道の受けとめ

- ・米国産牛肉の関税と輸入状況の把握方法及び道内における具体的な影響と今後の対応

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、食の安全推進監、食の安全推進局長、生産振興局長、農業経営局長、農政課政策調整担当課長、食品政策課長、農産振興課長、農業経営課農業支援担当課長及び農村整備課長から答弁があつて、議事進行の都合により散会。

○10月3日（水） 開議 午前10時2分

散会 午後4時46分

第2委員会室

第2分科委員長

笹田 浩（民主）

① 農政部所管に対する質疑を続行し、

内田 尊之委員（自民） から、

1 農業被害について

- ・台風21号と胆振東部地震や大規模停電による具体的な被害の状況
- ・台風21号で被災した農家の意向を踏まえた具体的な対応
- ・地震による農地や農業用施設等の災害復旧の進め方
- ・酪農における災害時の電力供給体制の整備方法
- ・停電による乳房炎発生牛の増加状況と酪農家への影響に対する考え
- ・今後の家畜防疫への対応
- ・農政部所管施設などへの影響
- ・経済的損害に対して道が北電に損害賠償を求める考え及び被害者の代表として道が賠償請求の交渉をすることに対する考え

2 ホッカイドウ競馬について

- ・地震や停電による被害の発生状況と対応
- ・開催の中止等による売り上げへの影響とナイター開催できなかった理由
- ・開催に係る節電の取り組み
- ・収益向上に向けた発売額増加への取り組み

3 粗飼料の確保について

- ・今年度の牧草や飼料用トウモロコシの生育状況とその分析及び粗飼料としての品質評価
- ・道内の必要量に対する認識
- ・良質な粗飼料確保への対応
- ・草地の植生改善に向けた取り組み

- ・良質な自給飼料確保に向けた総合的な取り組み

等について

橋本 豊行委員（民主） から、

- 1 種子条例について
 - ・農作物の種子生産に対する認識
 - ・主要畑作物の定義とバレイショ・てん菜・野菜の種子生産の仕組み
 - ・主要畑作物を条例の対象とすることへの見解
- 2 生乳生産への影響について
 - ・停電による生乳廃棄の補償に係る道の対応
 - ・乳業メーカーも含めた支援に対する見解

等について

久保秋 雄太委員（自民） から、

- 1 スマート農業について
 - ・近未来技術等社会実装事業の内容と道のかかわり
 - ・社会実装に向けた道の所見
 - ・規制緩和に係る認識
 - ・今後の取り組み
- 2 多面的機能支払交付金について
 - ・道内の取り組み状況
 - ・これまでの交付金額とそれぞれの活動が交付金全体に占める割合
 - ・中間評価における道内の評価と地域からの要望に対する対応
 - ・次期対策の把握状況と今後の取り組み

等について

白川 祥二委員（結志） から、

- 1 台風21号・胆振東部地震による農業被害について
 - ・類例のない台風と地震の複合的な打撃に対する受けとめ
 - ・台風21号被害への道としての対処方法と政府の対策内容
 - ・水稻の作況悪化に対する認識
 - ・浸水や冠水を繰り返す農地の備えに対する見解
 - ・復旧が完了した農地が再び被害を受けたか否かの確認と迅速な農地の復旧に向けた課題及び取り組み方法
 - ・乳業メーカーの停電に対するリスク管理に関する道の対処方法
 - ・支援策を十分に検討し対応を急ぐことへの見解

- ・国や関係団体と連携した復旧への対応

2 種子の基本問題について

- ・人と種子のかかわりを条例や種子政策の基本理念とすることへの見解
 - ・種子の多様性の確保に対する受けとめ
 - ・民間事業への取り組みに対する見解
 - ・遺伝資源の流出の防止と安全・安心な種子の保護などを進めるための今後の対応
 - ・道の種子条例における対象作物の位置づけ
- ## 3 豚コレラをめぐる問題について
- ・最近の国内外における主な疾病の発生状況
 - ・岐阜県における豚コレラ確認までの経緯や処分までの一連の対応の把握状況と終息への受けとめ及び残された課題への見解
 - ・適切な衛生管理対策の徹底への見解
 - ・農林水産省が豚肉の輸出停止に踏み切ったことが本道の輸出や養豚に与える影響の有無
 - ・家畜伝染病防疫対策に万全を期すための今後の対応

等について

吉井 透委員（公明） から、

- 1 種子生産について
 - ・主要農作物の種子の生産に関する条例における農業試験場の位置づけと民間事業者の役割
 - ・対象作物の検討状況
- 2 農作物の生育状況などについて
 - ・今年度の生育状況
 - ・道の技術対策指導の状況
 - ・病害虫の発生状況と防除対策の実施状況
 - ・収量確保に向けた対応
 - ・良質な粗飼料の確保に向けた取り組み
 - ・異常気象に対応した技術対策の取り組み
- 3 酪農被害について
 - ・胆振東部地震と停電による生乳や乳牛の個体への被害状況
 - ・災害時酪農施設電源確保緊急対策事業の実施スキーム
 - ・災害時における停電に対する今後の具体的な取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、農政部長、食の安全推進監、農政部長、食の安全推進局長、生産振興局長、農業経営局長、農村振興局長、競馬事業室長、生産振興局技術支援担当局長、農村振興局活性化支援担当局長、農政課長、競馬事業室参事、農産振興課長、畜産振興課長、畜産振興課環境飼料担当課長、畜産振興課家畜衛生担当課長、技術普及課長、技術普及課農業環境担

当課長、農村設計課長及び農村設計課活性化担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、農政部所管に関する質疑を終結。

② 経済部所管に対する質疑に入り、

大崎 誠子委員（自民） から、

- 1 電源確保などについて
 - ・ 苫東厚真火力発電所 4 号機再稼働と知内発電所の稼働による道内の電力需給や節電の見通しに対する影響
 - ・ 冬の節電に向けた対応
 - ・ 北本連系線の強化に向けた国への要望に対する見解
 - ・ 改正電気事業法の経過措置終了後における電力の安定供給に対する責任
 - ・ 電力の安定供給体制づくりに向けた取り組み
 - ・ 北電の送電線に空き容量がないためにバイオマス発電が計画中断している状況への対応
 - ・ 安定的な電源確保への見解
- 2 北海道電力の責任等について
 - ・ 道外における電源の過度集中の例及び特定の発電所へ電力供給を集中させていた原因
 - ・ 電力需給検証小委員会の指摘に対する北電の対応状況及びその対応に係る道の考え
 - ・ 北電が設定した強制停電の上限設定に対する妥当性
 - ・ 道東方面との送電線故障における情報の把握状況
 - ・ 地震災害に備えた電力管理者としての北電の責任に対する見解
 - ・ 送電停止時における北電に賠償責任が生じる基準
 - ・ 契約約款に基づき北電に損害賠償を求める考え
 - ・ 被害者の代表として道が補償交渉を行うことへの見解
 - ・ 検証委員会における検証内容や構成員及びスケジュールなどへの見解
 - ・ 検証委員会の焦点
 - ・ 北電の責任問題に関する今後の対応

等について

小岩 均委員（民主） から、

- 1 I R 誘致と判断について
 - ・ 道民意見の集約に対する考え及び道民の評価に対する受けとめ

- ・ 道民の賛否や意見を聞く考え
 - ・ 誘致を表明している自治体への説明
 - ・ 北海道 I R ショーケースの開催を知った時期と道の関与及び説明をしなかった理由
 - ・ 有識者懇談会の検討結果をまとめる時期とその内容及び誘致の判断へ及ぼす影響
 - ・ 知事の任期中に判断する考え
- 2 北海道雇用創出基本計画について
 - ・ 3 年目の雇用見込み及び現状の雇用情勢と課題
 - ・ 地域の特徴に合わせた人材対策の取り組み
 - ・ 本道における雇用形態や賃金などの実態
 - ・ 非正規の人数割合と賃金の状況
 - ・ 今後の取り組み
 - 3 外国人労働政策と技能実習制度について
 - ・ 外国人労働者の就労実態の把握等に対する見解
 - ・ 外国人労働者への対応
 - ・ 外国人技能実習生が労働者でもあるということの認識
 - ・ 北海道労働局による地域協議会への関与

等について

富原 亮委員（自民） から、

- 1 道産品の海外販路拡大について
 - ・ 現行の輸出拡大戦略における取り組み状況及び課題への認識
 - ・ 新たな輸出拡大戦略における重点項目と取り組み方策及び策定時期と推進体制
 - ・ 道産食品の輸出拡大に向けたこれまでの取り組み
 - ・ 補正予算による対策の考え方とその内容
 - ・ 今後の展開
- 2 産業の復興について
 - ・ 胆振東部地震による商工被害の状況及び宿泊キャンセルの状況と影響額
 - ・ 本道経済の復興に向けた今後の対応
 - ・ 観光客の安全確保に向けた検討状況と今後の観光産業復興への結びつけ
 - ・ 旅行割引制度第 2 弾の開始時期及び第 1 弾と割引率に差を設けた理由と差を設けたことによる利用抑制に対する見解
 - ・ 外国人旅行者の優遇に対する考え
 - ・ ビジネス目的利用の判断方法
 - ・ 需要回復効果の見込み
 - ・ 旅行割引制度の波及効果を高めるための取り

組み

- ・旅行割引制度の継続期間及び適切な執行体制の整備

等について

梶谷 大志委員（民主） から、

1 災害対策等について

- ・ブラックアウトの想定に対する道の認識
- ・苫東厚真火力発電所が停止する想定及び複数の発電所停止時における対処方法などの検討状況
- ・ブラックアウトに対する道と国の責任に対する認識
- ・停電対応のあり方などに係る検証時期と方法及び必要な対策の実施時期
- ・国や北電に問題提起を行うことへの所見
- ・新エネルギーの導入促進による電力供給体制の構築
- ・バイオマス発電施設の系統接続が困難な地域とその理由
- ・バイオマス発電の優先的接続に向けた北電に対する働きかけと道としての対策
- ・胆振東部地震による北海道経済への影響額の見込み
- ・激甚災害法の本激の適用基準と適用とならない理由
- ・災害復旧事業に対する補助制度創設への所見
- ・給油拠点となるサービスステーションの整備状況
- ・災害時における給油体制の水準と整備地域の偏りに対する認識
- ・観光被害額と国内外からの旅行者の動向等の状況
- ・外国人観光客の受け入れ体制の見直し方法
- ・観光プロモーションや情報発信を効果的に実施するための具体的な展開方法
- ・他府県の効果も含めた北海道ふっこう割の効果に対する所見
- ・北海道観光振興機構が事業主体となっている理由と国・道・機構が果たす役割
- ・国費が機構へ交付されることへの認識と機構への関与方法
- ・効果的な執行に対する所見
- ・北海道ふっこう割の第1弾の状況
- ・キャンペーン期間終了後における取り組み

2 人手不足対策について

- ・人材確保に向けた連携事業の取りまとめ理由と期待する効果
- ・人手不足が顕著な業種に対する関係団体などと一体となった対策の取り組み
- ・非正規雇用労働者の正社員への転換及び待遇改善に係る現状と道における取り組み状況及びその実績
- ・地域別の取り組みに対する所見

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、観光振興監、食産業振興監、食関連産業室長、経済企画局長、観光局長、地域経済局長、労働政策局長、観光局誘客担当局長、産業振興局環境・エネルギー室長、総務課長、食関連産業室参事、観光局参事、環境・エネルギー室参事、雇用労政課長、雇用労政課働き方改革推進室長及び人材育成課長から答弁があって、議事進行の都合により散会。

○10月4日（木） 開議 午前10時1分
散会 午後3時13分
第2委員会室
第2分科委員長
笹田 浩（民主）

① 経済部所管に対する質疑を続行し、

久保秋 雄太委員（自民） から、

1 外国人材の活用について

- ・人手不足の状況に対する認識と対応
- ・外国人の雇用状況
- ・新たな在留資格に係る国の考え方
- ・国における受け入れ業種の検討状況
- ・国の動きを踏まえた道の対応
- ・今後の取り組み

2 高等技術専門学院の運営方針について

- ・学院の現状
- ・修了生の就職状況と就職先での定着状況及び企業ニーズへの対応状況
- ・運営方針の策定に向けた北海道労働審議会における議論を進める上での考え方
- ・運営面における課題の認識
- ・入校促進に向けた道としての取り組みと地域における取り組み
- ・訓練科目の見直しに対する見解
- ・老朽化した訓練施設や機器の整備に向けた取り組み
- ・多様な人材が活躍できる社会の実現に向けた取り組み

- ・学院の果たす役割に対する認識及び今後の運営

3 小規模企業の振興について

- ・商工会が果たす役割
- ・道の施策の推進に係る商工会との連携
- ・商工会の運営に係る課題と道の支援内容及び支援の額
- ・商工会の人件費支援に係る補助額の算定基準及び支援内容
- ・新たな経済センサスの適用による人件費補助への影響
- ・商工会の会員数減少に対する今後の対応

等について

安住 太伸委員（結志） から、

- 1 観光資源としての山岳整備について
 - ・大雪山来訪者の現状把握の方法
 - ・大雪山における環境整備に対する考え
 - ・各種整備等のための財源確保への考え
- 2 電力供給体制の確保について
 - ・ブラックアウトの受けとめと危機意識に係る認識
 - ・ブラックアウト回避のための基本的な考え方
 - ・電力の需要と供給のバランスの維持のための手段
 - ・北本連系による十分な融通量を確保することを国や電源開発株式会社に要望し続けていくことに対する認識
 - ・北本連系線の変換方式に対する認識
 - ・強制停電が設定されていたことに係る北電からの説明の有無
 - ・ブラックアウトが起り得ることに係る北電からの説明の有無
 - ・各発電所の運用のあり方の検証等を国や北電に求めることへの考え
 - ・再生可能エネルギーの導入拡大に向けた運用の見直しを求めることへの見解と京極発電所の運用問題への見解
 - ・北電へ情報開示を求めることへの認識と今後の取り組み
 - ・今冬の電力供給確保に向けた道の見解と決意及び具体的な取り組み

等について

中野 秀敏委員（自民） から、

- 1 ベトナムとの経済交流について
 - ・これまでの取り組み

- ・交流拡大に向けた課題
- ・ベトナム政府や地方の要人との関係づくりの進め方
- ・留学生等との人材交流に向けた取り組み
- ・今後の交流拡大に向けた取り組み

等について

吉井 透委員（公明） から、

- 1 エネルギー政策について
 - ・大規模停電の原因
 - ・広域的運営推進機関による検証委員会における検証項目とスケジュール
 - ・大規模停電に係る道の受けとめと検証方法
 - ・冬の節電に向けた取り組み
 - ・エネルギーの地産地消に係るこれまでの取り組みと今後の取り組み
- 2 食と観光の振興について
 - ・観光復興に向けた情報発信の展開方法
 - ・海外向けプロモーションの実施方法
 - ・インバウンドが旅行割引制度を活用する方法
 - ・第2弾の旅行割引制度における外国人旅行者への優遇に対する考え
 - ・プロモーションや旅行割引制度の導入による需要回復の見込み
 - ・どさんこプラザの国内におけるこれまでの取り組み状況
 - ・胆振東部地震への影響対策としてどさんこプラザを活用した取り組み内容
 - ・北海道物産展を活用した情報発信の状況
 - ・シンガポールのどさんこプラザにおける取り組み状況
 - ・海外における緊急的な取り組み内容
- 3 商店街対策について
 - ・厚真町・安平町・むかわ町における商店街の被害状況
 - ・商店街の復興に向けたこれまでの取り組み内容
 - ・早期の復旧・復興に向けた今後の取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、経済部長、観光振興監、食産業振興監、食関連産業室長、地域経済局長、労働政策局長、経済企画局国際経済室長、観光局誘客担当局長、産業振興局環境・エネルギー室長、労働政策局職業能力担当局長、食関連産業室参事、国際経済室参事、観光局参事、中小企業課長、中小企業課地域商業担当課長、環境・エネルギー室参事、雇用労政課長及び人材育成課職業訓練担当課長から答弁があつて、総括質疑に保留された事項を除き、経済部所管に関する質疑を終結。

② **教育委員会所管に対する質疑**に入り、

中野 秀敏委員（自民） から、

- 1 部活動のあり方に関する方針素案等について
 - ・部活動関係者会議における議論の内容
 - ・本道の部活動の地域特性及びそれを踏まえた素案の具体的な内容
 - ・部活動における道独自の取り組み内容
 - ・運動部活動と文化部活動を一体化した理由と文化部活動に係る方針の考え方
 - ・多様な教育が行われていることへの認識と高等学校の休養日等を弾力的に設定する際の一定の要件
 - ・業務の負担軽減に向けた取り組み
 - ・北海道アクション・プランの見直しに対する考え方
 - ・学校における働き方改革の取り組み
- 2 高校生の登山活動について
 - ・登山計画審査会議の概要と審査状況及び計画の改善を求めたケース
 - ・高等学校等から提出された登山計画書の登山計画審査会議における審査
 - ・安全対策の強化に向けた取り組み

等について

小岩 均委員（民主） から、

- 1 震災・学校支援チーム（EARTH）について
 - ・支援に対する受けとめ
 - ・受け入れ先の教育委員会や学校現場の反応
 - ・道教委の評価と同様の取り組みへの検討
- 2 修学旅行キャンセルについて
 - ・道内の小学校の修学旅行が道内で実施されることへの認識
- 3 道立青少年体験活動支援施設（ネイパル）について
 - ・道内6施設において利用状況や宿泊稼働率に差が生じていることに対する認識
 - ・指定管理制度における管理の目標と利用者満足度調査の状況及びその結果
 - ・平成25年に行われた配置見直しの内容とその結果による効果
 - ・指定管理者との協議や連携の内容と今後の施設のあり方
- 4 高校教育と人材育成について
 - ・地域連携特例校における魅力ある高校づくり

への取り組み

- ・地域の人材を育成するための施策と高校配置の進め方

等について

花崎 勝委員（自民） から、

- 1 特別支援学校の地震対応について
 - ・胆振東部地震発生時において道立特別支援学校の寄宿舎にいた子どもの状況
 - ・地震発生直後における寄宿舎の様子と安全確保に向けた対応
 - ・各学校の対応状況と非常時における保護者との連絡体制
 - ・地震後も寄宿舎に残った子どもの人数と安全確保への対応
 - ・地震で明らかとなった課題の認識と寄宿舎の安全確保に向けた取り組み

等について

久保秋 雄太委員（自民） から、

- 1 小樽海上技術学校について
 - ・学校の概要
 - ・小樽水産高校との違い
 - ・小樽市と海技教育機構との協議及び道教委に対する要請の内容
 - ・小樽商業高校の校舎などの利用に係る道教委の対応

等について

安住 太伸委員（結志） から、

- 1 児童生徒の心のケアについて
 - ・厚真町・安平町・むかわ町の学校に派遣しているスクールカウンセラーに係るこれまでの対応状況
 - ・3町の子どもの状況と今後の対応
- 2 学校施設等におけるアスベスト対策について
 - ・道教委の認識
 - ・必要な財源確保に係る国への要望
- 3 高校配置計画について
 - ・旭川工業高校の自動車科を募集停止とした理由
 - ・配置計画に対する意見
 - ・道内の道立高校で唯一の学科を募集停止することになった理由
 - ・自動車科の復活に対する見解

等について

内田 尊之委員（自民） から、

- 1 胆振東部地震による学校への影響について

- ・市町村立及び道立学校施設の被害状況とこれまでの対応
 - ・避難所に指定された公立学校の状況と電源確保の方法
 - ・被害を受けた公立学校施設の早期復旧に向けた対応及び避難所に指定された場合の円滑な対応への取り組み
 - ・地震発生日以後に修学旅行を予定していた学校数とその後の対応
 - ・修学旅行中に地震に遭った学校の状況及び道教委の対応
 - ・修学旅行延期によるトラブルの状況及び道教委の対応
 - ・道教委や震災・学校支援チームによる学校再開後の支援活動の内容
 - ・災害支援体制整備に対する見解
- 2 学校のブロック塀の安全対策について
- ・地震後の対応と被害の状況
 - ・安全性に問題があるブロック塀等への対応状況と今後の取り組み
 - ・市町村のこれまでの対応状況と道教委の対応
 - ・フォローアップ調査の状況とブロック塀等の安全対策に対する今後の取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、教育長、教育部長兼教育職員監、学校教育監、総務政策局長、学校教育局長、学校教育局指導担当局長、生涯学習推進局長、施設課長、教育政策課長、教職員課服務担当課長、高校教育課長、高校教育課配置・制度担当課長、高校教育課企画・支援担当課長、義務教育課長、特別支援教育課長、教育環境支援課長、健康・体育課長、学校教育局参事及び生涯学習課長兼生涯学習推進センター所長から答弁があって、教育委員会所管に関する質疑を終結。

予算特別委員会

○10月5日(金) 開議 午前10時1分
閉会 午後5時
第1委員会室
委員長 松浦 宗信(自民)

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 各分科会において保留された事項について、**知事に対する総括質疑**に入り、

田中 芳憲委員(自民)から、

- 1 災害対策について
 - ・現在の激甚災害制度の見直しに係る認識と対応
 - ・被災地域の復旧・復興に向けた取り組み
 - ・ブラックアウトに関する道独自の検証委員会における検証等の考え
 - ・本道における電力の安定供給に向けた取り組み
 - ・「ふっこう割」に関し、適正公平及び効率的な実施の確保に係る見解
 - ・災害時における外国人観光客への対応の課題に係る検証の時期
 - ・J R北海道の関係者が一体となった利用促進に係る対応
 - ・この度の地震災害を踏まえた防災対策等の見直しに係る考え
- 2 国際貿易交渉について
 - ・日米物品貿易協定(TAG)に向けた交渉に対する考え
- 3 文書管理と業務改善について
 - ・時代の変化に対応した業務運営に係る見解
 - ・不適切な事務処理が再発しないための庁内ルール策定に係る見解
- 4 種子生産に係る条例について
 - ・主要畑作物の取り扱いを条例に盛り込むことについての見解

等について

梶谷 大志委員(民主)から、

- 1 J R北海道の路線見直し問題等について
 - ・道が中心となった推進体制の構築や利用促進などの支援に係る所見
 - ・日高線の復旧に向けたJ R北海道との協議に係る所見
- 2 災害対応について
 - ・被災地の現状及び今後の復旧・復興に係る所見
 - ・復興推進本部の設置に係る所見
- 3 災害対策等について
 - ・ブラックアウトに係る所見
 - ・道の責任と省エネ・新エネ促進に係る所見
 - ・SSにおける自家発電設備の整備に係る所見
 - ・エネルギー供給等の強靱化に向けた所見
 - ・地震発生に係る検証体制の整備及び対策の実行についての所見

- ・激甚災害法の要件の見直しに係る所見
 - ・外国人観光客の受け入れ体制の検証、見直しに係る所見
 - ・「北海道ふっこう割」の実施に係る具体的な取り組み内容及び執行体制の整備に係る所見
- 4 I R 誘致と判断について
 - ・I R 誘致の判断に係る所見
 - 5 種子条例について
 - ・種子生産に係る条例に係る所見
 - 6 日米貿易協議について
 - ・農産物に係る関税の引き下げに係る所見
 - ・日米物品貿易協定交渉の対応に係る所見

等について

安住 太伸委員（結志） から、

- 1 復興対策について
 - ・復興基金の創設に係る所見
 - ・復興に向けた組織体制に係る所見
- 2 電力供給体制の確保について
 - ・電力供給体制の確保に係る考え及び今後の取り組み
- 3 防災拠点となる庁舎の耐震化について
 - ・防災拠点となる庁舎等施設の耐震化促進に係る所見
- 4 7月の大雨被害に伴う河川整備について
 - ・被災河川等の抜本的な対策に係る所見
- 5 アスベスト対策について
 - ・アスベスト対策に係る取り組みについての所見
- 6 種子の基本問題について
 - ・種子条例制定に係る基本認識と理念及び条例における対象作物の位置付け
- 7 山岳環境整備について
 - ・山岳環境の整備促進に係る所見
- 8 青少年健全育成条例に基づく有害指定について
 - ・議事録等の未作成に係る再発の防止及び道の責任と対応
- 9 交通政策について
 - ・J R 北海道に係る諸問題に対する認識と所見
 - ・J R 北海道の利用促進及び収益改善の取り組みに係る所見

等について

吉井 透委員（公明） から、

- 1 エネルギー政策について
 - ・災害に強い電源の確保及びエネルギーの地産

- 地消に係る具体的取り組み
- 2 胆振東部地震における対応について
 - ・災害に係る医療機関等の対応策についての具体的な取り組み
 - 3 災害対策について
 - ・複合災害に対する計画づくりに係る所見
 - ・関係部局等の検証結果の反映に係る所見
 - 4 胆振東部地震の復興支援について
 - ・復興支援の取り組みに係る所見
 - 5 食と観光の振興について
 - ・食と観光のプロモーションに係る所見
 - 6 国際化への対応について
 - ・国際交流の推進に係る所見
 - 7 種子生産について
 - ・種子条例の対象範囲に係る所見

等について

佐野 弘美委員（共産） から、

- 1 地域防災と避難所の環境改善等について
 - ・被災3町の視察に係る所見
 - ・知事の初動対応と検証委員会における検証に対する姿勢
 - ・ブラックアウトの発生に係る報告と対応
 - ・北電によるブラックアウトの判断時期と連絡
 - ・北電の情報提供の遅れに対する認識と対応
 - ・道によるブラックアウト発生の検証に係る所見
 - ・検証委員会の立ち上げに係る見解
- 2 女性登用の促進について
 - ・内閣改造による女性閣僚の登用についての所見
 - ・道における女性管理職の登用状況に係る所見と今後の対応
 - ・男性職員による育児休業取得率の現状に係る認識
 - ・女性職員の部長級職員への登用に係る決意
 - ・女性職員の部長級職員への登用に係る受けとめと今後の取り組み

等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があつて、総括質疑を終結。

- ③ 付託議案に対する意見調整は、理事会で行うことを決定。
- ④ 理事会において付託議案に対する意見調整の結果、議案第1号ないし第3号及び第25号を原案のとおり可決することを諮り、いずれも異議なく決定。

- ⑤ 大越農子委員（自民）から、配付の附帯意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議があり、これを諮って動議成立。本動議を直ちに議題とし、動議のとおり決することを諮り、異議なく決定。
- ⑥ 付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することを決定。
- ⑦ 委員長から、付託案件に対する審査の終了に当たり、挨拶があって閉会。

附 帯 意 見

1. 北海道の地震観測史上初となる震度7の巨大地震が発生し、震源に近い胆振東部などでは、道民のとうとい命が犠牲になるとともに、大規模な土砂崩れなどで大きな被害が生じた。また、この地震をきっかけとして道内のほぼ全域に及ぶ停電が道民生活や企業活動などを直撃し、大きな影響を及ぼした。道は、このたびの北海道胆振東部地震からの復旧・復興に、被災地域と一体となって全力で取り組むことはもとより、特に大規模停電の影響が大きかった観光関連産業や酪農を初めとする1次産業等の一日も早い復興とさらなる成長発展に向けてしっかり取り組むべきである。

1. 甚大な被害を及ぼす自然災害が発生し国民生活に著しい影響を与えた場合に災害復旧事業等の迅速かつ円滑な実施が可能となるよう地方公共団体等に特別な財政支援を行う激甚災害制度は、制度創設から既に半世紀以上が経過し、負担率のかさ上げ基準など制度のさまざまな面で、社会情勢の変化や厳しい財政状況にある地方公共団体の実態を必ずしも適切に反映できていない面も見られる。道は、自然災害に強く安心して住み続けられる地域づくりやインフラ整備が促進されるよう、激甚災害制度の抜本的な改正を国に強く求めるべきである。

1. 北海道胆振東部地震をきっかけとした道内全域に及ぶ大規模停電は、道民生活や道内の産業活動を根底から揺るがす事態となった。道は、こうした大規模停電に至る経過はもとより電力供給に関する道内の現状や改正電気事業法の施行後の対応も含め、電力の安定供給に向けた検

証等をしっかり行い、道民が安心して暮らすことができ、企業も電力供給の制約を感じることなく積極的に事業展開ができる万全の供給体制の実現が図られるよう、国や北海道電力に強く働きかけるべきである。

1. 人口減少や少子・高齢化の進展などに伴い、人手不足が深刻化していることから、政府では、外国人材の受け入れ拡大に向けた制度改正を検討している。本道においても農林漁業や建設業、水産加工業、介護・福祉分野など幅広い分野で人手不足が深刻化していることから、女性や高齢者など多様な方々の就労促進のみならず、外国人材の活用も時期を失することなく検討する必要がある。本道の実情を反映した制度設計がなされるよう国に働きかけるとともに、受け入れ環境の整備など、必要な取り組みを早急に進めるべきである。

1. JR北海道の事業範囲の見直しについては、現在、国において地域と公共交通のあり方に関する考えを再度調整している段階だが、この問題が北海道という一地域におけるJRの利用状況だけで議論されるべき問題ではなく、人口減少や地域の活力の維持に悩みながら対策に取り組んでいる全国全ての地域に共通する課題であるとの認識のもとで国と議論を進めていく必要がある。その際には、JRの利用促進はもとより、交通ネットワークのかなめであるJR北海道をめぐるさまざまな課題の解決に向け、道、市町村、経済界等が一体となって取り組むべきである。

資	料
---	---

第3回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決年月日	公布年月日	公 布 番 号
北海道議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例	H30. 10. 10	H30. 10. 19	北海道条例第48号
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	H30. 10. 10	H30. 10. 19	北海道条例第49号
特定地域等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	H30. 10. 10	H30. 10. 19	北海道条例第50号
北海道北方領土隣接地域振興等基金条例の一部を改正する条例	H30. 10. 10	H30. 10. 19	北海道条例第51号
国営土地改良事業負担金等徴収条例等の一部を改正する条例	H30. 10. 10	H30. 10. 19	北海道条例第52号
北海道建設部手数料条例の一部を改正する条例	H30. 10. 10	H30. 10. 19	北海道条例第53号
北海道建築基準法施行条例の一部を改正する条例	H30. 10. 10	H30. 10. 19	北海道条例第54号
北海道立学校条例の一部を改正する条例	H30. 10. 10	H30. 10. 19	北海道条例第55号

北海道議会議席表

平成30年9月

民主・道民連合
25名

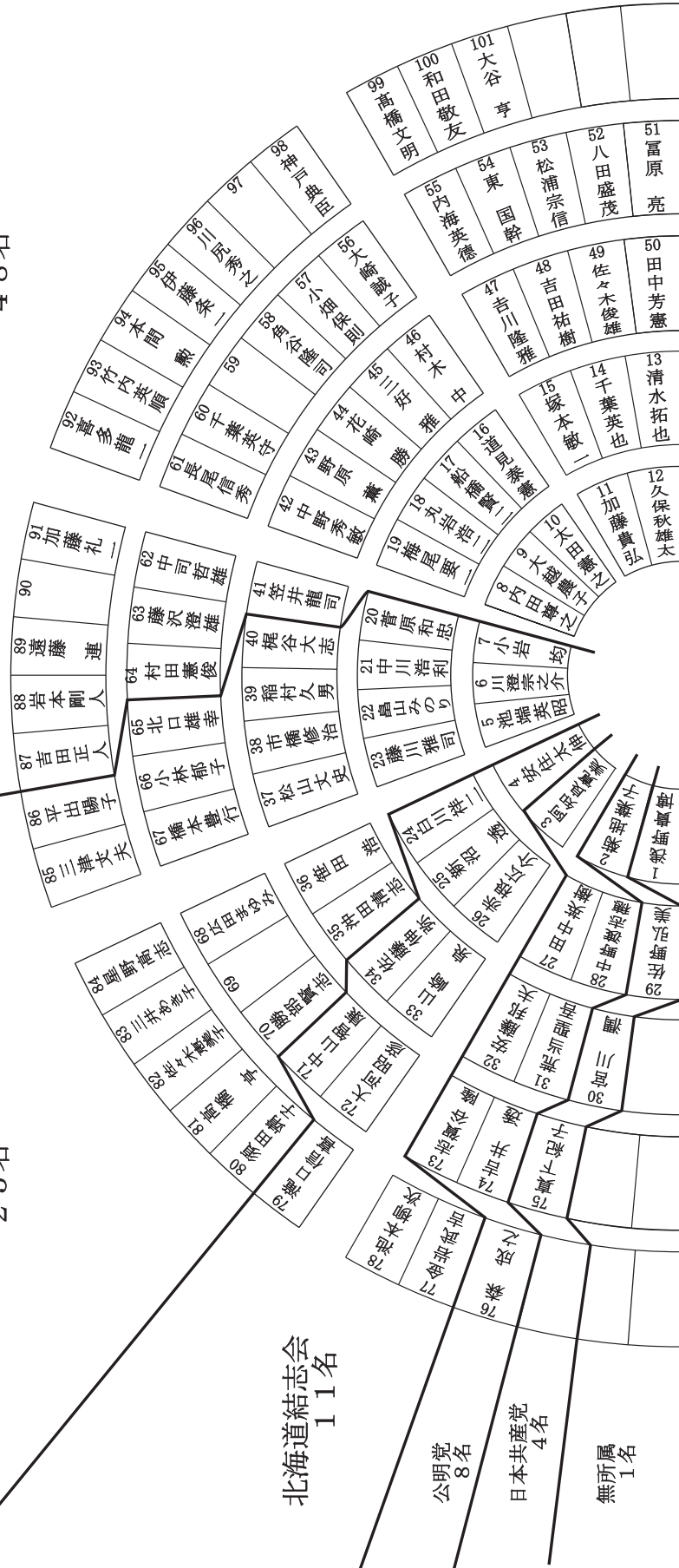
自民党・道民会議
48名

北海道結志会
11名

公明党
8名

日本共産党
4名

無所属
1名



説明員

説明員

説明員

説明員

各種説明員会

速記席

副知事

知事

説明員

説明員

説明員

説明員

議長

事務局長

事務局職員

7月の出来事

- 2日 ○国税庁が、2018年1月1日時点の路線価を発表。道内約1万5600地点の標準宅地(継続地点)は平均で前年比1.1%上がり、3年連続で上昇した。後志管内倶知安町山田の道道ニセコ高原比羅夫線通りの上昇率は88.2%と、4年連続で全国一高かった。
- 2日 ○サッカーのワールドカップ(W杯)ロシア大会・決勝トーナメント1回戦で、日本はベルギーに2-3で逆転負けし、初の準々決勝進出を逃した。
- 3日 ○総務省の有識者研究会が、人口減少や高齢化が深刻となる2040年頃を見据えた自治体行政のあり方に関する報告書をまとめた。複数の市町村で構成する「圏域」を法律で新たな行政主体に位置付け、連携して行政サービスを実施する態勢を提言した。
- 4日 ○原子力規制委員会は、茨城県の日本原子力発電東海第2原発の再稼働に関する審査で事実上の合格とした。東日本大震災で被害を受けた原発で初。但し、再稼働には周辺自治体の同意も必要で先が見通せない。
- 5日 ○憲法改正手続きを定めた国民投票法改正案は、衆院憲法審査会で提案理由を説明し審議入りした。衆院憲法審の審議は今国会初。今国会での成立は見送られる。
- 6日 ○地下鉄、松本両サリン事件などオウム真理教による一連の事件で殺人などの罪に問われ、死刑が確定した松本智津夫死刑囚=教祖名麻原彰晃(しょうこう)=ら7人の刑が各拘置所で執行された。死刑が確定した元教団幹部ら13人で初の執行。
- 6日 ○西日本を中心に広い範囲で大雨が降り、気象庁は京都、兵庫、鳥取、岡山、広島、福岡、佐賀、長崎の8府県に大雨の特別警報を出した。この豪雨により各地で川の氾濫や土砂災害の発生が相次ぎ、甚大な被害が出た岡山、広島など15府県で死者は225人に上った(30日現在)。
- 11日 ○総務省が発表した今年1月1日時点での住民基本台帳に基づく人口動態調査で、道内は前年比3万4805人減(0.65%減)の530万7813人で20年連続減少し、都道府県別の減少幅は6年連続で最も大きかった。国内の日本人は前年比37万4055人減の1億2520万9603人で、9年連続のマイナス。減少幅は過去最大を更新した。
- 16日 ○トランプ米大統領とロシアのプーチン大統領は、ヘルシンキで会談した。会談後、21年に期限を迎える米ロ間の新戦略兵器削減条約(新START)を含めた核軍縮で連携する考えを示した。
- 17日 ○安倍首相と欧州連合(EU)のトゥスク大統領、ユンケル欧州委員長は経済連携協定(EPA)に署名した。来年3月までの発行が目標。国内総生産(GDP)の合計で世界の3割を占める世界最大級の自由貿易圏が誕生する。
- 18日 ○参院選「1票の格差」是正を巡り、定数を6増やす改正公選法が衆院本会議で自民、公明両党の賛成多数により可決、成立した。合区選挙区を維持する一方、比例代表の一部に拘束名簿式となる「特定枠」を設けたのが特徴。
- 18日 ○多くの人が集まる建物内を罰則付きで原則禁煙とする改正健康増進法成立した。受動喫煙を防ぐ狙いで、20年4月に全面施行される。
- 20日 ○カジノを中核とする統合型リゾート(IR)実施法は参院本会議で、自民、公明両党と日本維新の会などの賛成多数で可決、成立した。
- 24日 ○中央最低賃金審議会の小委員会は、18年度の地域別最低賃金を全国平均で時給26円引き上げ、874円とする目安をまとめた。現行方式では過去最大の引き上げ。3年連続で3%程度的大幅アップとなる。

8月の出来事

- 1日 ○北海道電力は、石狩湾新港の石狩液化天然ガス（LNG）基地でLNGの受け入れを始めた。本年度内に参入するガス販売事業や、来年2月に稼働予定の石狩湾新港火力発電所の燃料に使用する。
- 1日 ○政府は、天皇陛下の退位と新天皇の即位に伴う一連の儀式の準備作業を総括する「皇位継承式典事務局」を設置した。
- 5日 ○1869年（明治2年）8月15日に北海道を命名されてから150年の節目となる記念式典が、来道中の天皇、皇后両陛下が出席して札幌市豊平区の北海きたえーるで行われた。
- 8日 ○沖縄県の翁長雄志知事が膵がんのため死去した。67歳。米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設への反対運動の象徴的存在だった。
- 10日 ○群馬県の防災ヘリコプター「はるな」が同県中之条町に墜落した。防災航空隊員4人と吾妻広域消防本部5人の計9人が搭乗しており、11日までに全員の死亡が確認された。
- 10日 ○文部科学省は、国公私立の幼稚園や小中高校など全国5万1085校を対象としたブロック塀の緊急点検結果を発表した。道内では260校のうち45%の117校で安全性に問題がある塀を確認したが、全て撤去や周辺への立ち入り禁止などの措置を既にとっている。
- 13日 ○韓国と北朝鮮は、板門店の北朝鮮側施設「統一閣」で閣僚級会談を開き、文在寅（ムン・ジェイン）大統領と金正恩（キム・ジョンウン）委員長の間で3回目となる首脳会談を9月中に平壤で行うことで合意した。
- 16日 ○道内7空港の運営を一括で民間委託する空港民営化を巡り、国土交通省は運営事業者の選定に向けた1次審査の公募を締め切り、四つの企業連合が応募したと明らかにした。2段階の審査を経て、来年7月頃に運営事業者を決定する。
- 17日 ○上川管内上川町層雲峡の大雪山系黒岳（1984メートル）で、今季初の降雪が確認された。記録が残る1974年以降で最も早い。これまで最も早かったのは8月21日（02年）
- 21日 ○自民党は、総裁選日程を「9月7日告示－20日投開票」と決定。連続3選を目指す安倍晋三首相（総裁）に石破元幹事長が挑む一騎打ちとなる見通しで、6年ぶりの選挙戦となる。
- 23日 ○環境省は、苫小牧港の国際コンテナターミナルの敷地内で、強い毒を持つヒアリ2匹を確認したと発表した。道内では初めて。今後、巣が発見されれば殺虫剤で駆除する方針。
- 26日 ○北海道マラソン2018が札幌市内で行われ、男子は岡本直己（中国電力）、女子は初マラソンの鈴木亜由子（日本郵政グループ）が共に初優勝した。
- 27日 ○漫画やアニメの「ちびまる子ちゃん」で人気を得た漫画家のさくらももこさんが、15日に乳がんのため53歳で死去したことが明らかになった。
- 28日 ○政府は中央省庁が昨年の障害者雇用の実績としていた約6900人のうち、国の指針に反する水増し分が半数の3460人に上ったと発表した。国の行政機関の8割、27機関で該当。
- 30日 ○全国の児童相談所が17年度に対応した児童虐待件数が13万3778件（速報値）に上り、27年連続で過去最多を更新したことが厚生労働省のまとめで分かった。
- 31日 ○沖縄県は米軍普天間飛行場の移設先となる辺野古沿岸部の埋め立て承認を撤回し、国と全面对決に入った。国は効力停止などを求めて法的措置を講じる方針。

9月の出来事

- 4日 ○道は、北海道100年にちなみ高さ100メートルで建立された道立野幌森林公園（札幌市）内にある北海道百年記念塔について、老朽化などの理由で解体する方針を固めた。跡地には新たなモニュメントを置く考え。
- 6日 ○午前3時7分頃、道央を中心に広い範囲で地震があり、胆振管内厚真町で道内発の震度7を観測した。16年の熊本地震以来、国内6例目。地震により41人が死亡したほか、北海道電力の全火力発電所の稼働が停止し、道内全世帯約295万戸が停電する「ブラックアウト」が起きるなど甚大な被害が出た。気象庁は「平成30年北海道胆振東部地震」と命名した。
- 8日 ○女子テニスの大坂なおみが、ニューヨークでの全米オープンシングルス決勝で元世界ランキング1位のセリーナ・ウィリアムズを破り、日本のテニス史上初めて四大大会のシングルスを制覇。
- 9日 ○北朝鮮は、建国70年の記念日を迎え、金正恩朝鮮労働党委員長が観閲する軍事パレードを平壤で行った。弾道ミサイルは登場せず、正恩氏が示した非核化の意思を反映し、抑制的な内容だった。
- 11日 ○ふるさと納税で一部自治体が高額な返礼品を呼び水に多くの寄付を集めているのは問題だとして、野田聖子総務相は制度を抜本的に見直す方針を正式表明。返礼品を寄付額の30%以下の地場産品に限定し、違反した自治体は制度から除外する。
- 12日 ○道内7空港の一括民営化で、国土交通省は運営事業者選定に応募した4陣営のうち、3陣営が1次審査を通過したと発表した。チャンギ・エアポート・グループを中心とする企業連合が落選した。
- 12日 ○ロシアのプーチン大統領は極東ウラジオストクでの東方経済フォーラムで、安倍首相に対し、一切の前提条件を抜きにして今年末までに日ロ間で平和条約を締結するよう要求した。
- 14日 ○世耕弘成経済産業相は、胆振東部地震後に道内の電力不足を補うため掲げてきた一律2割の節電目標を解除し、計画停電も当面行わないと発表した。京極発電所稼働などで一定の供給力を確保したため。
- 16日 ○「平成の歌姫」安室奈美恵さん（40）が引退。92年にデビュー。ファッションをまねる「アムラー」が街にあふれる社会現象を生んだ。
- 19日 ○北海道電力は、胆振東部地震の影響で停止していた苫東厚真火力発電所1号機（35万キロワット）を再稼働した。需要1割減を目指す節電要請も解除した。
- 20日 ○高橋はるみ知事は道議会代表質問で、胆振東部地震に伴うブラックアウト（大規模停電）の発生について、「深刻な事態だ。北海道電力の責任は極めて重い」と述べ、北電の責任に初めて言及した。
- 20日 ○自民党総裁選が投開票され、安倍首相が石破茂元幹事を破り、連続3選を決めた。内閣改造・党役員人事を10月1日を軸に実施する方針で、政権の骨格は維持する。首相は秋の臨時国会への党改憲案提出に意欲を表明した。
- 28日 ○政府は、北海道の地震と台風19、20、21号などの豪雨被害について、激甚災害に指定することを閣議決定した。インフラ、農業関連施設などの復旧事業に対する国の補助率を通常より1～2割程度引き上げ、自治体の財政負担を軽減する。
- 28日 ○東京株式市場で日経平均株価（225種）が一時2万4286円を付け、取引時間中としてバブル経済崩壊後の最高値を更新した。91年11月以来、約26年10カ月ぶりの高水準。
- 30日 ○沖縄県知事選が投開票され、米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古移設に反対する前衆院議員玉城（たまき）デニー氏（58）が、初当選した。

その先の、道へ。北海道

**北海道議会時報
第70巻第3号**

編集 北海道議会事務局政策調査課

〒060-0002

札幌市中央区北2条西6丁目

TEL 011-204-5691

E-Mail gikai.seisaku1@pref.hokkaido.lg.jp

発行 平成30年11月27日